復刻版

済々黌 同窓会会報

2020年/令和2年/第36号

編集・発行　済々黌同窓会

〒860-0862 熊本市中央区黒髪2丁目21番50号（一財）多士会館内

TEL 096-345-3002　FAX 096-346-3225

新型コロナウイルスを乗り越えよう

済々黌同窓会 第10代会長
野口 敏夫（S38）

同窓生の皆様、新型コロナウイルスの蔓延にも拘らず、お元気でお暮しのことと拝察致します。

最初に、今年5月21日開催予定の同窓会総会・懇親会を中止した経緯を、以下の通り報告致します。

まず、当該総会等の開催の是非につき、年次代表評議員の皆様方へのアンケート調査を実施しましたところ、新型コロナウイルスの蔓延傾向に鑑み、当該総会等は中止すべきとのご意向が大勢でした。そこで、今年3月19日、幹事会を開催し、年次代表評議員の皆様方の上記ご意向を示しつつ、意見を取り纏めましたところ、当該総会等は、中止すべきであるとの取り纏め結果となりました。よって、上記幹事会の意見を踏まえ、さらに、念のため、年次代表評議員の皆様方に、三密となる年次代表評議員会の開催及び決議に代わる措置として、書面決議の方式により、ご意向をお伺いしましたところ、ほぼ全員の賛成により当該総会等はいずれも中止するとの決議となりました。

なお、「来年5月の総会等までの間に、総会等を開催するか否か」については、新型コロナウイルスの今後の蔓延状況を注視しながら、別途、幹事、年次代表評議員その他関係者の皆様方のご意見をお伺いしたいと存じます。

ところで、多士会館は、同窓会活動の拠点かつ在黌生の学習の場として活用中ですが、竣工後36年目に入り、一部劣化が見られたことから約1100万円を投じて、防水、外壁のシーリング、タイル補修等の改修工事を行い、昨年10月に完了しました。今年は引き続き、多士会館の照明の全面LED化を計画しています。

次に、昨年4月、母黌と多士会館間に存する故一丸學様（S8）の旧宅（敷地面積は118坪）を一般財団法人多士会館名義で購入しておりますが、今年3月に、倉庫と温室を解体・撤去し、駐車場スペースを広げました。

同窓会では、在黌生の進学支援も行っており、例えば、昨年8月開催の東大と京大の各オープンキャンパスへの在黌生の参加（東大24名、京大24名）について参加経費の補助をしたほか、貴重な入試情報の載る東大新聞、京大新聞を多士会館に備え置いております。東大合格に関しては、今年は0となり寂しい限りですが、平成29年の5名合格を目指して支援を続けていく所存です。

さらに、同窓会では、多士会館で在黌生向けの米国人講師によるオール英語使用の英会話クラス（EDC）を無償で開講しております。このEDCは、なるべく1年生から参加して、新聞社説レベルの英語力を短期かつ能率的・集中的に習得せんとするものですが、参加者が少なく、在黌生には胆力ある不屈な積極性を示してほしいものです。

ピンチをチャンスに

済々黌高校 第32代黌長
那須 高久

同窓会の皆様には、日頃より本黌の教育活動にご理解とご協力を賜り心から感謝を申し上げます。竹下前黌長の後任として本年4月に着任しました。よろしくお願いします。

今年1月中旬に国内で新型コロナウイルスの感染者が確認され、本県においても2月4日に対策本部の第1回会議が開催されました。その後感染拡大防止の対策として県立学校における卒業式は、卒業生、保護者、職員のみで実施の方向性が示され、本黌でもご来賓の方の参加を遠慮していただき卒業式を行いました。

新年度に入り学校の休校が継続されている中で、4月8日には始業式と入学式をグラウンドで実施しました。体育館から折りたたみ椅子を出し間隔を2メートル取って配置し、午前中に新任式と始業式を、午後に入学式という日程で行いました。天候にも恵まれ、桜の花びらが風で舞う中で新入生を本黌に迎え入れることができました。入学式をグラウンドで行うということは私はこれまで経験したことがありませんし、本黌でも極めて異例のことと思っています。

休校状態が長く続くことになってしまいましたが、6月1日から通常授業を再開し、ようやく学校に生徒たちの元気な姿が戻ってきました。本来であれば4月に行っていた行事を6月から行うことになりましたので、行事の精選も行いました。同窓会の皆様も毎年楽しみにされている恩賜記念大運動会も中止せざるを得なくなり、特に3年生の生徒諸君にとっては申し訳なく思っています。

また、学習面においては休校期間中は家庭学習となり、課題を中心にした学習やこれまで行ってこなかったインターネットによる授業の動画配信を行いました。休校期間中にできなかった分の授業を、夏休み期間を短縮し確保することにしています。

3年生にとっては、上級学校進学に向けての受験の年になりますので、心配や不安に感じている生徒もいると考えます。本黌では授業や課外の遅れを取り戻すため、授業内容の精選と受験に向けた演習時間の確保等の対策を講じて生徒を支援して参ります。本黌の生徒諸君はこの状況を十分に把握し理解していると考えていますので、今回のような受験生にとって不利な状況をチャンスと捉えて取り組んでくれることを期待しています。

最後になりましたが、済々黌同窓会のさらなる発展と皆様のご健勝を祈念して挨拶といたします。

困難に立ち向かう

同心会 会長
松尾 浩（H4）

同窓会の皆様には、平素より、在黌生及び同心会に多大なるご支援、ご声援を頂いておりますこと、深く感謝申し上げます。

この度、同心会会長をさせていただくことになりました、平成4年卒の松尾と申します。かつて私が本黌へ入学した年に、時代は昭和から平成へと変わりました。時が経ち、平成から令和へと移り変わった今、今度はこうして同心会役員として本黌と関われることに不思議なご縁を感じております。まだまだ若輩者ではございますが、精一杯頑張りますので、ご指導いただければ幸いです。

さて、熊本地震からの復興も進み平穏な生活を取り戻しつつあった中、熊本のみならず世界中を新型コロナウイルスが襲いました。この未曽有の大災害は、世界中の人々に影響を与え、今なお暗い影を落としています。本黌も例外ではなく、卒業式・入学式の簡素化や長期に渡る休校を余儀なくされ、大運動会・総体等学校生活での重要なイベントが相次いで中止になり、涙を流した生徒も多くいたと聞いております。この約3カ月の休校の間に、生徒達は多くのものを奪われました。3年生の保護者として、今まで頑張ってきた彼らのことを想うと、とても悔しく残念でなりません。

これから先、生徒達には大学入試制度改革が待ち受けております。そしてまた、コロナ収束後の社会環境の変化にも対応していかなければなりません。今までに経験したことのない困難があるかもしれません。しかしながら、先生方のご指導と三綱領の精神、同心会活動、そして何より同窓会の皆様のご支援により必ずや乗り越えられるものであると信じております。

同窓会の皆様におかれましては、多士会館開放だけでなく、様々なところでご支援を頂いております。今後とも、同窓会の皆様の熱いご支援とご協力をお願い申し上げます。

▲在黌生に学習の場を提供している多士会館

【表紙写真】来賓の参加が見送られた卒業式。「コロナに負けない!!」は、書道部3年生の最後の部活での作品。その文字を持つのは1年生のクラス代表10人。休校状態が長く続き、1年生は済々黌生としての生活は異例のスタートになったが、通常授業の再開後、新型コロナウイルス禍をはね返す元気を振るっている。

特集

感染症と戦った郷土の偉人

北里柴三郎博士

（学校法人北里研究所提供）

その遺志を継ぐ者たち

人類の歴史は感染症との戦いでもある。感染症と向き合ってきた医療のパイオニアの一人に、熊本が生んだ北里柴三郎博士がいる。新型コロナウイルスの感染が世界各地に広がる中、その功績が改めて讃えられている。「近代日本医学の父」とも称され、2024年（令和6年）に発行される新千円札の顔になる北里博士。つながりを持つ母鬢同窓生たちに、その人間像や自身の活動などを語ってもらった。

北里大学病院集学的がん診療センター長 医師 佐々木 治一郎さん

▲北里大学病院集学的がん診療センターについて説明する佐々木さん

「開拓」「報恩」「叡智と実践」「不撓不屈」。北里柴三郎博士を学祖とする北里大学は、その足跡を集大成し、これらを「北里精神」と呼んでいる。この精神を受け継ぎ、同大医学部・大学病院（神奈川県相模原市）で、がんの研究や患者の診療にあたっている母鬢卒業生がいる。佐々木治一郎さん（S58）だ。

済々鬢では弓道部の主将

高校時代は弓道部の主将を務めた。夫人の千歳さん（S59）は弓道部の1年後輩。部活動で出会い、ハートを射止めた。医師になるのはその頃からの夢で、熊本大学医学部に進んだ。

母親と長男の逝去

当初は小児科医を目指していたが、不幸が進路を変えた。母親が肺がんで死去。48歳の若さだった。医学生だった佐々木さんは、その解剖に立ち合ったのを機に、肺がんを専門とするようになった。大学院在籍中には、長男を白血病のため、1歳10か月で失った。佐々木さん自身が移植のドナーになった体験は今、がん患者に向き合う礎になっているという。

1998年（平成10年）、熊本大大学院を修了後、2000年から3年間、アメリカ・テキサス大学のMDアンダーソンがんセンターで、肺がんの基礎研究に従事した。帰国し、熊本大医学部附属病院（現在は熊本大学病院に改称）に勤務し、2007年、同病院がん診療センターの初代センター長に就任した。

二つの要職に就任

転機が2011年に訪れる。西日本地区の臨床試験グループ「西日本がん研究機構」の活動で毎月、大阪に通う中で、北里大の教授に誘われ、4月、同大医学部の呼吸器内科に転出。現在の立場は、医学部では、新世紀医療開発センター教授（臨床腫瘍学）。大学病院では、副院長、経営戦略室長とともに、集学的がん診療センター長を務めている。

新世紀医療開発センターの開設は2013年。北里博士が1914年に「私立北里研究所」を創設して百年（2014年）になるのを記念し、博士が候補になりながらも果たせなかったノーベル賞を受賞できるような研究に取り組むことも狙いにしている。名前の「新世紀」とは次の100年を意味し、「ネーミングをすごく気に入っている」と佐々木さん。

大学病院の集学的がん診療センターは、2014年に開院した新病院のプロジェクトの目玉の一つとして開設された。「がん支援相談室」を置くなど、がん患者と家族が安心して治療や療養が受けられるよう、診療科の枠を超え、多職種が緊密に連携しながら、多様な支援を行っている。

佐々木さんは「患者さんが中心にいて、みんなで診ましょうということ。僕のコンセプトを反映させてもらった」と語る。センターの名前を「治療」ではなく、「診療」とすることにもこだわった。

実学の精神を今に

大学院生時代に長男が病気と闘っていた時、他の患者家族と支え合っていた体験から、熊大病院がん診療センター長当時、がん診療の地域連携やがんサロンの普及活動に従事した。現在の取り組みは当時の活動の発展形でもある。「患者さんの役に立つ医療を提供する医者になれ」。北里博士が残した実学の精神を実践している。

2017年には、「ゆめのがん治療薬」とされ、高額な薬価でも話題になった「オプジーボ」について解説した「今こそ知りたい！がん治療薬オプジーボ　健康人新書」（廣済堂出版）を著した。

佐々木さんは母鬢で講演したり、修学旅行の「スタディーツアー」で、在校生の見学を病院に受け入れたりしたことも。「自由と規律を学んだ。なりたいものがあれば、なれるぞ、と応援してくれた」という母鬢への恩返しも忘れない。

▲佐々木さんの著書

◇

佐々木さんの夫人、千歳さんの祖父・田島亀彦さんは彫刻家だった。北里博士の出身地・小国町北里にある「北里柴三郎記念館」に立つ博士の胸像（高さ約3㍍）は田島さんの作だ。1930年（昭和5年）、当時の日本医師会副会長ら75人が発起人になって、起工。1931年6月に博士が死去した後の同年8月に完成した。像は古里から、新型コロナウイルスの研究、治療薬やワクチン開発の動きを見守っている。

（田上 賢祐・S49）

▲小国町の北里柴三郎記念館に立つ胸像（同記念館提供）

ノーベル生理学・医学賞受賞 大村智氏に学んだ 永野 祐子さん

▲大村教授の著書を手にする永野さん

学校法人北里研究所（東京都港区）は、新型コロナウイルス治療薬の早期発見を目指すプロジェクトを立ち上げた。2015年（平成27年）にノーベル生理学・医学賞を受賞した大村智・北里大特別栄誉教授（85）の功績を称える大村智記念研究所を含め、全学的な体制で取り組んでいる。

大村教授は、寄生虫が原因で失明につながる熱帯病の特効薬「イベルメクチン」の開発に貢献。1970年代、土中の微生物から関連成分を発見し、ノーベル賞受賞につながった。現在、世界で年に約3億人が服用している。

北里大薬学部を卒業した永野（旧姓・水足）祐子さん（S49）は、大村教授から「微生物学」を学んだ。済々鬢では弓道部で活動。文系のクラスから薬学部に進み、大学でも弓道部だった永野さんは「笑顔が優しい先生で、分かりやすい、聴きたくなる授業だった」ことを思い出す。

大村教授は、いろんなところで土を採取し、研究していることを学生に話していたという。「何か役に立つ微生物が、その中にいるかもしれない。みんなもやってみなさい」と。

大村教授がノーベル賞を受賞すると、永野さんは大学の同級生と電話で喜び合った。大村教授の著書「ストックホルムへの廻り道　私の履歴書」（日本経済新聞出版）で、教授が初めから微生物に関わっていたのではなく、定時制の工業高校で化学と体育の教師をしながら、大学院で化学の実験を続け、化学に明るい微生物学者として、多くの微生物を発見し、新薬開発を手がけた足跡に触れた。また、アメリカ留学時には、ノーベル賞の受賞歴がある複数の研究者と共同研究を重ね、一期一会を大切にする人間性がのちの研究成果にも生かされたことも知った。

北里大は5月、「イベルメクチン」について、新型コロナウイルスの治療薬として承認を目指す治験を実施することを明らかにした。西村康稔・経済再生担当相が同大を視察した際は大村教授も臨席した。

「ワクチンや治療薬を巡って、いつか大村先生の名前が出てくると、期待していた」と話す永野さん。治験の行方に関心を示している。

（田上 賢祐・S49）

熊本大学名誉教授・医師 二塚 信（まこと）さん

北里柴三郎博士の顕彰事業として、熊本市中央区の熊本日日新聞社本社で3月、「新型コロナウイルス感染症を考える」と題した講演会が開かれ、熊本大学名誉教授の二塚信さん（S33）ら3氏の講演が行われた。二塚さんは「明治の感染症と北里柴三郎博士」の演題で、北里博士の業績を振り返った。

講演会は公益財団法人・肥後医育振興会、熊杏会（熊本大学医学部同窓会）、化学及血清療法研究所、熊日が主催。二塚さんは熊本大医学部を卒業後、同大公衆衛生学教授に就任。北里博士の生誕150年にあたる2003年（平成15年）、医学部を中心に記念事業が行われた際の実行委員長を務めた。九州看護福祉

▲北里博士の業績について語る二塚さん

大学学長、熊杏会会長などを歴任し、現在、熊本市の熊本機能病院顧問。

二塚さんは「脚気菌をめぐる論争」「香港にてペスト菌発見」「結核の予防と治療」の3つのテーマで話した。脚気については、北里博士と同じ1853年生まれで、同じ1871年（明治4年）に、古城医学校（熊本医学校、熊本大学医学部の前身）に、一期生として入学した緒方正規博士（八代・東陽村出身）との葛藤と友情を紹介した。

のちに二人は、緒方博士を師とする師弟のような関係にもなる。細菌学の基礎を築き、東京帝国大学医科大学教授となった緒方博士は、脚気は細菌が原因と主張。しかし、ドイツ・ベルリン大学のコッホ研究所にいた北里博士はこれを批判。当時の陸軍は脚気細菌説を支持、海軍側は食事が原因として、米に麦を混ぜ、野菜を多く摂るようにした。その結果、日露戦争中（1904～05年）、脚気による死者の99%を陸軍が占めたという。

北里、緒方両博士は脚気のほか、ペスト菌、赤痢菌、コレラ菌などの病原論争を繰り広げ、論敵同士として見る向きもあった。しかし、1919年（大正8年）、食道がんに侵された緒方博士が死去する前日、北里博士が見舞い、手を握り合ったと伝えられている。二塚さんは「同じ熊本の医学校に学んだ同郷同学の士として、学問上の論争の激しさとは別に、二人は最後まで格別な友情で結ばれていた」とする。

熊本大医学部。生誕150周年記念事業で、北里博士の胸像が基礎医学研究棟1階に建立された。緒方博士の胸像は肥後医育ミュージアムの1階階段脇に設置されている。

二人を結びつけていた同郷の絆。済々黌を創設したのち、中央政界で活動した佐々友房先生と北里博士は同郷人として、東京で接点は？「顔見知りではあったでしょう」と二塚さん。話をする機会があり、済々黌が話題になっただろうか。

（田上 賢祐・S49）

▲緒方正規博士（二塚さん提供）

北里と佐々

北里柴三郎博士と同じく、幕末から新しい時代を駆け抜けた人に、済々黌を創設した佐々友房先生がいる。若い日々、侍を目指した北里博士、西南戦争で薩軍に身を投じ戦った佐々先生。二人の半生は藩校時習館で交差する。

北里博士は1869年、16歳の時に入寮、一方の佐々先生は7歳（61年）で入学後、15歳（69年）の時には、優秀生を選抜した居寮生となる。しかし、70年7月、時習館は廃校に。ちょうど1歳違いの二人は69年から翌年までのわずかな期間、時習館でともに学んだ。

この間の二人の交流を示す明確な記録は今回、確認できなかったが、出自も指向も違う逸材はここ時習館で、競うように向学心を燃やしていたのは間違いない。

廃校ののち、二人はそれぞれの未来を切り開いた。一人は熊本医学校、東京帝大で学び、ドイツで世界的な医学者として羽ばたいた。もう一人は戦火を潜り抜けた後、教育者の道を進み、済々黌を設立、その後、言論界、中央政界へと活躍の場を広げていった。坂の上の雲を目指した二人。大義を明らかにし、文明を進むことに半生を捧げた。

（猪 献一郎・S49）

▲佐々友房先生の肖像画（多士会館所蔵）

北里柴三郎	西暦　和暦	佐々友房
小国郷北里村にて出生	1853	
	1854	熊本市内坪井町にて出生
	1861	藩校時習館に入る（7歳）
藩校時習館に入寮（16歳）	1869	
藩政改革により時習館廃止	1870 明治3	藩政改革により時習館廃止
古城医学校入学マンスフェルト氏に師事	1871 明治4	
東京医学校（現東京大学医学部）進学（21歳）	1874 明治7	
	1877 明治10	西南戦争参戦（23歳）
	1879 明治12	同心学舎設立（25歳）
	1882 明治15	済々黌と改称
東京大学医学部卒業　内務省衛生局入局	1883 明治16	
ドイツ留学　ベルリン大学 コッホ研究室にて研究を開始	1886 明治19	
破傷風菌純粋培養法に成功	1889 明治22	
破傷風菌抗毒素を発見 血清療法の開発（37歳）	1890 明治23	帝国議会開設 衆議院議員（36歳）
香港派遣　腺ペストの病原菌発見	1894 明治27	
第1回ノーベル生理学・医学賞の候補	1901 明治34	
	1906 明治39	9月28日没　享年52
北里研究所設立（61歳）	1914 大正3	
慶應義塾大学医学部を創設	1917 大正6	
日本医師会を創設　初代会長	1923 大正12	
6月13日没　享年78	1931 昭和6	

▲古城医学校の職員および生徒（集合写真）。北里博士は中央のマンスフェルト氏の左隣（学校法人北里研究所提供）

▲破傷風の血清療法確立を記念して（学校法人北里研究所提供）

北里柴三郎特集 ＝ 小国町ツートップ対談

「我が町の偉人」

日本と熊本が誇る世界的な細菌学者・北里柴三郎博士が、2024（令和6）年度から発行される新千円札の肖像画になる。喜びに沸く博士のふるさと、小国町を牽引する渡邉誠次町長（H元）と松﨑俊一町議会議長（S50）は、ともに済々黌の同窓生。郷土の偉人への思いや、「北里千円札」を契機にした町づくりの取り組みなどを両氏に聞いた。

▲小国町をリードするツートップ。渡邉町長（右）と松﨑議長（左）

「全国が注目、町づくりのテーマに」
／渡邉 誠次 町長

×

「新型コロナで見直される偉大さ」
／松﨑 俊一 議長

――北里博士は小国町の人々にとって、また、お二人にとって、どんな存在ですか。

渡邉町長（以下、渡辺）　小国町の3人の名誉町民（ほかに河津寅雄全国町村会長、坂本善三画伯）の第1号で、町長室にも北里博士の写真が掲げられています。博士が提唱した「学習と交流」を大切にする精神は子どもから大人まで広く浸透しています。子どもの頃、博士が愛用した顕微鏡を見て、祖父母にねだって顕微鏡を買ってもらった思い出があります。

松﨑議長（以下、松﨑）　小国町はもちろん、世界の医学界の至宝ですね。いま世界中が新型コロナウイルスの試練を受けている最中だけに、改めて、その偉大さを痛感します。

――北里博士が新千円札の肖像画になると決まって、小国町にはどんな変化がありましたか。

渡邉　昨年4月に発表されて以降、全国的な注目を集め、非常に多くのメディアが取材に訪れました。北里文庫、貴賓館、生家などからなる「北里柴三郎記念館」にも多くの観光客が訪れ、来館者数は新型コロナウイルスの感染拡大まで、例年の約5倍（約3万人）に上りました。町として、さっそく大型バスの駐車場を整備し、ほかにも町長をトップとするプロジェクトチームを立ち上げ、様々なイベントやPR戦略を企画中です。

松﨑　私はもともと、北里博士を（現千円札の）野口英世より先に紙幣に登場すべき人物と思っていました。町議会でも早速、福島の野口英世記念館、埼玉の渋沢栄一記念館、東京の北里研究所・病院を視察しました。こうしたゆかりのある施設や地域と連携すれば、相当インパクトのある地域振興が期待できますね。

――新千円札が発行される2024年に向けて、どんな町おこしや地域活性化を考えていますか。

渡邉　私は新紙幣の発表と同時期に町長に就任したこともあり、北里博士をフックにした地域活性化が町政の大きなテーマに位置付けています。現在、記念館の近くに、博士の生涯を映像でたどるシアタールームの建設を検討しています。また豊かな温泉や森林、地熱発電といった地元特有の資源と絡め、教育旅行や自治体研修の誘致などによって交流人口の拡大につなげたいと考えています。

松﨑　小国町は「三後」（筑後、豊後、肥後）の要に位置し、かつては国鉄宮原線も通っていて交通や物流の結節点として栄えました。杖立をはじめ、たくさんの温泉もあります。記念館の拠点性を高め、医師や医学者を目指す人が1度は必ず訪れて博士の偉業に触れるような地域を目指したいですね。

――話題を変えて、済々黌時代にはどんな生徒でしたか。また、古里で政治の世界を志したきっかけは？

渡邉　勉強より遊びや社会勉強に熱心だったかな（笑）。卒業後は家業の旅館を継ぐために帰郷し、青年団や消防団、観光協会などの活動に関わってきました。その中で先輩方の勧めもあり、自分なりに考える地域づくりを進めるために町議会議員や町長を目指した次第です。

松﨑　私は野球ばっかりやっていました。高校時代はピッチャーで、試合にたくさんの在黌生やOBが応援に来てくれたのが誇りであり、一生の思い出です。2年の秋の九州大会県予選では決勝まで進みましたが、九州学院に敗退。もし甲子園（春のセンバツ）に出ていたら、違った人生になっていたかもしれません。

――町政のリーダー二人が、済々黌の同窓という関係。それぞれ相手をどのように見ていますか。

渡邉　松崎議長は知見多き先輩。現在でもたくさんのことを教えてもらい、相談にものってもらっています。特に議会対策では「頼みの綱」ともいうべき存在。あっ、これはオフレコだったかな（笑）。

松﨑　彼は町議になる前から目立っていましたね。何事にも一生懸命で、杖立温泉の伝承芝居でも主役という「お祭り男」。行動力も実行力もある。多少失敗してもその何倍もの成功を収める力があると見込んでいます。

――北里博士や小国町について、母黌の同窓生や在黌生へのメッセージをお願いします。

渡邉　小国町は全国でいち早く「SDGs未来都市」の国選定を受け、SDGs（持続可能な開発目標）の理念に基づく施策に力を入れています。地熱資源や森林資源で産業を充実させ、博士の提唱した「学習と交流」とも重ね合わせて、地域の魅力を高めていきたい。まずは小国に足を運んでいただき、温泉や町の雰囲気、自然の豊かさ、美味しい食べ物などを楽しんでください。

松﨑　南小国町を含む小国郷の同窓会長を務めています。現在の会員は30人弱で、高齢化や後輩不足で5月の例会は10人前後。小国から済々黌に進む後輩が増えて、いつか卒業式恒例の「帽子投げ」を直接見る機会ができたらいいですね。

（聞き手＝蔵原 博康・H元）

【プロフィル】
◇渡邉誠次（わたなべ・せいじ）さん1970年生まれ。旅館「白水荘」を経営し、杖立温泉の活性化を推進。2011年から小国町議、19年4月に小国町長に初当選。
◇松﨑俊一（まつざき・しゅんいち）さん1956年生まれ。西南学院大卒。小国町役場を早期退職後、2011年から小国町議3期、19年5月に議長に就任。

特集

笑いの力

新型コロナウイルスの影響が各方面に色濃く残る中、こんな時だからこそ、笑うことを忘れたくない。済々黌から、お笑いの道に進んだ卒業生に登場してもらった。

『ネタが毛穴に浸透するくらい稽古します』

海原 はるかさん

上方漫才の海原はるか（本名・和泉秀一、S42）さんが相方の海原かなたさんと1970年（昭和45年）にコンビを組んで、50年になる。1・9分けにした髪の毛。これに、かなたさんが「フッ」と息を吹きかけると、髪がめくれて地肌が露出。すかさず、はるかさんが連獅子さながらに首を回すと、髪の毛が元のスタイルに戻る芸でおなじみだ。

高校時代は役者を夢見ていたという。銀行員だった父親、学校の教師だった母親に決心を伝えるため、2年の時、家出をしたことがあった。東京や大阪に行く勇気はなく、向かったのは鹿児島。夜の公園で警察に保護された。

〈迎えに来た父親が俺の顔を見るなり、キナ線の帽子を頭にかぶせ、「帰ろう」と言いました。努力して入った済々黌を退学するようなことをしたら、「あかんで」という意味だったのでしょうね。申し訳ないことをしたと思ったのですが、これで決心はちょっと伝わったかなと〉

日本大学芸術学部への進学を勧められたが、「お金の面とかで、これ以上迷惑かけたくないから」と、済々黌を卒業後、大阪市で読売新聞の奨学生になった。販売店に住み込み、朝夕刊を配り、集金やセールスをする傍ら、俳優養成所で2年間、日舞や殺陣、発声練習、役者としての基礎を学んだ。

そんな時、知り合いから、「大阪で頑張るんやったら、お笑いをやれ。ほんだら、ご褒美みたいな感じで役者の仕事も来るから」との助言を受け、女流漫才の海原お浜・小浜さんに弟子入りした。

俳優養成所の同期で、歌手志望が叶わず、トラックの運転手をしていた、かなたさん（奈良県出身）とコンビになり、デビュー。初日、師匠は鯛の尾頭付きで祝ってくれたという。なかなか芽は出なかった。ところが、20年ほど前、芸人仲間との楽屋話がきっかけで、あの芸が誕生する。

〈その頃、髪の毛が抜けかけていたんですよ。それが嫌やから、髪を後ろから持って来てセットし、分からんようにしてたんです。でも、その時は楽屋話を盛り上げへんかったら、「やっぱりテレビに出てないヤツはおもろないなぁ、と思われるのん違うかな」と思て、逆に髪の毛をオールバックにした。ちょうど戦国時代の落ち武者みたいな感じ。すると、楽屋は爆笑、相方が「あの頭、吹いたらおもろいんちゃうかな」と〉

〈松竹芸能のマネージャーさんが「もしかしたら、このギャグは君らの芸人人生のラストチャンスになるかも分からんで」と言い、その次の言葉に心を掴まれました。「一緒に夢追いかけませんか」て〉

▲『あせらず　あわてず　あきらめず』のモットーを書いた色紙を持つ海原はるかさん

◀青年時代のはるかさん。毛髪は豊かでした

2000年（平成12年）に上方漫才大賞奨励賞を受賞。遅咲きだった。この間、数次の漫才ブームが起きた。

〈（1980年代初めの）一次の漫才ブームの時は蚊帳の外でしたね。後輩がどんどん売れて行く。悔しいけども、それは表に出すべきじゃないと思ってた。やっぱり売れるヤツは売れるだけの努力してんねんから、と考えていました〉

その後、活動の幅は広がり、役者として、NHKの連続テレビ小説などに出演し、大阪松竹座の舞台にも立った。KAB熊本朝日放送の夕方の情報番組も毎月1回、レギュラー出演（新型コロナウイルスの関係で一時、見合わせ）している。はるかさんにとっての「笑い」とは、を聞いた。

〈先ず自分が楽しくなかったら、いかん。自分が本当に楽しんでたら、その楽しさは人に伝わる。そのためには、とにかく稽古をするんです。相方とは、ネタが毛穴に浸透するくらい稽古します、それが一番の基本やと〉

〈あと何年やれるかという年齢まで来てます。そやから、とにかく一本一本の仕事を楽しんで、最後はきれいに終わりたい。相方に恵まれ、17歳の頃は役者になりたいと思い、70歳にして大きな舞台に立てました。自分の好きなことをできてるというのは幸せやと思いますし、人生の後半になって、自分の古里で仕事できるというのは、これはもうたまらん幸せですね〉

（聞き手＝田上 賢祐・S49、倉澤 隆子・S51）

『元気で笑うとるが一番!!』

大田黒 浩一さん

お笑いとの本格的な出会いは熊本商科大学（現・熊本学園大学）での落語研究会の活動で。済々黌時代に応援団の副団長だったことが「きっかけ」だった。

〈私が応援団というのが大学にも行っとったっですね。勧誘の時に応援団がいきなり、私を目指してきましたもんね。大学の応援団は高校とはツーランクくらい違いますからね。「こりゃ、やびゃあ」と思ててですね。たまたま同級生がそれを察してくれて「お前はもう落研に入ったことにせぇ」と言うてくれたんで、落研を隠れ蓑にして。笑いは嫌いじゃなかったですね。年に1、2回、色んな会場を借りて、落語をするようになり、人前で喋って笑いを取って話を落としてというのが好きでした。えっ、好きな噺家ですか？　圓生師匠です〉

十代の頃から、藤崎八旛宮秋季例大祭に関わり、大学在学中の二十歳の時、祭りがハワイのカラカウアフェスティバルに招待された。高校OB連として訪問メンバーに加わった道中で、ばってん荒川さんと出会った。

〈行きの機内で仲良くなり、乗り継ぎで韓国・金浦空港で待たされたんですよ。荒川さんが「ちょっと、さるくばな」と言って、入っちゃいかんエリアに2人で入ったんですよ。あそこは軍と併設でしたから、いきなり取り囲まれ、拘束されようとした。そんなこともあり、より親しくなって〉

◀ばってん荒川さん（右）と舞台に立っていた頃の大田黒さん（本人提供）

荒川さんとの縁で、RKKラジオの朝の番組を受け持つようになった。これと並行し、荒川さんの番組のリポーターをするうち、荒川さんから「にわかばする気はなかかい」と誘われた。

〈肥後にわかていうとは台本がなか。話はあって、ぜんぶ口づてです。「俺がぎゃん言うたなら、ぎゃんだけんね」。それで舞台に。荒川さんは、お客さんば喜ばせることに貪欲でした。いかに笑わせるか、鍛えてもろたなぁ〉

荒川さんとの仕事に、荒川さんが座長、大田黒さんが副座長になり、県内の市町村を回って、本格的なにわかを披露するテレビ番組があった。平成の大合併が始まる前の頃だ。その土地の話題をにわかに盛り込んでいた。しかし、2006年（平成18年）に荒川さんが死去し、企画は途中で終わった。

〈荒川さんは具合が悪くても、公演が始まると、別人みたいに見事な舞台をこなす方だった。最後の舞台ばかりは思うように体が動かん、歌だけ1曲歌って、そのまま救急車へ〉

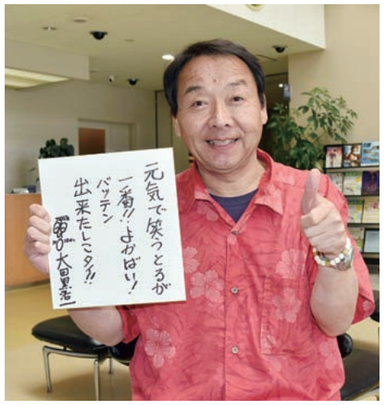
〈荒川さんの命日には、墓前で荒川さんが好きだったタバコを吸いながら、状況報告をして。やっぱ見とんなはるような気がする。どうしたら荒川さんの舞台に近づけるかなぁちゅうのがありますね〉

劇団「きゃあ」を立ち上げ、肥後にわかにかける情熱は変わらない。活動が40年を超えた自身の笑いやトークについて語ってもらった。

〈昔よりかは、こうしたら笑いにつながるとかいうのは、少しは分かったような。ドッカンドッカン笑うのもいいですけど、ちょっとニタッ、ニヤッとする、そんなのが好きなんです。落語もクスっと笑わせるのが好みです〉

〈荒川さんと県内の市町村を巡っていたのが途中でダメになりましたね。それを一人でもいいから、その土地の話を入れながら、熊本弁を交え、落語漫談みたいな形で回りたいと思っています。市民会館のような大きな小屋もいいですけど、高齢化時代なので、なかなかそこに足を運べない。そこで30人とか20人くらいの公民館でやっていけたらいいですね〉

（聞き手＝田上 賢祐・S49、倉澤 隆子・S51）



▲元気で笑うことの大切さなどを色紙で訴える大田黒さん

くりぃむしちゅー Special message

上田 晋也さん（H元）

人類対新型コロナウイルスの長い戦いになりそうです。しかし、戦いだからといって、目立った行動をする必要は無いと思います。最大限自分が新型コロナウイルスに感染しないようにする、最大限人にうつさないようにする、まさに目立たない行動です。でも、一人一人がそれを実行出来れば、人類が勝利します。皆で"目立たない"ヒロイン、ヒーローを目指しましょう！

有田 哲平さん（H元）

早く心の底から笑える日がくるといいですね。
力をあわせて乗り越えましょう！！

コロナ禍には負けんバイ！

特集

伝える力

伝える意義

TBSアナウンサー　山本 恵里伽（H24）

済々黌同窓生の皆さん、はじめまして。平成24年卒業の山本恵里伽といいます。

いま私は、TBSテレビという放送局でアナウンサーとして働いています。アナウンサー＝伝える仕事ということで今回声を掛けて頂いたのですが、アナウンサーと一言でいっても本当に様々な仕事があります。バラエティ番組や情報番組の進行にスポーツの実況、イベントの司会やラジオのパーソナリティ等々…それぞれの分野によって、「伝える意義」は変わってきます。ですので、今回は私が特に携わっている報道分野に関して、少しお話しできればと思います。

私が現在担当しているのは、NEWS23という平日夜11時から放送している報道番組です。もともと報道志望で入社したので、毎日やりたいことをやらせてもらっている、本当に幸せ者だなと日々感じています。夜の報道番組というと、政治や経済に明るくない人間は蚊帳の外のような、少し堅苦しいイメージがありますよね。私自身、自分が担当するまではそう感じていました。ですが、実際に自分がニュースの現場に足を運んだり、当事者の方からお話を伺ったりしていく中で、少しずつ報道に対するハードルが低くなっていったのです。それは、自分がなぜそのニュースを報じるのか、「伝える意義」を感じ始めたからだと思います。

今テレビをつけると、新型コロナウイルスのニュースばかりで本当に嫌気がさすという方、多いのではないでしょうか。報じている私たちも毎日気が滅入りそうになりながら放送しているので、視聴者の皆さんがそう感じるのは当然だと思います。でも、コロナ禍で大勢の人が苦しんでいることは紛れもない事実です。その悲鳴を私たちが代弁者となって伝えなければ、誰の目にも留まらぬまま苦しみ続ける人が出てきてしまう。生きづらさを感じる人を少しでも減らしたい。その一心で、今私は毎日カメラの前でニュースを伝えています。

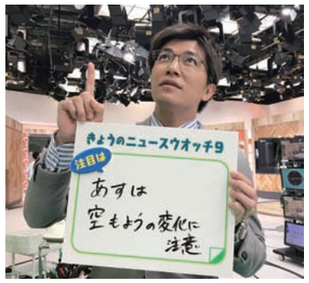
なんだかとても偉そうなことを言ってしまっていますが…単純に、みんなが笑顔で過ごせる世の中になってほしいんです。それが、私の「伝える意義」だと感じています。メディアや報道の在り方にも改善していかなければならない点はありますが、その影響力には大きな可能性があると思います。おかしいものはおかしい、すばらしいものはすばらしいと私たちメディアが伝えることが、理不尽な苦しみを減らし、より多くの人の生きやすさに繋がると私は信じています。

ここ最近はどうしてもネガティブなニュースが先行してしまい、批判的な声を頂く機会も増えました。私も本当は、明るいニュースばかりを笑顔でお伝えしたいのが本音です。でも、そうもいかないのが現実なのです。stay homeが呼びかけられ、家でテレビを見る時間が増えた方も多いと思います。見たくないものは無理して見る必要はありません。でも、私たちメディアは「伝える意義」を胸に日々放送しているということを、心のどこかに留めておいてもらえると嬉しいです。

▲TBS「NEWS23」でニュースを伝える山本さん

いのちを守る情報を伝えるために

気象キャスター　斉田（さいた） 季実治（きみはる）（H6）



▲▶NHKスタジオでの斉田さん

私は現在、気象キャスターの仕事をしていますが、元々は医者を目指していました。そのために大学は2年浪人、北海道大学水産学部に進学して気象予報士の資格を取得し、テレビ局に就職してからも、センター試験を合計で7回受けています。それでも医学部には合格できませんでした。テレビ局で報道記者になりましたが、医者になることを夢見ていた私にとって、数多くの犠牲者を取材するのは苦痛でした。一方で、正確な情報によって命が救われることも、取材を通して感じていました。ならばいっそ、災害が起きたあとに取材をする報道記者ではなく、未然に防ぐ「気象の専門家」として生きて行こうと、新たな道を見つけたのです。

気象の仕事を始めたのは、30歳になるころでした。収入は3分の1に激減しましたが、授業料を天引きされているのだと自分に言い聞かせて、先輩の予報士から技術を教わることに専念しました。1年半後にNHK熊本で気象キャスターとしての第一歩を踏み出し、その3年半後には念願だった東京へ移り、NHKの全国放送を担当するようになりました。しかし、それから1年も経たないうちに東日本大震災が起きてしまい、自分の無力さを痛感させられました。「いのちを守るための情報」を伝えたい、そのために気象キャスターになりましたが、自分にできることは、ほんのわずかでした。それでも自分に何ができるのかを問い続けながら仕事をしています。

▲高校時代のラグビー最終戦。左から4番目が斉田さん

いつどこで大雨が降るのか？どんな災害のおそれがあるのか？様々な情報をもとに予想を組み立て、正確な情報を伝える必要がありますが、それだけでは足りません。視聴者の「行動」に役立つことで、初めて情報としての意味があると思っています。

行動するためには、具体的にイメージをしてもらうことが大切です。「熱中症対策には塩をかけたスイカがお勧めです」と説明するだけでなく、生放送中に不意にスイカを食べたり、寒くなる時期には腹巻きをして登場したこともあります。去年の台風19号のときは、植木鉢や物干し竿を部屋に入れたりする様子を写真に撮ってツイートしました。専門家が実際に対策を取っている様子を見せることで、切迫感がより伝わると考えたからです。

情報の伝え方に1つの正解はありません。ウィズコロナ時代は、避難行動そのものが大きく変わる必要に迫られています。しかし、目指すべきビジョンは見えてきました。この人が言うのだから行動しよう。さらには、他の人にも伝えよう。そうなれば情報が拡散され、より多くの人に正確な情報が届くことになります。できることから一つ一つ前へ、歩みを止めずに進もうと思います。

伝えなければ

共同通信ワシントン支局次長　上西川原（かみにしかわら） 淳（じゅん）（H2）

共同通信の記者になり、最初に「伝えなければ」と強く意識したのは、2003年（平成15年）11月末、イラク戦争とフセイン政権崩壊で混乱するイラクのバグダッド支局にいた時のことだった。

首都バグダッドから北に約150キロ離れたティクリート付近で、日本人外交官2人が車で移動中に襲撃され殺害された。バグダッドでは情報を得られず「現場に行かないと何も伝えられない」と強く思った。「イラク復興に努力する日本人がなぜ、祖国から遠く離れた国で殺されるんだ」という個人的な憤りもあった。

▶在沖縄米海兵隊の訓練に取材で体験参加

当時は入社9年目。外交官2人と同じ道を使い現場に向かう車の中では、ここを通った時は彼らもまさか自分に危害が及ぶとは考えなかっただろうなどと考え、恐ろしかった。

▲北朝鮮側から南北の軍事境界線のある板門店

そもそも記者になろうと思った原点は、済々黌高時代の1年間の米西部ユタ州留学だ。

現地の日系企業で父親が働く米国人の高校の友だちから「日本製品は最高だ。どの大陸にあるんだっけ？」と聞かれ、驚いた。「島なんだ」と答えたら、ばつが悪そうだった。

日本人が思うほど、日本は世界に知られていない。日本人の米国像も実態と違う部分が多い。日米の懸け橋になれたらと漠然と思った。

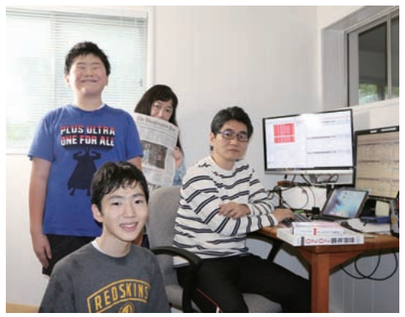
那覇支局から外信部に03年に異動する際に、離任のあいさつに行った当時の稲嶺恵一沖縄県知事から、日本メディアが国際情勢をきちんと伝えないから沖縄の米軍基地問題への理解が進まないと苦言を呈された。その言葉は、今も胸に刻んでいる。

12年からの1度目のワシントン支局赴任時、当時のオバマ大統領の演説に心を動かされた。

「ここアメリカ合衆国では、現場で見たことを米国の人々に伝えるという自分の仕事を単にしようとしているジャーナリストを、警察は妨害したり逮捕したりすべきではない」。14年夏、中西部ミズーリ州ファーガソンで白人警官が丸腰の黒人青年を射殺した事件で、ほぼ白人だけの現地警察の対応に批判が高まっていた。オバマ氏は記者らを一時拘束するなど手荒な対応をしていた警察を戒めたのだ。合衆国憲法が保障した「報道の自由」を含む「表現の自由」の重要性も強調していた。

国防総省の当局者も別の取材の際「われわれ軍組織は監視されなければならない」と話していた。

「民主主義」を測る物差しは何だろう。どれだけ自由に権力者を批判できるかが大きなポイントだ。「表現の自由」は、原則として権力を批判しても抑圧されない自由として保



▶ワシントン郊外の自宅でテレワーク（5月末）。夫人の千晶さん（H4）は済々黌の後輩

「ベルリンの壁崩壊」と「朴大統領暗殺事件」
～分断国家の特派員を体験して～

元テレビ西日本報道部長　續（つづき）　天（たかし）（S40）

障されており、決してヘイトスピーチなどを認めたものではないはずだ。

留学、ロンドン、2度のワシントン暮らしで海外生活は計8年。いくつかの視点で物事を見るようになり、「島国の日本」や熊本、済々黌の素晴らしさを改めて感じている。

当面の課題は11月の大統領選。自分に都合の悪い既存メディアをフェイクニュースと攻撃するトランプ大統領の再選が焦点となる。今後は、国際関係、ジャーナリズムや英語の学び方など、自分がこれまで体験してきたことを、少しでも日本、熊本の人たちに伝えていければと思っている。

私の時に大事件が起きる…

1969年（昭和44年）TNCテレビ西日本に入社、報道部に配属され、以来30年余り記者生活を送ることになる。なぜか、私が出社している時に大事件が起きている。

入社半年後に北九州の日炭若松炭鉱閉山のニュースが飛び込み、いきなり2時間余りの報道特別番組に生出演することになったり、福岡県内の商店街の大火災や、多数の死傷者を出した有明坑内火災事故など大事件、大事故の時にはいつもその日に勤務しており、全国中継でリポートすることになる。

ソウルでは大統領暗殺事件、クーデター、光州事件…

79年、33歳の時にFNN（フジニュースネットワーク）ソウル特派員として赴任。同年10月に朴正熙（パク・チョンヒ）大統領が側近のKCIA（韓国中央情報部）部長の金載圭（キム・ジェギュ）に暗殺される。済州島を除く韓国全土に戒厳令が発布され、2カ月後には粛軍クーデターが起き、全斗煥（チョン・ドファン）が実権を掌握する。翌年5月には軍隊と市民が衝突、155人の死者と4千人以上の負傷者を出した光州事件が勃発。ソウルと光州を結ぶ幹線道路には多くの軍の検問所が設置され、首に銃口を突きつけられ記者証の提示を求められる。10時間かけて現場に到着、今でも人体の屍臭の強烈さは忘れられない。

▲戒厳令下のソウル市内からリポート。後ろには武装した軍隊が見える

全斗煥軍事政権は日本のジャーナリストには特に手厳しい。日本に原稿を送るため、当時は交換手を通して国際電話をかけるが、当局に盗聴され、政府に批判的な内容だと何度も切断される。野党の金大中（キム・デジュン、のち大統領）の自宅に取材に行くと公安局やCIA、警察が尾行や監視にやって来る。撮影したテープは軍の報道検閲で没収されるため、ドイツ放送局の東京特派員に運び屋として来てもらい、デパートの包装紙に包み、お土産品に偽装してフジテレビに持ち込んだりした。

まさにスパイ大作戦のような国外追放覚悟の綱渡り取材を強いられた。大変危険な仕事だったが、今はこれも貴重な経験として記憶に残る。40年前と現在の韓国を考えるとその変革、経済成長ぶりには隔世の感がある。

▲朴槿恵氏の自宅での単独インタビュー

悲劇のトップレディー
朴槿恵の単独インタビュー成功

朴正熙大統領の長女、朴槿恵（パク・クネ、のち大統領後、投獄）嬢は母親の陸英修（リク・ヨンス）女史も在日韓国人の銃弾に倒れ、悲劇のトップレディーとして話題を集めた。国内外メディアからインタビューの申し込みが殺到、各社とも社長や日韓議連の政治家を使って青瓦台（大統領官邸）に取材依頼をしている。

若輩の私は何のツテもない。そこで朴嬢の自宅に3カ月間、雨の日も風の日も通い続け、やっと秘書官が私の手紙を受け取り即、単独インタビューの許可を得る。

フジテレビの看板番組「3時のあなた」の司会者を呼んで特集番組を編集し、ニュースでも放送した。

特派員として世界で最初に壁に上り、ベルリンの壁崩壊を中継

朴大統領暗殺事件から10年後の89年、西ドイツにボン特派員として赴任していた。

そこでまた大変革が待ち構えていた。当時、東ドイツの市民たちが「言論の自由と暮らしの豊かさ」を求めて同盟国の東欧諸国経由で西ドイツへの逃亡が相次ぐ。1日2千人が東ドイツ製ポンコツ車トラバントに家財道具を満載し家族全員で祖国を捨てる。医者、教師、弁護士など国を支える階層まで逃げている。

反体制派の地下組織とも逐次連絡を取っていたので東ドイツが日毎に弱体化しているのが実感できる。東西を隔てたベルリンの壁がいつ崩壊してもおかしくない状況にある。

壁が崩壊する3日前に何か大変なことが起きる予感を察知、衛星回線を夕方ニュース・スーパータイム用に30分間1週間の予約をフジテレビ外信部に依頼、これが見事に的中し11月9日ベルリンの壁崩壊の独占生中継が実現できた。特派員として最初に壁に上りリポートできたことはまさに幸運であり、その日は私の43歳の誕生日とも重なり、感慨無量であった。

当時のニュース映像はDVDに収められており、この映像を通して、貴重な体験談を一人でも多くの人に伝えたいと思い、公民館、大学、各種団体で講演活動を続けている。

▲壁に上り「ベルリンの壁崩壊」の第一報を世界で最初に伝えた

終戦75年・同窓先輩英霊の顕彰を！
多士会館二階「英霊鎮魂碑」慰霊祭を予定

済々黌英霊顕彰有志の会事務局　多久 善郎（S47）

多士会館の2階には、黄壁城の写真を背景に405柱の同窓英霊をお祀りする「第2次世界大戦済々黌英霊鎮魂碑」が鎮座して、日々済々健児を見守り続けている。この碑が建立されたのは終戦60年に当たる平成17年4月2日だった。背景には、大東亜戦争を体験された先輩方の「このままでは、御国の礎となった先輩英霊の史実が風化・埋没してしまう。この機会が最後である」との悲痛な叫びがあった。寄付金が881名の同窓生と1団体から寄せられて建立された。先輩方は三綱領を生き方の柱とし黌歌を愛唱しつつ、敢然と国難に立ち向かわれたのである。

この「鎮魂碑」建立から100年前の明治39年、済々黌では日露戦争同窓英霊を祀る「忠烈之碑」が黌内に建立されている。この時も、井芹経平黌長の戦歿英霊に対する篤い気持ちに同窓生が応えて、多額の寄付金が集まる事で実現している。済々黌は明治36年12月に火事で黌舎を喪失し、新黌舎落成直後の事業だった。今も黌内に厳然と立つ碑には、戦死された53柱の英霊の名前が刻んである。井芹黌長は、碑建立の意義を、共に国の為に戦い生死を共にするとの心の約束があった事と、英霊の顕彰は後輩達の感化導きの大きな糧になる事を述べられている。日露戦争に従軍された諸先輩の肉声は済々黌創立120周年記念に出版された『日露戦争従軍将兵の手紙』に伺う事が出来る。私も読ませて戴いたが、清明・仁愛・剛健の人徳が、後輩達を思う文脈の端々に表われており、その真情に強く心が揺さぶられた。

今年は終戦75年という節目の年に当たっている。この15年で「鎮魂碑」建立に尽力された先輩方の高齢化が進み、逝去された方も多い。それ故、今回の英霊顕彰事業を機に、若い方々とも「鎮魂碑」建立の意義を共有し、「有志の会」への参加・協力を呼び掛けたい。

▲黌内に建つ日露戦争同窓英霊を祀る「忠烈之碑」

▲多士会館2階にある黄壁城の写真と「第2次世界大戦済々黌英霊鎮魂碑」

有志の会事務局では、英霊に関する資料の収集にも着手している。4月には昭和21年8月に西合志合生（現在は合志市合生）の実家で自決して亡くなられた吉村学陸軍砲兵大尉（S12）の留魂碑に参拝し、甥御さんから大尉に関する詳しい資料をお借りする事が出来た。責任感の強さから「砲兵の鑑」であると称された吉村大尉は、日頃は温厚な人柄で「ニコニコ大隊長」と慕われていたという。又、済々黌で剣道部主将を務めて全国制覇した坂本充先輩（S15）は、慶応大学進学後に学徒出陣して海軍飛行予備学生となり、沖縄特攻で散華された。慶大の後輩は、「（体当たり玉砕は）彼の得意とする捨身の飛込み面そのもの」だ、と回想している。本人の日記には「別にこの際なんの虚栄もないが『坂本らしい死に方をした』そう云って俺を思い出して呉れる者がいるという事は限りなく嬉しい思いだ」と記されてあったと言う。

▲合志市合生にある吉村学さん実家に建つ「留魂碑」

私は若い頃、山口県周南市大津島の人間魚雷回天の記念館を訪れた際、豊住和寿・八木悌二両海軍中尉の遺影が飾られ、経歴に済々黌とあり、衝撃を受けた。後輩として何も知らない事が恥ずかしく申し訳なかった。

この秋には、5年ぶりに慰霊祭を斎行したいと思っている。その過程で405柱の先輩英霊に関する資料の収集にも力を尽くし、その成果はHPで公開出来る様にして、後輩達に、日本全国の青年に、先輩英霊に脈打つ済々黌魂を伝えて行きたい。

「三綱領」覚書

竹原 崇雄（S35～46国語科教員）

済々黌は明治15年2月11日に開校式を挙行し、「済々黌記」「三綱領」を公にした。その式について菊池直人氏（M17年在籍）は次のように記している。

一同着席ノ上何ガアッタカト申シマスト第一番ニ木村弦雄先生（当時先生ハ熊本師範学校ノ校長ガ本職デアルガ済々黌創立ニハ大ヘン尽力サレマシタ）ガ三綱領ト済々黌ノ記ヲ沈着極マッタ声デ朗読サレマシタ（中略）其ノ時ノ先生の風貌態度五十年後ノ今日猶眼前ニ髣髴シテ居マス（創立五十周年記念多士）

このようにして世に生まれた「三綱領」は高田原時代に学んだ小早川秀雄先生（M28年頃教諭か、関妃事変に参加、九州日々新聞社長）によると「教場とは障子一重」隔てた舎監室に『「済々黌記」と例の『三綱領』とが横長い板に書いて懸けてあった、額縁も無ければ何もない、粗末な板の額だ、併もそれが頭上から自分達を圧へつけるやうな気がして何とも言へぬ権威を示してゐた」（創立三十周年記念多士）と記しておられる。佐々先生はその「畳五枚か六枚」の舎監室に泊まり込み生徒の訓育にあたられた。

明治21年の入校式について「紫溟新報」は次のように報じている（『百年史』）。

先づ新入校生と旧生徒とを講堂に直立せしめ、黌長佐々友房は正面の卓に立ち、左の三綱領（略）を朗読されたり。続いて、「既に本黌生徒となる以上は、今朗読せし三綱領を遵守すべきは勿論、唯だ学術を教ゆるの学校にあらず、即ち人物を養成するの目的ならば、本校生徒たるものは、必ず其の意を服膺すべし（後略）」

このような祝辞の後新入生には「済々黌三綱領を印刷したるもの」が与えられた。

佐々黌長は三綱領をどのように「朗読」されたのであろうか。それは佐々先生が解説された「済々黌ノ三綱領」（『百年史』）に示されている。

済々黌ゆかりの人を訪ねて

歴史探訪

history 1

広島原爆

(田上 賢祐・S49)

太平洋戦争中の1945年（昭和20年）8月6日、広島に投下された原爆。75年前のあの日、キノコ雲の下に、母黌出身の沼田英一さんがいた。被爆した沼田さんは熊本に帰郷し、翌9月に亡くなった。16年の短い生涯と、同じ被爆者として、終生、沼田さんを追悼し続けた友人の戦後をたどった。

日満の良い子供に
東條首相からご褒美
熊本市の沼田英一君外三名へ
満洲建國記念書 募集に入選の
日満建國記念書畫展入選の少年達と東條さんの記念撮影
感激に胸震ふ 沼田君喜びを語る
習字が飯より大好きです
養必勝之信念
白川 六年 沼田英一

▲1942年7月25日付の熊本日日新聞の記事

済々黌で

沼田さんは1930年2月、熊本市で生まれた。白川国民学校（現・白川小）を卒業し、42年、中学済々黌に入学した。

この年の7月25日付の熊本日日新聞に、沼田さんに関する記事が掲載されている。「日満の良い子供に東條首相からご褒美　熊本市の沼田英一君外三名へ」の見出し。満州（現・中国東北部）建国10周年を祝うため、少年を対象に募集した習字図画展で、沼田さんは応募4万点から、習字の最高賞に入選した。

記事は首相官邸で、当時の東條英機首相から表彰されたことを報じ、東條首相らとの記念写真、沼田さんの顔写真、入選作品とともに、「立派に御奉公を誓ひます」との沼田さんの喜びの談話が紹介されている。

この栄誉で、沼田さんは黌内でも広く知られた存在だった。しかし、これをひけらかすでもなく、落ち着いた雰囲気を漂わせていた。当時は1学年6クラス。沼田さんは6組の級長を務めた。1学期に平均95点の成績を収めていたという。

▲沼田英一さん（広島陸軍幼年学校1年時）

広島で

沼田さんは翌43年、広島市にあった広島陸軍幼年学校に入校した。同期生（47期）184人のうち、熊本県出身者は10人。済々黌からは沼田さんら4人、熊本中学校（現・熊本高）から2人、宇土、鹿本、大津の各県立中学校と鎮西中学校から各1人が進んだ。

戦局の悪化に伴い、広島陸軍幼年学校は入校期別で郡部に疎開することになっていたが、沼田さんと熊本中学校出身の興梠展康さんの同郷2人はチフスの疑いで、広島第二陸軍病院に入院していた。そして、8月6日を迎える。病院は爆心地から1キロほどの距離にあった。

興梠さんは手記を残している。

《広島の空は晴れ渡っていました。退院に備え、院内を散歩中、後方に閃光を感じたまま、気を失っていました。（中略）やがて、命からがら脱出してきた患者たちに、分院に避難するよう指示がありました。途中、約6キロの道のりは正に地獄絵そのものでした》

沼田さんも庭に出ていて、背中に熱湯を浴びたような衝撃を受け、3日後、学校の救援隊に救助された。

8月15日の終戦を経て、31日、復員する沼田さんや興梠さんらを乗せた列車が広島駅を出発。石炭を積む、天井のない貨物車だった。途中、小雨が降り、何度も停車しながら、列車は熊本に向かった。

沼田さんは衰弱が激しく、興梠さんらは徹夜で看病した。翌9月1日、熊本駅に到着。「大丈夫か」「頑張れよ」「元気でな」。疲れ果て、駅の床に座り込んだ沼田さんに、復員者たちは声をかけて励まし、それぞれ実家や家族の疎開先に散った。

◀沼田さんを追悼し続けた興梠展康さん（熊本市内の自宅で撮影）

戦後

沼田さんは9月14日、自宅で死去する。弔問に訪れた興梠さんに、沼田さんの母・亀野（かめの）さんは涙ながらに語った。「あなたは運が良くて…」。亀野さんは、熊本大学病院から自宅に戻った沼田さんに、大好物だったカレーライスをこしらえた時のことを、別の弔問者に話している。「一生懸命につくったけれど、ほとんど喉を通らなくて……。それが悔やまれる」と。

興梠さんが発起人となって、まとめられた沼田さんの追悼文集の表題は「沼田英一君に捧ぐ」。書き出しに「沼田君のことは戦後、ずっと気にかかっていた。広島での『原爆被爆』のことは生涯、私の胸裡に重い。まして被爆によって歩数にしてほんの僅かの距離にいた戦友を喪ったことは、何よりも大きい」と綴り、「（亀野さんの言葉は）終生忘れられない」と述べていた。

沼田家は英一さんら後継ぎが死没し、両親も他界した。興梠さんは戦後、熊本市中央区の小峯墓地にある沼田家の墓と菩提寺を捜し出し、94年、幼年学校の同期生らと五十回忌の法要を営んだ。翌95年、遺族に代わり、小峯墓地に建立された「原爆犠牲者の碑」に合祀を申し入れ、毎年、墓参りと清掃を続けてきた。

沼田家の墓は、2016年（平成28年）4月に発生した熊本地震で倒壊したが、同年7月、「一日も早く整理してあげたい」という興梠さんの依頼を受けた次男夫婦が散乱した墓標などを墓前に仮安置し、その後、石材業者の協力で元の状態に修復された。「沼田君も安心しているだろう。これからも墓参りを続けたい」。そう話していた興梠さんだったが、昨年10月、90歳で死去した。

▶写真右が熊本地震で倒壊した沼田家の墓。左が修復された沼田家の墓。手前に薄く「英一」の名前があるのが分かる

▲小峯墓地に建つ「原爆犠牲者の碑」

◇

母黌を見下ろす立田山山腹の小峯墓地で眠る沼田さん。1年で終わった済々黌で学業に励み、書の道を極める夢を見続けているのだろうか。それとも、興梠さんを迎えて、広島陸軍幼年学校時代のことを語り合っているのかもしれない。

中学済々黌、広島陸軍幼年学校で同級

ハワイ在住の早瀬 登さん

興梠展康さん（熊本中学校出身）が残した追悼文集「沼田英一君に捧ぐ」には、中学済々黌でも、広島陸軍幼年学校でも同級だった早瀬登さん（米・ハワイ在住）の寄稿も収録されている。

済々黌1年時、沼田さんは6組、早瀬さんは5組。当時、早瀬さんの義兄が両クラスで数学の担任をしていて、早瀬さんは、沼田さんの学業の優秀ぶりを聞き、「凄い奴だなと驚嘆したことをはっきり記憶しています」と記している。「生きておれば、何か戦後日本の復興に寄与したであろう彼を早く失ったことは実に残念な事でした」とも。

広島の、あの日。早瀬さんは休暇中で難を免れたが、翌7日、広島市に入り、入市被爆した。8月31日、熊本に向かう列車に、沼田さんらと乗り込んだ。車中での「弱々しくやつれた彼の顔が今も悲しく目にうつります」。久大線に乗り換えるため、鳥栖駅で別れたのが最後になった。

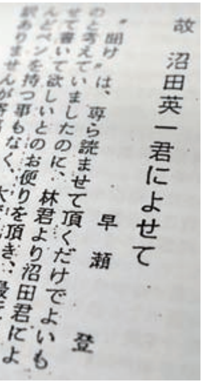
早瀬さんは終戦後、済々黌には復学せず、大分県佐伯市の佐伯中学校（現・大分県立佐伯鶴城高校）を卒業。佐賀県の開拓団に加わった後、1952年（昭和27年）に上京し、80年にハワイに渡った。レストランに勤めたり、自分の店を持ったりしたが、夫人を病気で失ったこともあり、65歳で引退した。

そののち、2011年（平成23年）から18年までの7年間、「ハワイ明治会」の会長を務めた。早瀬さんは自宅から、ホノルルのマキキ地区にある日本人墓地まで定期的にバスで通い、清掃や管理、法要を行うなどの活動を続けた。墓地には、日本人移民や太平洋戦争の真珠湾攻撃で戦死した日本人兵士の慰霊碑があり、戦争の開戦から75年目の16年、安倍晋三首相が墓地を参拝した際は、先導役・案内役を果たした。

こうした功績から、昨年春、戦災死没者慰霊功労として、日本政府の旭日単光章を受けた。昨年6月、ホノルルの日本総領事館で伝達式が行われたことを報じる日系の現地紙が、早瀬さんの挨拶を紹介している。

「私は昭和5年に生まれ、ただ今、89歳でございます。真珠湾攻撃を発端にした太平洋戦争の真っ只中で育ちました。広島の陸軍幼年学校にいた頃、航空兵の先輩方が淡々として戦場に向かわれるお姿を見ました。それは今もはっきりと覚えています。それだけに、ここハワイで御霊が眠るお墓を一生懸命守らせていただきました。明治会は60年経っております。その間にずっと先輩の方々が守ってこられたものを継続し、大事にしてきただけです。本当にありがとうございました」。

翌7月、済々黌同窓会ハワイ支部で早瀬さんの受章を祝う集まりが開かれた。戦時中、戦後の混乱で済々黌を卒業することはなかったが、スクールカラーの黄色いタオルを持つ早瀬さんの笑顔が記念写真にある。


故　沼田英一君によせて　早瀬　登
“晴け”は、専ら読ませて頂くだけでよいものと考えていましたのに、林君より沼田君によせて書いて欲しいとのお便りを頂き、最近は殆んどペンを持つ事もなく、大変拙ない文で訳ありませんが寄稿させて頂

▶追悼文集に収録された早瀬さんの寄稿（部分）

▶ハワイ支部の祝賀会で記念写真に納まる早瀬さん（前列中央）と早瀬さんが受章した旭日単光章の勲章

東京五輪 聖火ランナー

▲北島康介さん（右）からトーチを受け取る野口さん（本人提供）

新型コロナウイルスの影響で延期になった東京オリンピック・パラリンピック。聖火リレーの走者に選ばれた同窓生は、来年の晴れの舞台に希望と夢をつないでいる。

野口真未さん（H27）は、日本コカ・コーラが募集した聖火リレーの走者に選ばれ、熊本県内でトーチをつなぐ。熊本大学法学部2年次に2017ミス・ユニバース・ジャパン熊本代表に選出された野口さん。「私を応援してくださった全ての方への感謝を胸に、ランナーとして走ることで、熊本地震からの復興に突き進む熊本の姿を全国、そして、世界に発信したい」という思いを募らせている。

応募したのは、もう一つの理由があったという。小学4年から熊本大3年までの12年間、陸上競技を続けることができたのは、両親や指導者をはじめ支えてくれた人たち、競い合った仲間のおかげ、と感謝の気持ちを伝えたいからだ。

小学6年の夏、東京・国立競技場での全国大会の走り幅跳びで入賞。聖火リレーのゴールになる国立競技場は思い出の場でもある。済々黌1年次、走り幅跳びで岐阜県での国体に出場、2年と3年次は三段跳びで全国大会に連続出場。熊本大では三段跳びを専門に競技を続け、1年次に西日本インカレに出場。3年次には、熊本の陸上界に恩返ししたい想いから審判資格を取得し、熊本が会場となった全日本中学生陸上競技大会で審判を務めた。

今年2月、東京で開かれた日本コカ・コーラの聖火リレーのPRイベントに招かれ、元競泳選手の北島康介さんから渡されたトーチを手にし、その重さで役割を実感した。その後に広がった新型コロナウイルス禍。野口さんは京都市で法律を学びながら、来年の出番を待っている。弁護士を目指し、熊本大を卒業後、京都大学法科大学院に入学した。

その原点は、2016年の熊本地震のボランティア活動にあると語る。ミス・ユニバースへの挑戦のきっかけにもなった、被災地でのがれきの片付けなどの体験や、熊本城復興支援の募金活動を行う中、法律家が被災者の生活再建に尽力している姿を数多く見聞きした。「法律は日常生活だけでなく、復興にも深く関わっている」と、熊本大在学中に法曹の道に進むことを決心し、済々黌と同じような、自由な校風を京都大に感じ、進学先に選んだ。

「将来は人の心に寄り添い、みんなを笑顔にできる弁護士になりたい」。野口さんは聖火リレーでトーチをつないだ後も、大きな目標に向かい、走り続ける。

（田上 賢祐・S49）

熊本県和水町を走る予定の一森聖史さん（R2）は今春、済々たる多士に値する生徒をたたえる多士賞を受けて、母黌を巣立ち、早稲田大学法学部に入学した。「栄えある多士賞をいただけたことに感謝します」と語る。

同町出身で、下宿生活を送った高校時代は1年から3年次まで、応援団の団長を務めた。母黌が文部科学省から指定された「スーパーグローバルハイスクール（SGH）」のSGコースに入り、JICA（国際協力機構）での研修や職員ゼミ、個人研究を通して、地元への恩返しをしたいと、地方創生を将来の目標に決めたという。

それ以降、資料や文献を探し、地方自治体職員へのインタビューも行い、英語でのプレゼンテーションや九州・全国SGHフォーラムにも挑戦。「済々黌で貴重な経験を得、多くのことを学びました。大学でさらに知識と実力を蓄え、地域社会貢献の第一人者となれるように努力していきます」と、目を輝かせる。

熊本県が聖火ランナーを募集しているのを父親の久佳さんから聞き、応募。もともと卒業した和水町立菊水中学校では、陸上部の主将。玉名荒尾地区の中学校総合体育大会の駅伝で区間賞、チーム総合記録の大会新記録をマークしたこともあった。倍率60～70倍の中で選ばれ、「喜びと同時に、責任を感じました」。しかし、五輪延期が決定。さすがに「気落ちしてしまいました」。

▶金栗さんゆかりの石碑の前で、トーチを掲げる一森さん

それでも、「走る姿を通して、生まれ育った和水町への感謝を伝えたい」との思いは変わらない。もう一つの願いがある。和水町出身で、日本初の五輪マラソン選手の金栗四三さんが残した「体力・氣力・努力」の精神が、自分たち若者の世代に受け継がれていることをアピールすることだ。

◇

一森さんの写真は、和水町に残る金栗四三さんの生家前で撮影した。金栗さんの「体力・氣力・努力」の精神が刻まれた石碑が建っている。一森さんが手にしているのは、前回（1964年）の東京五輪の聖火リレーに使われたトーチで、熊本県玉名市在住の吉川英之介さん（73）から拝借した。吉川さんは当時、県立玉名高校陸上部の主将として、聖火ランナーを務め、市役所で宣誓した。その様子を、玉名高校OBの金栗さんは見守っていたという。

（田上 賢祐・S49）

多士済々

天地万象皆わが師　進まん理想の目標に

苦難を乗り越え、プロ歌手デビュー

歌手　加藤 大知（たいち）さん（H27）

▶NHKホールでのチャンピオン大会で熱唱する加藤さん（本人提供）

高校を卒業した年に父の進行性の難病、多系統萎縮症が発覚。高校在学時、父の異変に気付きながらも病だったことに気づけず、衝突ばかりしていた過ちを酷く後悔しました。父は、日に日に身体が動かなくなり、やりたいことができなくなっていきました。そんな父に、自分自身が思いっきり好きなことに打ち込んでいる姿を見せ、少しでも元気になってほしい。それがいま自分にできる唯一の親孝行だと思い、父も自分自身も好きだった歌で気持ちを伝えたいと、2017年9月24日に熊本県阿蘇市で開催されたNHKのど自慢に挑戦しました。

応募ハガキの中から選ばれた250組のうち、生放送に出演できるのは20組。そこで父との思い出の歌を歌い、チャンピオンになることができました。そして翌18年3月3日、全国約50人のチャンピオンの中から13人が選ばれ、NHKホールで開催された「NHKのど自慢チャンピオン大会2018」に出演。そこでは、阿蘇大会でも歌った父が大好きだった曲「指輪 /navy&ivory」を歌いました。審査委員長の秋元康氏に「歌い手が誰のために歌うのか明白になった」とその歌声を高く評価していただき、年間3万7708組の頂点、グランドチャンピオンになることができました。

その後、NHKのど自慢グランドチャンピオンとして熊本を中心に数々のイベントに出演する中で、父を元気付け励ますためだった歌が、いつしか聴いてくれる方々にも元気を届けられるようにと気持ちが変わっていきました。

昨年12月本格的に歌手デビューを視野に上京し、今年4月にプロ歌手としてCDデビューが決定しました。（新型コロナウイルスの影響により延期中。7月に全国発売と配信が決定しています。）

こうして全く違う分野に対して柔軟に考えて、ひたむきに努力することができたこと、どんな逆境に対しても頑張れたり、結果に繋げることができたのは、間違いなく済々黌での学びがあったからだと思います。グランドチャンピオンになった時にも、高校生活で、中学時代の陸上ほど真剣に向き合っていなかった勉学に打ち込んだ経験、徳・体・知を重んじた学校生活の中で、自然に身についていった三綱領の精神が大きく影響したことを実感しました。そしてこれからもきっとその精神は活きてくると確信しています。今後もその教訓を活かし、どんな逆境にも負けず、紅白歌合戦も行われるNHKホールの舞台に、今度はプロとして立ちたいと思います。

現在は新型コロナウイルスの影響で、多くの業界と同様に音楽業界も逆境に立たされています。そんな中、教訓を活かそうと、YouTubeで毎日生配信をし、音楽を届けたり、自分に今できる精一杯の活動を行なっております。

皆さんも大変辛い思いをされていると思いますが、逆境に負けず、手を取り合って乗り切りましょう。1日も早くこの事態が終息し、皆さんに再び当たり前の日常が戻りますよう、切に祈っております。

情熱を注いだ自転車競技でプロ参戦！

プロ競輪選手　田（た）　典幸さん（H22）

▶熊本競輪場での3時間余りの朝練習を終え、すがすがしい表情の田さん

いずれ黌史の1頁を彩るだろうレーサーが誕生した。平成22年卒の田典幸選手（28）だ。

かつて京大出身の競輪選手が出現して、競輪界を大いに賑わせたことがあったが、田さんは鹿児島大学農学部出身。微生物の研究を目指したが、それ以上に情熱を注いだのが、自転車競技。同大学の自転車部に所属し、サイクリングに熱中した。在学中に部員6人で鹿児島から日本の最北端・宗谷岬を目指した。道中では名所旧跡を見物しながら、野宿を重ねる呑気な旅だったものの、40日間をかけて見事に走破し、学生時代の実り多き想い出を作った。そればかりではなく、日に日に自転車熱は高じるばかり。各競技大会に参戦し、しかも好成績を残して行った。

そんな田さんに、お声がかかった。奈良市にあったS奈良という実業団チームが白羽の矢を立てたのだ。「ヨーシッ！自転車に青春を賭けてみよう」。そう決心した田さんが、この話に乗ったのは必然的な成り行きだったのかも知れない。だが、このS実業団の経済事情は最悪を極めており、契約したサラリーもほとんど支払いが滞る始末。見切りをつけた田さんが、次に目指したのが、競輪選手だった。

しかし、そう世の中は甘くない。静岡県伊豆市修善寺にある日本競輪選手の養成所に入所するまで、丸三年を費やした。〝三度目の正直〟で117期に見事合格したが、その間の苦労、葛藤は並大抵ではなかったはずだ。そんな息子を辛抱強く、そして温かく見守った両親の気苦労も大いに察せられる。だが、とにかく競輪選手がついに誕生した。筆者の記憶が正しければ、30余年前に活躍した矢野行敏選手以来、母黌から2人目になる。

「師匠の田川辰二さん（現役選手）が説いてくれるように、1日1日を大切に。一歩一歩練習を積み重ねます。すべてはこれから。プロの世界の厳しさを噛みしめながら、頑張るつもりです」。

息子の雄姿を唯一の楽しみにしていた父・一幸さんは令和元年10月に

他界した。享年72歳。「一番理解し、いつも後押ししてくれたのが父でした。言わば一緒に競輪選手を目指したと言ってもいいほどです」と、キッパリ。そんな田さんのプロデビューは5月15日の広島新人リーグ戦。亡き父と共に人生のスタートラインを切った。

（鷲頭 英司・S41）

逆境で知った「支え合い」を次世代に

特定非営利活動法人あっとすくーる 代表　渡　剛さん（H20）

私は今、大阪でひとり親家庭の子どもたちを支えるための学習塾「渡塾」を運営しています。自分自身がひとり親家庭で育ち、経済的・精神的に苦しい体験をしたことが背景にあり、自分と同じ境遇の子どもたちを支えたいと思うようになり、大学3年生の時に母体となる任意団体「@school」（あっとすくーる）を立ち上げ、今に至っています。

皆さんは「子どもの貧困」という言葉を聞かれたことがありますか？今日本では、7人に1人の子どもが貧困状態で暮らしていると言われ、ひとり親家庭の子どもに限れば2人に1人だと言われています。これは、先進諸国の中でもトップクラスに高い数字です。

▶大阪市でひとり親家庭の子どものための学習塾を開設した渡さん。下の写真は子どもたちと談笑するスタッフの大学生（本人提供）

こうした子どもたちを支えるために、私は大阪で学習塾を始めました。通常の塾であれば、多くのひとり親家庭が授業料が高くて通えません。そこで、皆様からのご寄付を活用して授業料の減額制度や奨学金制度を設け、経済的な面で通いやすい工夫をしています。

また、講師を務めてくれているのは大学生です。現在100名近い大学生がうちで講師をしてくれています。勉強のサポートはもちろん、誰にも言えない家の悩みや学校での悩みの相談に乗ったり、子どもたちが日々を過ごしていく中で欠かすことのできない相手になってくれています。

そんな塾を、子どもたちは「第二の家みたいな場所」と呼んでくれています。

https://atto-school.com/

私たちは、支えられて育った子どもたちが次の世代を支える担い手になっていってくれる「支え合いの循環」を社会の中に作っていきたいと考えています。実際に、今も元塾生で、講師をしてくれている大学生たちがいます。

「自分がしてもらったように、今度は自分が次の世代の子どもたちを支えたい」。そう言って、貴重な大学生活の一部の時間を子どもたちのために使ってくれています。

今はコロナで大変な時期ですが、今この時期を支えることは、次の世代の子どもたちを支える担い手を増やすことにもつながっていくと確信しています。

もし良ければ、この支え合いの循環を寄付という形で支えていただけたら嬉しいです。

よろしくお願いいたします。

▲玉三郎さんの八千代座公演について話す戸澤さん

ものごとは手を抜いたら駄目だ

戸澤 栄二さん（S49）

山鹿市の芝居小屋「八千代座」（国指定重要文化財）。1990年（平成2年）から30年間、毎年のように舞台に上がってきた歌舞伎俳優・坂東玉三郎さん（人間国宝、文化功労者）の最後の舞踊公演が10月30日から11月8日にかけて行われる。初回から、地元で受け入れの中心メンバーとして活動している戸澤栄二さんは、玉三郎さんへの感謝を胸に準備を進めている。

▲八千代座。国の重要文化財に指定されている

八千代座は1910年（明治43年）に建設された。江戸時代の芝居小屋の風情を残し、様々な興行が行われ、賑わいをもたらした。だが、テレビに押されて客足が遠のき、一時は廃屋同然に。危機的な状況から市民たちが立ち上がり、募金活動を続けて、1987年（昭和62年）に修復された。

玉三郎さんは90年、劇場の復興を願う地元の女性から手紙で協力を依頼され、初めて公演。戸澤さんはこの時、実行委員会の事務局長、以降は実行委員長などを務めている。93年の公演は14日間で昼夜18回に上るなど、玉三郎さんの毎年の舞台で、八千代座の知名度は上がり、96年には国が動いて、「平成の大修理」が行われた。

戸澤さんは「山鹿の地域、温泉、人を気に入っていただいたからこそ、ここまで続いてきた」と語る。

しかし、玉三郎さんは昨年秋の公演の口上で、「来年の30周年を機に一区切りとしたい」と語った。本来は今年5月に予定されていた最後の公演は、新型コロナウイルスの影響で秋に変更になった。

▶八千代座の館内で、玉三郎さんを囲んで（舞台寄りに立つのが玉三郎さん（左））と戸澤さん。写真は戸澤さんの提供で、撮影は1992年頃か）

「人生の半分近く、お付き合いをさせていただいた。芸に打ち込む姿勢から、ものごとは手を抜いたら駄目だということを教えてもらった」と戸澤さん。舞踊公演は区切りを迎えるが、「自身で舞台を演出したり、プロデュースをしたりと、これからも玉三郎さんと八千代座はいろんな形でつながっていくと思う」と述べ、こうも付け加えた。「八千代座は山鹿の宝。100年後、200年後を見据えていきたい」。

◇

また、戸澤さんは熊本多士ライオンズクラブの幹事として、活動している。同クラブは一昨年、黄壁城ライオンズクラブのスポンサーで設立された2つ目の済々黌OBクラブ。メンバー22人。今井政文さん（S48）が会長、別当公一さん（S60）が副会長、福島大典さん（S49）が幹事、荒瀬健夫さん（S49）が会計を務めている。

（田上 賢祐・S49）

県ハンドボール協会の新会長に就任

熊本県ハンドボール協会会長　木下 龍起さん（S47）

島田俊郎さん（S39）の死去に伴う熊本県ハンドボール協会の後任会長に5月、副会長を務めていた木下龍起さんが選出された。木下さんは「熊本はハンドボール王国。島田さんの遺志を継ぎながら、王国の名に恥じない活動ができるよう県協会の環境を作っていきたい」と抱負を語る。

木下さんは高校時代はハンドボール部で活動し、同部OB会の事務局や会長を務めた。島田さんの勧めで、2015年度に県協会の副会長に。会長就任について、「済々黌で競技しただけで、ハンドボールにそれほど精通している訳ではない。協会にはもっと造詣が深い方もいる。事業家（自動車補修部品卸「オートアライアンスグループ」社長）として現役でもあるので、随分と悩んだ。それでも最終的に引き受けたのは、やはり島田さんの影響が大きい」と話す。

▶新会長としての抱負を語る木下さん

県内の競技力に関して、「熊本はハンドボールが根づいているからこそ、昨年の女子の世界選手権大会が成功した。競技力も中学生までは強い。しかし、高校は以前ほどではなく、いい選手が県外に流出する傾向がある。その対策が課題であり、これからも熊本をハンドボール王国とするために、高校生、大学生、実業団なりで実績を出していくことが目標」と見据えている。

平成以降、県ハンドボール協会の会長は▽與縄義昭さん（S35）（平成元年度～9年度）▽三角保之さん（S34）（10年度～14年度）▽島田俊郎さん（S39）（15年度～令和元年度）▽木下龍起さん（S47）（令和2年度～）と、4代にわたって、済々黌OBが受け継いでいる。

（田上 賢祐・S49）

音楽が持つ癒しと励ましをお届け

今藤 雅照さん（S43）

コロナウイルス禍が、全国に拡大している時。YouTubeなどで、オリンピックの金メダリストや芸能人らが、映像を流して国民を癒し元気付ける試みが、テレビで報道されている。世界に目を向けると、世界の歌姫・レディ・ガガが、約8時間のコンサートを送り続け、話題を呼んだ。

言葉で言うだけなら、その辺の評論家や政治家に任せておけば良い。行動に移し実行する事が、重要なのだ。神戸市在住の済々黌OBの今藤雅照さんが、沈み切った人たちの心を癒し、慰めようと始めたのが、音楽。予め曲目を電話で注文しておくと、本人と折り合いつけば約2、3分の好きなメロディが聞ける仕組み。

▶曲目に合わせて様々な楽器を操り、癒しの音色を届ける今藤さん＝神戸市

今藤さんが、このサービスを思いついたのは、かつて高齢者施設などへの訪問演奏などをしていたが、それもコロナ禍では思うに任せず、この方法に至ったという理由。

楽器は、ピアノの弾き語りを中心に鍵盤ハーモニカにリコーダー、金管楽器と尺八など多種多様。曲目も懐メロやポピュラーなど数百曲用意しているという。神戸市の児童自立支援施設に勤務していた時に、必要不可欠になり楽器は独学で覚えたそうだ。在黌時に吹奏楽部で培った技量が役に立った。

「曲目に関しては出来ないこともあり、こちらに合わせて頂く事もあると思いますが、なるべく注文通りに応えたいと思います。音楽が持つ癒しと励まし、それにひと時の安堵感を味わってもらえれば、それに越したことはありません」

レディ・ガガは8時間のコンサートだが、今藤さんは、それを超える毎朝8時から夜の8時、12時間もミニコンサートを繰り広げる。母黌OBには、いろいろ根性のある人たちが多く見受けられるが、在黌時に山岳部で鍛えあげた今藤さんもその一人。今後の健闘と健康に大いにエールを送りたい。

今藤さん＝080-5600-5623で受け付けている。（今藤さんから掛けても差しつかえないとか）

（鷲頭 英司・S41）

“医は仁術”を地で行く漢（おとこ）が北の大地へ

石崎診療所院長　大鶴 榮史さん（S41）

この春、自分の病院を息子に任せ、住み慣れた大阪から北の大地・北海道に移り住んだ。

「大した理由なんてなかったけど、この歳（72歳）になって少しはお国の役に立とうかな、という軽い気持ちで思い立った」。

これまで鹿児島大学から大阪大学と医学部畑を歩き、その後、30数年、〝町のお医者さん〟として患者を見守り続けてきた。漠然と「いつかは何か世の中に〝恩返しした い〟という思いが頭の片隅にあった」そうだ。

北海道檜山郡上ノ国町字石崎は、

▶「石崎診療所」院長として奮闘する大鶴さん＝北海道・石崎町

オホーツク海を臨む、約400人が暮らす小さな町、というより村と言った方が当たっている。その「石崎診療所」の院長として毎日、診察に当たっている。元々は産婦人科医なのだが、内科に外科もこなす〝何でも屋さん〟。症状次第で、すべての病に当たる。

「離島という選択肢もあったんだが、高齢ということで医師会から止められてしまった、アッハッハ。まあ折角ここへ来たんだから80歳ぐらいまでは頑張ってみるよ」。

世の中には、金儲けに走る医者が目立つ昨今だが、大鶴医師はそれとは真逆の考え。正に〝医は仁術〟を地で行っている人格者と見た。済々黌育ちに多く見られるタイプの人間なのだろう。

「ウォーキングが好きで、こちらに来てすぐに『ちょっと隣村まで歩いて来ます』と言ったら、『先生、止した方がええ。今は熊が多く出る時期じゃから…』と、止められてしまったよ、ハッハッハ」と、愉快そうにエピソードを披露してくれた。いまの田舎暮らしがすっかり気に入ってるようだ。

演歌大好きな筆者の頭を過ぎったのが、吉幾三の『俺ら東京さ行ぐだ』の一節、「♪たまに来るのは回覧板、俺らこんな村いやだ」のイメージシーン。でも電気も水道もガスも来ているそうだ、石崎診療所には…。

団塊世代もすでに、後期高齢者の一歩手前まで来ている。それでも自分の思うように目標を持って生きていけることは、何と幸せなことだろう。こんな漢が居てもいい。なんだか熊と相撲を取ってる大鶴医師が、夢に出て来そうだ。

（鷲頭 英司・S41）

理屈抜きにただ前へ、一直線に突き進む

熊本県神社庁庁長　宮崎 國忠さん（S39）

「〝男の仕事〟は、銭、金の問題じゃないよ。好きな事が出来る幸せは、何物にも代え難いものじゃないか…」。

宮崎先輩を語る時、必ず想い出すのが、東京本社で一緒に薄給にあえぎながら働いていた、新米記者たった時の同僚のこの言葉だ。とにかく金銭面などあまり気にせずに、理屈抜きで目的に向かって一直線に突き進む。まず行動に移すのが先決なのだ。そんな人である。

2011年（平成23年）3月11日午後2時46分、東日本地方を襲ったマグニチュード9・0の大地震は日本全土を震撼させた。その1カ月半後、宮崎先輩は、マイクロバスに多くの支援物資を積み込み、福島県南相馬市を目指していた。天草郡苓北町から南相馬市まで無我夢中で車を走らせ丸2日。その直後に襲った大津波の爪痕を目の当たりにしながらの道中は、いかばかりだったか。

当地に着いてから3カ月間、泥水に足を取られながら、ボランティア活動に汗を流したのだ。一旦天草に引き揚げたが、その後計画したのが、原発事故下で「外にも出られない福島の子どもたちに、思い切り遊ばせてやりたい」という熱い思い。その夏、当地の小学生9人を熊本⇔天草⇔長崎と巡る、〝伸び伸び遊べる夏休み〟を経験させた。長崎市では諏訪神社に宿泊し、海水浴に水辺のコンサートなど、子どもたちに思い切り自由な夏を満喫させた。その後も、人吉・球磨工高宮大工科生らが作製した祠（ほこら）を、南相馬市へ2度運び込み設置したりもした。とにかく一度思い込んだら、脇目も振らず一直線に突き進む。その行動力には、いつも口をあんぐりさせられる。

母黌の新聞部部長の時も、野球部部員が11人しかいなかったことを嘆いて（？）当時、「学生野球の師」と言われた飛田穂洲（すいしゅう）氏に手紙を送り、問題を呈した。数日後届いた返事が、母黌新聞に大きく踊ったのは、言うまでもない。

高校野球をこよなく愛する宮崎先輩。本年の甲子園春の選抜、そして夏季大会の中止は、コロナ禍では致し方ない事かも知れないが、悲惨さと空虚さが胸中を占めているに違いない。そんな暗さを吹き飛ばす、銭金を度外視した宮崎先輩の、次の一手が待ち遠しい。

（鷲頭 英司・S41）

▶志岐八幡宮、春の例大祭での宮崎國忠宮司（左から2人目）と済々黌の後輩たち＝天草・苓北町

母黌へ、そして熊本へ恩返し

元薬局店店主　上野 健（たけし）さん（S22）

「何か皆さんの役に立つ事をしたい」と思うようになったとか。そんな時、押し入れにあったお金を見つけたそうだ。二人で旅行に行った時の余ったお金など、放り込んでいた。それがいつの間にか大金になっていたという。昨年7月に「母黌のため使って欲しい」とのお気持ちで多士会館等に計1千万円を寄付された。さらに「生まれ育ててくれたふるさと熊本のためにも何か役に立ちたい」と。熊本地震からの復旧復興が日々続く熊本。上野夫妻の熱い視線はそこへも注がれている。

（鷲頭 英司・S41）

▲竹下前黌長（左）、野口同窓会長より、上野さん（中央）に感謝状を贈呈。

Memorial

追悼

済々黌同窓会前副会長
島田 俊郎氏（S39）

▶2013年、カタールのドーハで女子ハンド世界選手権招致が決定。日本ハンドボール協会副会長の橋本聖子参議院議員ら関係者と写真におさまる島田さん（前列右）と古池さん（後列右）（古池さん提供）

県ハンドボール協会長の急逝を悼む

熊本日日新聞運動部

熊本が沸いた2019年女子ハンドボール世界選手権。11月30日から12月15日まで全96試合で史上2位の32万人の観衆を集めた。「世界ハンドを県スポーツ界発展の呼び水にしたい」―。開幕1カ月前の取材時、島田俊郎県ハンドボール協会長は強い思いを口にされた。「会長がいなければ熊本での開催はなかった」。誰もがたたえる卓越した行動力と情熱が大会を成功へ導いた。そして閉幕から間もなくしての急逝―。お悔やみの言葉がすぐには出てこなかった。

済々黌時代に没頭したハンドボールの普及に心血を注ぎ、熊本での1997年男子世界選手権では県協会理事として奔走。2003年に会長に就くと、今度は女子世界選手権で郷里を盛り上げようと海外へ出向き、各国要人との熱心な交流が招致を実現させた。

女子世界選手権開幕まで2年を切った18年2月。国際ハンドボール連盟（IHF）が八代、山鹿市両会場の設備に問題があるとして複数会場での開催に難色を示した際もパワフルに行動された。熊本大会の意義を貫き、「八代と山鹿でもやらないと意味がない。諦めたらいかん」と発起。1泊4日の強行軍でスイスのIHF本部に急行して直談判された。あつまるホールディングス社長という経済人の交友の広さを生かし、行政との橋渡し役としても存在感が光った。準備に追われるスタッフを食事に誘って労をねぎらうなど細やかな心遣いも多くの関係者に慕われた。

世界選手権の公式球が祭壇を飾った告別式。遺影の中でいつもの穏やかなほほ笑みが優しく輝いた。旅立つ際、棺を載せた車が母黌に立ち寄ると在黌生の黌歌が送り出した。

（運動部　後藤 幸樹・H13）

◇◇◇

い」「もし自分が相手なら…」というお考えがあったのではないかと思っています。生まれ故郷の熊本が大好きで、恩返しがしたいといつも、いつも、おっしゃっていました。

「熊本の街が元気になるのは、スポーツや音楽、イベントが一番。みんなで楽しんで、そしてみんなが儲ける。これが大事なこと」「私ね、こういうの考えてみたけど、どうね?」「何でも口に出して言ってみること。そうじゃないと夢は叶わない」「やってみなっせ。ダメだったら、立ち止まって考えて、やり直せば良いのだから」。

底なしのバイタリティ、発想力、そして行動力。

「食事は取ったね?」「帰りは大丈夫?」「しっかり休まんなよ。お互いにね」。

社業、経済界、スポーツ関係と休みなく連日続く会合や行事で、ご自身がきつい時でも周りの人への気遣いを忘れず、労いの言葉をかけていらっしゃいました。

「皆さんの頑張りで、世界選手権は成功ならぬ〝大〟成功の大会になりました。しかし、ハンドボールで終わりじゃないんです。この経験と知識を、他の競技でも活かすことが重要です」。大会終了後、口癖のようにおっしゃっていました。

心で人を動かし、世界選手権を大成功に導き、そして、大会期間中には旭日双光章を受章され、会う人会う人から祝福を受け、そして2020年1月8日、颯爽と旅立たれました。その時、自他共に認める晴れ男に、似合わない大雨が降っていました。国際ハンドボール連盟も公式ホームページのトップで哀悼の意を示していました。

出棺の後、青春時代を過ごした済々黌にお立ち寄りになりました。ハンドボール部以外にも野球部や他部活の生徒。練習試合に来ていた他校の生徒もロータリーに並んで、大声で黌歌を4番まで歌って送り出してくれました。ご家族の方々も、済々黌の粋に大変感激、そして感謝をされていました。

「これから、良いことがいっぱいあるよ。しっかり励みなさい」最期に頂いた言葉です。言葉や思い出を胸に刻み、「島田俊郎」が愛した熊本や済々黌に恩返しをしていきます。

本当にありがとうございました

▲2019年12月、世界女子ハンド会場で島田俊郎大応援団ボランティアをされる39会の同級生たちと（古池さん提供）

プロジェクトS PROJECT S

キナセン復活に挑んだ男たちの【後輩たち】

昨年の会報（令和元年／第35号）に「プロジェクトS　キナセン復活に挑んだ男たち」という記事があったのをご記憶だろうか。

昨年の会報（19頁）では、昭和51年卒の櫻田好英さんを中心とする「黄線五人組」が、旧本館の外壁にあったキナセンを卒業式後の春休みに塗り直した話を紹介していた。その末尾で、昭和51年から数年後に櫻田さんに教えを乞いクラス全員でキナセンを塗った後輩についての情報を求めていたところ、「それは私のクラスのメンバーです」との連絡が、同窓会事務局のホームページに届いた。

情報を寄せてくれたのは昭和54年卒で現在は神戸市在住の堀田和弘さん。堀田さんのクラスは3年10組。現在はなくなったという男子クラスである。（参考までに、昭和51年卒の場合、3年生全11クラスのうち、男子クラスは6クラス。女子がいないせいか、破天荒なことをするのは決まって男子クラスだった…との印象がある）。

堀田さんの記憶では「先輩が自分たちでやった塗装作業を我々もやろう」と呼びかけたのは佐藤亮司さん（故人）。当時大学生だった櫻田さんに「河野先生から櫻田さん達が塗った事を聞いて会いに来ました」と、教えを乞うた在黌生は佐藤さんと思われる。河野隆先生（化学）は、櫻田さんの2年・3年時の担任で「黄線五人組」によるキナセン復活を知っている数少ない一人だった。3年10組による実行は昭和54年3月。卒業式も大学入試も終わった時期に集まってキナセンを塗ったとのこと。

実は、昨年の会報発行後に櫻田さんは、記事でも紹介していた後輩たちから届いた写真を発見していた。封書の送り主は「済々黌ペンキ塗り同好会一同」。同封されていた写真には、命綱を着けてペンキを塗る姿が残されており、メンバーが塗り立てのキナセンと一緒に写っている写真からは、作業を終えて高揚する気分が伝わってくる。写真には写っていないようだが、3年10組担任の鳥居勇先生（物理）も作業に立ち会ってくれたそうだ。

平成22年に完成した現在の済々黌本館（管理棟）にもキナセンがある。今から何十年か後、この黄色いラインが色褪せた頃に、これを塗り直そうと言い出す生徒が現れるだろうか?

（倉澤 隆子・S51）

▲平成21年に解体された旧本館（管理棟）。3階の窓から顔を出す「済々黌ペンキ塗り同好会」の面々

▲命綱をつけ、決死の覚悟!? でキナセンの復活作業を行った

▲河野隆先生（S51卒業アルバムより）

黄線今昔

同窓生の今と昔をご紹介―同窓生の語り場

各学年から近況、学年自慢、名物同級生、各種情報をお寄せ頂きました。

祝 傘寿 S34 まぼろしの同窓会

毎年3月4日に開催、今年は傘寿の年。昨年は、卒業60周年。次は米寿…と、年と共に心身弱ったと認識しつつ一方では折に触れ友と逢い忘れの多い話をして、お互いに楽しんでいる。

我々も他に漏れず「新型コロナ」の影響下で同窓会をやる、やらない、否延期だという事で34会の決定が最後になったようだ。事務局は大変、関東を始め県外からも開催を楽しみにしていたからだ。結果として総会という形はとらず、規模を小さくし懇親会として実施した。

毎年の集まりとはいえ、今年は特に気をもんだ。会費・大同窓会の券配布と集金、傘寿という事で考えていた演出等の処理と、いろいろあったが事務局の奮闘と役員のまとまりの中スムーズにいった。総会ではないので、事業報告や計画、そして決算報告や予算等は、当然のことながら先送りという事になった。とはいえ逢えて良かった。楽しかった~と、参加者全員が締めくくってくれた。いくつになっても34会のメンバーであることを、済々黌の卒業生であることを、そしてもう一つ加えれば済々黌で「生涯の友」を得たことを誇りに思っている。

（代表評議員　古河　幹男）

祝 還暦 S53 還暦同窓会

済々黌53会還暦同窓会は、令和元年11月3日（日）午後7時から午後9時まで、ホテル日航熊本　阿蘇の間で行われました。当日は、恩師4人、同窓生170人超の多数の方々にご参加いただきました。

会は2019年（令和元年）済々黌53会還暦同窓会次第に基づき、

(1) 開会（司会：野口副会長、安井さん）　19時
(2) 黙祷　19時2分
(3) 会長挨拶（吉村会長）　19時3分
(4) 恩師紹介・挨拶（恩師4人全員）　19時8分
(5) 懇親会（乾杯：塚田副会長）　19時10分
(6) 余興　20時
①春園君映画紹介（ブルーレイ）
②卒業30周年記念DVD紹介
(7) 黌歌斉唱（締めエール：志垣亮次くん・8組）　19時50分
(8) 閉会（司会：野口副会長）21時

と2時間で会を進めていき、気づけばあっという間に、同級生と恩師との楽しい懇談で時間が過ぎ、記念に残る還暦同窓会ができてよかったなと感じました。

また、還暦同窓会後は各クラスによる2次会も開催され、夜遅くまで旧友との思い出話が盛んであったと思います。

これまで、還暦同窓会の1年前の12月に済々黌53会還暦同窓会の有志により、開催日時と場所を決定し、4月に正式に済々黌53会還暦同窓会を設立して、同窓会当日まで3回の準備会で万全の準備を進めてきました。おかげさまで準備から本番まで滞りなく終わってほっとしています。

最後に、今後記念の年に同窓会を企画し、多数の同級生とまたお会いできますとともに皆様方のご健勝とご健康を祈念いたします。

（代表評議員　吉村　栄治）

祝 成人 H30 成人同窓会

平成30年卒業生の成人同窓会を1月4日、熊本ホテルキャッスルにて行いました。9名の恩師にご臨席いただいたこの同窓会では、同級生の8割を超える334名が再集合を果たし、大人の雰囲気を身にまとった、でも中身は全然変わっていない、そんな友人たちとの再会に喜び談笑する大盛況の会となりました。

この度、私たちは成人を迎え、これからは人に支えられながらも自分自身の力で多くの壁に立ち向かっていかなければなりません。これまでの経験を活かしつつ、失敗を繰り返しながら成長を続け、また一段と大きくなっていきます。私たちの成長をこれからも温かく見守っていただきながら、自分の道を突き進んでいきたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

（代表評議員　馬場　竣也）

学年だより

昭和39年卒
（さんきゅう会）

39会同窓会のこれまでとこれから

昭和39年3月に卒業した私達529名は56年経った現在、連絡先判明者は307名で連絡先不明者が147名、そして物故者が75名となっています。

39会の運営は各クラスの代表委員20名と女子委員2名に協力してもらい毎年2月、4月、10月に会議を開催し、情報交換と同窓会の打ち合わせをしています。

そして各クラスの輪番制で毎年3月9日に市内のホテルで同窓会を開催（但し令和2年3月9日は新型コロナウイルス感染拡大の為急遽中止）し、毎年70~80名の同窓生が集い、お互いの近況を確認する場となっていました。

しかし同窓会を世話するメンバーも押し寄せる歳には勝てず、来年の同窓会を最後に毎年開催の同窓会は終了し、令和6年3月9日に「卒業60周年記念同窓会」を開催して、39会としての同窓会は終了する予定でいます。（写真は昨年開催時の同窓会記念写真）

・同窓会
　君幾つになったと友が聞く
・お辞儀して
　ともによろめく同窓会

（代表評議員　進　朗）

昭和46年卒
（よんろく会）

「正倫理　明大義」

この拙稿が同窓生のもとに届く頃、新型コロナウイルスの特効薬とワクチンが開発されていることを願ってやみません。

現在、熊本市に隣接する御船町で教育長を2期6年務めています。そんな私を勇気づけたのは、元町長の嶋田先輩を中心とした済々黌御船同窓会の先輩・後輩の皆さんでした。温かい励ましや支えの中、地震にもコロナにも負けず、子どもたちの笑顔あふれる学校を目指して頑張っています。小・中学校が7校の小さな町ですが、高校や音楽大学、町立の恐竜博物館、熊本名水百選に選ばれた吉無田水源を有し、自然豊かな文化の町です。

「倫理を正し大義を明らかにす」言い換えれば、「人間社会の秩序、人として守るべき道を尊び、他者を思いやり社会に貢献する」こと。地震に学び、コロナ禍に学ぶことを通して、済々黌魂としての三綱領を、今一度噛みしめながら生きていきたいと思います。

（本田　惠典）

平成28年卒
（へいせいにはち会）

就職前の総決起同窓会を開催

私たち平成28年卒は、1月4日にKKRホテル熊本にて同窓会を催しました。

学年主任や担任の先生方を含め総勢200名を超える会になり、改めて済々黌のパワーを感じるとともに、大人びた同期の姿を見て身の引き締まる思いになりました。

大学1年生で熊本地震、そして社会人1年目にして未曾有のコロナウイルスに直面している私たちの代ですが、持ち前の粘り強さを持って、三綱領の精神の下、世のために活躍していける大人になりたいと思っております。九州、関西、関東等幅広い地域に散らばっていくと思いますので、それぞれの地域にて、また先輩方のご指導ご鞭撻のほど、どうかよろしくお願いいたします!!

（久保　大和）

2020 済々黌大同窓会

創立138周年済々黌大同窓会実行委員長の平成11年卒・渕上博貴です。この度は、皆さまが楽しみにされていた大同窓会を開催できず、大変申し訳ございませんでした。

幻の大同窓会実行委員長として、この記事を通し、実行委員の1年間の頑張りと大同窓会準備の大まかな流れをお伝えできればと思います。

私たち実行委員は、同窓生の皆さまを万全の態勢でお迎えし、楽しい大同窓会を開催できるよう、2019年2月より準備を始めました。

例年は前年の5月21日を終え6月頃までに始動すると伺っていましたが、仕事を抱えながら準備に取り組む皆の「不安」を少しでも和らげるため、早すぎるくらいのスタートをきることにしました。

まずは、【①実行委員の選定】です。私自身は先輩からの勧めもあり、卒業後暫くした後から12年ほど代表評議員を務めていたので、今回の実行委員長を引き受ける覚悟は既に固まっていました。しかし、700~1000人規模の大同窓会を運営するには、協力してくれる同級生（仲間）が必要です。

そこで、ここ数年の学年同窓会開催を手伝ってくれている同級生を中心に直接声をかけたところ、10名以上のメンバーが集まりました。皆実行委員の大変さを十分に理解した上で引き受けてくれ、本当に嬉しかったことを覚えています。

▶キックオフ2019年学年同窓会

2月7日、実行委員会第1回会議。実行委員11名に加え、平成12年卒の荒木君、園村君も参加してくれ、【②会議や全体運営についてのルール】を決めました。

・会議は月1回、夜間2時間程度
・LINEでのやりとりについて、学年全体グループは21時まで、実行委員グループは22時まで

など、事前に先輩方からアドバイスいただいた事柄が中心です。1年間という長丁場を無理なく運営する方法として、これらのルール決めは良かったと思います。

第2回会議では、【③大同窓会のテーマ「済々黌 FOR TOMROW ~多士リンピック 全黌集合!!~」】を決定。その後も会議を重ね、【④年間のタイムスケジュール】、【⑤実行委員の役割分担と組織図】を決定し、137周年大同窓会を終えられた【⑥平成10年卒生からの引継ぎ会議】を行いました。この引継ぎ会議では、準備段階からの反省点や良かった点をざっくばらんに教えていただき、とても勉強になりました。

これらと並行して初期より検討していたのが、【⑦済々黌グッズ】についてです。例年大同窓会開催後、済々黌同窓会、済々黌高校、多士会館へ計135万円を寄付していますが、これを支えるのがグッズ販売による収益です。皆さまはほぼ、大同窓会事業への応援としてグッズをご購入くださいますが、そんな中でも「このグッズ面白いね!」と思っていただけるようなものを作ろうと、担当班が真面目にふざけて考えたオリジナルグッズが年末までに勢ぞろいしました。各グッズの製作には多くの先輩方にもご協力いただき、誠にありがとうございました。

◀回を重ねた実行委員会の会議

さて、大同窓会の約半年前より、各学年の学年同窓会が次々に開催されます。それまでに【⑧大同窓会チケット3千枚】を作成し、怒涛の【⑨各学年同窓会ご挨拶まわり】へ突入です。

今回のチケットのメインデザインは、版画作家である同級生が製作した「黌舎」。薄い黄色の和紙でキナセンが入り、とても味わいのある仕上がりとなりました。（現在も受注製作しておりますので、興味のある方はご連絡ください）

このチケットを携え、秋~年末年始にかけて多い日は1日4件、全部で18件もの学年同窓会へ伺うことができました。お世話になりました同窓生の皆さまに、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。たくさんの励ましとグッズのご購入をいただき、本当にありがとうございました。

その後は皆さまもご存知の通り、2月21日の熊本での新型コロナウイルス感染者発生を機に、様々な経緯の中で創立138周年済々黌大同窓会は中止となりました。

先輩方が毎回大成功を収めてきた歴史ある大同窓会を開催することができず、同級生に対しても申し訳ない気持ちでいっぱいでしたが、今は耐える時だ、と実行委員全員で思いを共有しました。開催はできませんでしたが、この1年の準備期間を通して、学年の結束は間違いなく強くなったと思っています。

この状況が収まったら、学年皆で盛大なお疲れ様会を開こうと計画中です。その日を、まうごつ楽しみにしています!

▶学年同窓会などでグッズを販売

全国に繋がる黄色い絆

東京地区

東京アラート

6月2日夜に、東京アラートが発令され、レインボーブリッジが真っ赤になってしまいました。その景色を眺めながら、同じ注意色だったら、黄色のほうがよいのではないかと思う自分がいたのでした。改めて、自分には黄色い血が流れていて、黄色に反応してしまう変な動物だということを意識した夜でした。昨今の事情で、まだ同窓会を開くことが難しい状況ではありますが、〝心の元気を振るって〟、未来の準備をしていきたいと思います。

（事務局長　水野 潔・H元）

▶赤く染まったレインボーブリッジならぬ「レッドブリッジ」

関西地区

令和2年度 済々黌関西地区同窓会活動

関西地区では、総会を例年通り5月に予定していましたが、新型コロナウイルス禍の影響で、9月に延期して開催することになりました。

1. 総会開催日（当初5月23日予定）→ 9月27日（日）
2. 総会会場　太閤園（変更なし）
3. 総会の内容　当初の予定通り
   ①総　会
   ②講演会
   「いのちを守る気象予報」
   気象予報士　斉田季実治氏（H6・ラグビー部）
   （NHKニュースウオッチ9気象キャスター）
   ③懇親会

新型コロナウイルスの終息をみて、9月の総会が200名以上の参加で無事開催されることを期待しています。

（事務局長　岡本金之・S47）

東海地区

各地の同窓会

2020・4・29
東海同窓会
zoom 執行幹事会
元気を振ふ

広　島

～美味しい！ 楽しい！ お好み焼き体験に集う～

広島同窓会では、お好み焼きを自分で焼いて食べる体験会を12月14日（土）に「広島駅OKOSTA」にて開催しました。

広島のお好み焼きは、薄い生地の上にキャベツやもやし、肉、卵、そば麺などを載せたもの。上手く焼くには技術と道具が必要なため、お店で焼いてもらって食べるのが一般的です。プロの丁寧な手ほどきで、見た目も味も一級品!?のお好み焼きが見事に完成!!ソースの香りの中に笑顔があふれる楽しいひとときとなりました。

（幹事　長谷(旧姓今坂)冨美・S54）

北九州

濟々黌北九州同窓会に思う

北九州同窓会は5月30日に開催予定でしたが新型コロナウイルスの流行により残念ながら中止となりました。北九州同窓会に参加して8年になりますが、ここ数年は新規会員や当地区に進学した学生の参加に加え、熊本、福岡、広島等各地区の同窓会からの参加もあり、アットホームな雰囲気の中、世代を越えた歓談、交流を楽しんでいます。改めて濟々黌で良かったと実感しています。これからも他地区の同窓生の方々との絆を深め北九州同窓会を盛り上げたいと思っています

（会長　山本哲朗・S43）

山　鹿

濟々黌同窓会山鹿支部は昨年12月、60歳を迎えた阿蘇品貴司さん、田上明利さん（S53）の還暦を祝う会を山鹿市内で開催、赤いちゃんちゃんこ、帽子姿の2人を囲んで記念写真を撮影しました。

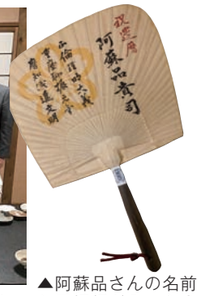
当時、阿蘇品さんは市総務部長、田上さんは市立山鹿中学校の校長。坂本健一会長（S39）の祝辞を受けた2人は「きょうはありがとうございます。これからは同窓会や地域にご恩返しをしていきたい」と謝辞を述べました。

前月の11月、天草市で開かれた九州中学校駅伝大会で、田上さんの山鹿中は男女とも優勝を果たす快挙を成し遂げたばかり。会場の「割烹よこて」は横手靖之さん（定時制S56）の経営。美味しい料理と美酒に舌鼓を打ち、山鹿中チームの活躍など話題は尽きませんでした。

二人へはプレゼントも。山鹿の伝統工芸品「来民うちわ」に、濟々黌の三綱領と「祝還暦」の文字、それぞれの名前を入れた特注品。この三綱領入りの来民うちわは山鹿支部の企画で、様々な祝い事の記念品や贈答品にもってこい。1枚2200円（税込み）です。

二人は今春、そろって退任し、阿蘇品さんは山鹿商工会議所の専務理事、田上さんは障害者福祉施設「NPO法人山鹿ゆうあい園」の施設長として、新たな人生を歩んでいます。

▲赤いちゃんちゃんこと帽子姿で祝福を受けた阿蘇品さん（右）と田上さん



▲阿蘇品さんの名前と三綱領が入った来民うちわ

また、山鹿支部は毎春、山鹿市から濟々黌への合格者に図書券を贈呈しており、今春は10人に。6人が合格した山鹿中では3月、濟々黌の先輩でもある田上さんが授与しました。

最後に、来民うちわの問い合わせや注文は「渋うちわ造本舗　栗川商店」（09968・46・2051）へどうぞ。

（田上 賢祐・S49）

合　志

濟々黌合志市同窓会 黌志会は、総会および懇親会を隔年で開催しており、今年がその年。1月18日にユーパレス弁天にて昭和19年卒の大先輩から平成24年卒の若手まで、参加者22人で開催しました。

総会では新役員の紹介、決算・予算案の審議、事業報告等を行いました。続く懇親会では、地域ならではの話題や在黌時の昔話、母黌の現状など、会場のあちらこちらで、多彩な話題に華が咲いていました。

合志市出身、居住、お勤めという同窓の皆様、ご参加を心よりお待ちしております。事務局までお気軽にご連絡ください。

（事務局　上野 功一朗・S61）

インドネシア

昨年2019年に濟々黌インドネシア同窓会が発足。「出会いあれば別れあり」、帰国や別の国に赴任するメンバーもおり、現在5名で活動中。卒業年度も性別も様々なメンバーで定期的に会を開き親睦を深めている。今年4月も会の開催を予定していたが、このコロナ禍の影響を受け延期となってしまった。

4月初旬、邦人も多く住む首都ジャカルタにてPSBB（大規模社会制限）が発令され、5月現在、3度の延長を行い6月初旬まで延長されている。このPSBB下では、指定11業種を除く全業種に在宅勤務が義務付けられ、公共交通機関も減便している。ショッピングモール等も一時休業しており、開いているのはスーパーかコンビニ、薬局、レストランぐらいである。そのレストランも店内での飲食は禁止され、持ち帰りかデリバリーのみを受け付けている。国民は外出時のマスク着用が義務づけられ、自家用車等の利用は乗車人数が制限され、利用目的も生活必需品の買い出しに限られる。違反者には罰金が課される等、日本以上に厳しい制限を強いられている。

近年目まぐるしい発展を遂げているインドネシアではあるが、まだまだ医療水準は低く、我々外国人の多くは隣国シンガポールの病院にかかることも選択肢に入れている。しかしその頼みの綱のシンガポールがロックダウンしてしまい、医療面での不安が出てきてしまった。また、このPSBB下で失業者、生活困窮者の増加による社会不安が高まっており、日系企業の多くが現地の医療体制、治安を考慮し、駐在員とその家族を一時帰国させるなど対応している。私の住むアパートでは外壁に有刺鉄線が張り巡らされ、ゲートに

◀インドネシア同窓会。左から吉田昂平（H13）、松久保良平（S60）、牧野英典（S61）、小原亦聡（H15）、馬原翔太（H17）、さん

はセキュリティに加えて警察も立つようになった。そういった不安から私も家族を日本に帰し、単身生活を送っている。

このような厳しい環境下で筆者が楽しみにしているのが済々黌時代の友人との流行りのZoom飲みである。近況、各国・各地の状況シェアから高校時代の思い出話など話は尽きず、卒業して20年近く経つがこの時ばかりは高校生時代に感覚が戻るのが不思議である。また皆で集まれる日を楽しみに、そして家族と一緒に過ごせる日まで、このコロナ禍をインドネシアと共に乗り切っていきたい。

（吉田 昂平・H13）

【同窓生の輪を全国に拡げよう】

現在、同窓生は全国47都道府県すべてに住んでいます。就職、転勤、結婚等で異動中の方や故郷を離れ終の棲家とされた方も多数おられます。創立140周年に向けて同窓会支部が未設置の県に在住の同窓生に声をかけて4地区で設立準備に入りました。各地で事務局の中心になっていただける方のメッセージをご紹介します。年に1度は顔を合わせ酒を飲み、黌歌を歌う喜びを共有できれば幸いです。

佐賀県、長崎県にお住まいの皆さんにもお声がけをいたします。

（同窓会副会長　野口　喬・S41）

北海道

北海道に初めて渡ってから早や48年になろうとしています。

昭和45年に済々黌卒業後、防衛大学校を経て陸上自衛隊に入隊し、最初の勤務地が札幌の真駒内駐屯地でした。その後、幹部候補生学校（久留米）の教官として3年間勤務した以外は平成18年に定年退官するまでずっと北海道内の部隊勤務だったため、そのまま北海道に住まうこととなりました。

退官後は、自衛隊時代のレンジャー教官や広報職域での経験を生かし映像作家として自衛隊を紹介する全国発売の映像作品や自分史ビデオ等の制作活動をしております。

家内も同じく九州出身（久留米）なのですが北海道の四季の移ろいの素晴らしさに魅了され、またアクアビクスのインストラクターをしていることもありスポーツ施設の充実した札幌での生活をエンジョイしております。

▲45会還暦記念DVD

45会メンバーとしては平成12年の卒業30周年同窓会や平成22年の還暦同窓会に参加し、映像記録をDVD化して同窓生の絆の強化にささやかですが協力させていただきました。

令和2年3月の後輩たちの卒業式に際しては卒業50周年の特典として45会の有志と共にホームカミング行事への参加を楽しみにしておりましたが、コロナ禍のあおりを受け中止のやむなきに至ったのは残念至極でした。

現在、野口同窓会副会長の御支援も受けながら、同窓会の名簿を頼りに北海道在住の同窓生たちに声を掛け北海道支部の立ち上げに努力中です。

支部立ち上げと申しましても、遠く北の大地北海道に移り住んだ老若の同窓生たちに一度でも集まって頂き故郷熊本を偲びつつ黌歌を共に歌う機会を設けられたらそれで十分目的達成ではないかと考えております。

（小島　肇・S45）

高　知

高知県支部始動に向けて

こんにちは。平成3年卒の坂本圭一朗です。

昨年末に同窓会副会長の野口喬さんからご連絡をいただき、高知にも済々黌同窓生が15名ほどいることを知りました。このコロナ騒動が終息すれば、高知の同窓生の皆さんが集まる機会を作ろうと思っているところですが、今は高知も緊急事態宣言の一歩手前で、なかなか大変な状況です。一刻も早く終息することを願っています。

義母の死をきっかけに高知に移住して17年が経ちました。高知に移住した当初3年ぐらいは、職場や周囲になじめず、人と話すのが嫌になるぐらい殻に閉じこもり、鬱になりかけたときもありましたが、今ではそういう経験も含めて高知に来て本当によかったと心から思えるようになり、少しでも高知に恩返しをしたいと思っております。

▲高知支部始動を目指す坂本さん（本人提供）

高知といえば、やはり「カツオの藁焼きたたき」でしょうか。ちょうど今は初鰹の時期。分厚く切って生のニンニクと一緒に食べるのが高知流。最近は、ポン酢ではなく粗塩を振って食べる「塩タタキ」が人気です。高知には、「肥後もっこす」という言葉があります。華奢で貧相で平和主義の私とは少しイメージが違うかもしれませんが、居並ぶ「いごっそう」たちにひるむことなく、仲間として受け入れてもらっているのは、済々黌時代の熱い「もっこす」仲間たちに揉まれた貴重な3年間があったからかもしれません。

▲高知名物「カツオのたたき」

この3月から、勤めている出版・印刷会社の社長に就任しました。仕事柄、学校のパンフレットや広報誌のデザイン・印刷をさせてもらっている中で、済々黌を懐かしく思い出すときもよくあります。今、高知では名門の「土佐高校」の創立百年史を製作していますが、この土佐高校、学ランの袖に白い一本線が入っていて、「きなせん」ならぬ「白線」で有名です。そういえば、高校の修学旅行の時に京都で全然知らない人から黄線を見て「君たち済々黌だろ？」と声をかけられた記憶があります。

正月やお盆には、両親の病気もあって天草にときどき帰省するのですが、どうしても熊本市内は通過点になってしまい、同級生の同窓会にもなかなか出席できていません。仕事などでもバリバリ頑張っている世代なので、今後はなんとか顔を出していろんな話を聞かせてもらいたいと思っています。

高知は熊本よりももっと田舎で、いろんな場面で人のつながりを大切にしているところを感じます。だからこそ、高知での「済々黌同窓生」というつながりも大事にして、高知を盛り上げる輪を広げていければと思っております。

今後ともよろしくお願い致します。

（坂本 圭一朗・H3）

大　分

▲大分での活動を支える柳原さん（本人提供）

済々黌大分同窓会は大分県内に在住する100名余の同窓生を対象に、40年に及ぶ活動を行っています。

本県同窓会は吉村欣也先輩（S25）のご尽力と肥後銀行大分支店の方々による支援のもとに、各業界で活躍される地元有志が参加され昭和55年に発足しました。

現在では大分を地元とする同窓生や、転勤等で大分に来県している同窓生を含め、年1回定期的に懇親会を開催し親交を深めています。

また大分県には熊本県出身者が多数在住しているため、本黌の同窓会と並行し熊本高校、第一高校と合同で三校合同同窓会を開催しています。各業界で活躍されるOB、OGの方々を講師に招き、多様な講演やコンサートを企画し交流を深めてきました。

その三校合同同窓会も30年目の節目を迎え、今後は各高校での組織化を図ることになりました。よって本黌同窓会も今まで以上に堅実な組織とし卒業生の絆を深め、お互いに支え合えるように、改めて同窓会の組織を一新しようと考えています。大分県にお住まいの方々、大学入学や、就職、転勤等で大分県へ来られる方はぜひお気軽に連絡をお願いします。お待ちしています。

（柳原　淳・S51）

沖　縄

みなさん、はじめまして。あるいは「久しぶり！」の方もいるかもしれません。在学中は、熊本にどうしても愛着を感じることができなくて、息苦しささえ感じていて、世界に近い東京に、早く脱出したいと、考えてばかりいました。1年生の頃、授業中の居眠りが続き、数学に早くからついていけなくなり、赤点の連続。さらには物理で0点をとったことさえあります。2年生の時は、友人が通学に使っていたベスパ（イタリア製のスクーターで、モッズのマストアイテムでした。『さらば青春の光』を観てから青春時代、ずっと垂涎の的でした）を昼休みに無免許で運転。校門から坂を下ったところにあった食堂（？）を通過して、市道を運転してたところを、生活指導の三池泰弘先生に見つかってしまい、呼び出しに。素直に認めればよかったものの、「僕ではなく別の友人が運転していた」と嘘をついたため、貸してくれた友人と、身代わりになってくれた友人をも巻き込んで、無期停学の処分を受けました。勉強もできず、嘘もつく、友人さえ裏切る。僕は、それほどまでに「どうしようもない奴」でした。

それでも月日は流れていきます。間もなく3年生になりました。醜い思い出から逃れたい気持ちもあったのかもしれません。熊本から逃れようと、あるいは、自己肯定感を回復したかったからかもしれません。受験勉強に猛進しました。上通りからシャワー通りをナンパ目的で徘徊することもやめ、学校でも自宅でも、ほぼ受験のことだけを考えて、自学自習を続けました。そして、え―！まさか！の上智大学現役合格。知らせを聞いた2年時の担任の山田晃先生が、目を点にして、小躍りしていたように見えていた記憶が今でも鮮明に残っています。

東京での生活はそれは楽しいものでした、でも、やがて、就職してからは、ここでも違和感を感じるようになりました。その時僕を支えてくれたのは、ネィティブアメリカンやケルトなど縄文的な世界観でした。最初の転職で、全学連のリーダー藤本敏夫さんが立ち上げた有機野菜の宅配会社「大地を守る会」に就職し、在職中に「水俣・東京展」で実行委員を務めました。「やさしい」環境保護、手を汚さない「きれいな」環境保護運動に偽善的な気配を感じていたことと、自分の出身地で起こったことに向き合いたいと思ったのが参加の動機でした。そして、21世紀が幕を開けた2001年、『「第3の波」の時代はもはや終わった」と、寺山修司の『書を捨てよ町へ出よう』の心意気で、移住したのがここ沖縄でした。沖縄でもいろんなことがありました。埋立問題、基地問題。ヘイト問題。この美しくも小さな島々に、社会のいろんな矛盾が凝縮されているのを、肌で感じるようになりました。そして荒波の中にありながらも日々を前向きに、焦ることなく、柳のように柔軟に一瞬一瞬を生きている人たちと出会いました。

さて、沖縄に済々黌同窓会沖縄支部が設立されるという話を知らされたとき、高校生時代には、愛黌心のかけらもなく、郷土愛の片鱗さえ持ち得なかった僕の心は動きました。自分が今、ここに、このようにして、自由にのびのび、健やかに生きていられるのは、多感な時期を過ごした母黌と、そこで出会った仲間や先生方のおかげであることを、いつの頃か、やっと気づけたからでしょう。「どうしようもない奴」を許容し、受容してくれていた済々黌という場が、今の自分の母校であり、母港でもあることに、30代になってから想いを馳せることができるようになりました。済々黌同窓会沖縄支部が、黒髪のあの学び場のように、多様性を受け入れる場になったらいいなと、いま、少し、心がときめいています。この4月に教育・福祉関連の一般社団法人を立ち上げたばかりなので、なかなか県外に出る機会を掴めないでいますが、心は熊本や、出会った皆さんと繋がっています。いつの日か、ここ沖縄で再会できる日を楽しみにしています。

（福田　展也・S60）

▲一般社団法人みんなのいえの代表理事を務める福田さん（本人提供）

https://www.okinawabirdgebuilders.com

地区同窓会リスト

全国地区同窓会	
済々黌東京同窓会	会　長／池田　久利(S42) 事務局長／水野　潔(H元)
済々黌東京大学支部	会　長／松尾　慶典(H24)
済々黌東海地区同窓会	会　長／安部　賛(S47) 事務局長／尾方　良晋(S52)
済々黌関西地区同窓会	会　長／中村　弘則(S41) 事 務 局／岡本　金之(S47)
済々黌広島同窓会	会　長／杉田　裕(S43) 事 務 局／長谷　冨美(S54)
済々黌北九州同窓会	会　長／山本　哲朗(S43)
済々黌福岡同窓会	会　長／小島　哲夫(S42) 事 務 局／加藤　秀憲(S47)
済々黌同窓会 宮崎多士会	会　長／栗林　忠信(S38) 事 務 局／林田　匡史(H11)
済々黌同窓会 鹿児島会	会　長／横山　誠二(S42)
北海道同窓会（仮称）	事 務 局／小島　肇(S45)
高知同窓会（仮称）	事 務 局／坂本圭一朗(H3)
大分同窓会（仮称）	事 務 局／柳原　淳(S51)
沖縄同窓会（仮称）	事 務 局／福田　展也(S60)
熊本地区同窓会	
八代済々黌同窓会	会　長／藤浦裕一郎(S44) 事 務 局／池松　桂至(S56)
人吉球磨済々黌同窓会	会　長／岡　啓嗣郎(S34) 事 務 局／隅田　節子(S58)
済々黌同窓会山鹿支部	会　長／坂本　健一(S39) 事 務 局／田上　涼子(H12)
済々黌同窓会大矢野会	会　長／羽室　道夫(S31) 事 務 局／島田　等(S49)
済々黌天草同窓会	会　長／酒井　保之(S36) 事 務 局／若松　健智(S51) 事 務 局／原田　隆紀(S51)
大津・菊陽黌友会	会　長／瀬川　清長(S35) 事 務 局／西　龍二(S54)
済々黌合志市同窓会 「黌志会」	会　長／古河　幹男(S34) 事務局長／上野功一朗(S61)
済々黌同窓会宇城支部	会　長／古賀　康之(S40) 事 務 局／佐藤　嘉晃(H2)
済々黌南阿蘇同窓会	会　長／東　秀也(S22) 事務局長／片山　公則(S45)
阿蘇町済々黌同窓会	会　長／永田　忠彦(S37) 事 務 局／穴見　龍三(S57)
小国郷多士会	会　長／松﨑　俊一(S50) 事務局長／生田　敬二(S55)
一の宮済々黌同窓会	会　長／桑島　元博(S33)
済々黌御船地区同窓会	会　長／福味総一郎(S42)
済々黌同窓会 玉名郡市支部	会　長／池上　緑良(S38) 事務局長／肥田　愃樹(S38)
済々黌植木町同窓会	会　長／高木　清一(S45) 事 務 局／山田　耕司(S54)
海外同窓会	
上海済々黌同窓会(申黌会)	会　長／続山　拓也(S62) 事 務 局／清水　亮(H 5)
済々黌同窓会 ハワイ支部	会　長／ジャンベルカ（鈴ご）明子　(S60) 事 務 局／満永　朝輝(H4)
済々黌同窓会 ロス・アンゼルス連絡事務所	事 務 局／河上慎二郎(S59)
済々黌インドネシア 同窓会	事 務 局／吉田　昂平(H13)

職域同窓会リスト

済々黌同窓会熊本県庁支部	会　長／本田　充郎(S54) 事 務 局／浦田　美紀(S60)
熊本市役所多士会	会　長／多野　春光(S50) 事 務 局／清田　勇(H9)
肥後銀行多士会	会　長／山木　仁(S53) 事 務 局／茂　雄之(H11)
税理士多士会	会　長／大塚　二郎(S49) 事 務 局／津曲　千鶴(S55)
済々黌宅建多士会	会　長／平山　惠子(S52) 事 務 局／坂口　治史(S52)
済商会（済々黌商工会）	理 事 長／鳥生　博(S53) 事 務 局／江副　弘幸(H9)
きなひも会	会　長／河野　宏明(S58)
熊本大学済々黌会	会　長／清田　康夫(S55) 事 務 局／酒井　愛(H26)
（株）熊本放送済々黌同窓会	会　長／上野　淳(S48) 事 務 局／坂口洋一朗(S53)
済々黌運動部 OB 連合会	代表幹事／今井　政文(S49) 事 務 局／吉村　昌展(S63)
熊本黄壁城 ライオンズクラブ	会　長／甲斐　正法(S51) 事 務 局／小室　三男(S46)
熊本多士ライオンズクラブ	会　長／今井　政文(S49) 事 務 局／福島　大典(S60)

同窓会事務局

☎ 096-345-3002　FAX 096-346-3225
✉ tashi@seiseiko-dosokai.gr.jp

※情報をお持ちの方は、事務局までご一報くださいますようお願いいたします。

済々黌飾馬奉納団 絆

同窓の皆様こんにちは！毎年会報でご紹介いただいている「済々黌飾馬奉納団 絆」です。

毎年、この会報の場をお借りして藤崎八旛宮例大祭への参加者を募集させていただいてますが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響で例大祭への奉納自体が中止になってしまいました。「祭を通じて熊本を元気にする」という目標が叶えられず残念ですが、来年の奉納へ向けてしっかりと準備したいと思います。

ということで今回は、例大祭への奉納に不可欠な「お馬さん」をご紹介したいと思います。藤崎八旛宮例大祭では、随兵行列に続いて「飾り馬」を供奉します。ある意味お馬さんが主役なのは皆さんご存じのとおり。70以上の団体が奉納するということは、70頭以上のお馬さんが熊本市中心部を練り歩きます。このお馬さん、ほとんどの団体が毎年その都度レンタルして奉納しているのですが、われわれ絆では、なんと専用の馬を育てていただいています！

われわれのお馬さん、名前は「恋太郎（こいたろう）」くん！馬小屋の掃除なども、口取（くちとり）のメンバーを中心に絆のみんなでやっています。みんなで可愛がっているので、愛着も一入です。

来たときはまだ一歳で身体も小さかったのですが、今ではとても立派な馬体になりました。今年は恋太郎くんの雄姿をお届けできませんが、来年の秋は皆さんぜひ恋太郎くんの愛らしい姿を見に来てくださいね!!

今年奉納できないエネルギーを貯めて、来年は2年分の元気を奉納にぶつけたいと思います。多くの同窓生の参加をお待ちしてます！お気軽にお問い合わせください。

詳しくは絆HPを。

（和田 光司　H7）

詳しくは下記ホームページをご覧ください。
済々黌飾馬奉納団　絆
http://seiseikoukizuna.web.fc2.com/
済々黌　絆　検索

同心ゴルフ会 コンペ開催

2020年5月9日（土）に予定しておりました恒例の同心ゴルフ会（母黌応援チャリティコンペ）は新型コロナウィルス感染拡大防止及び緊急事態宣言発令に伴い、本年度の開催は中止しました。

楽しみにされていた済々黌OB、OGの皆さん、来年はこれまで同様、大同窓会の日程に合わせて開催いたしますのでご参加の程、よろしくお願い致します。

詳細は同心ゴルフ会をお世話いただいております各学年代表の方にご案内致します。

因みに2021年は5月15日（土）を予定しております

【同心ゴルフ会　事務局】

済々黌青年会

＼40歳以下会員／ 全員集合

若い同窓生たちの拠りどころとして、各地で活動している青年会についてご紹介します。一緒に活動を楽しむ同窓生を大募集中です！

熊本 青年会

済々黌同窓会の皆さま、こんにちは！2020年度（令和2年度）の熊本青年会の会長を務めることになりました、平成13年卒の布田と申します。若手の皆さんの中には「〝青年会〟っていっても、年の離れた先輩方もいるだろうし緊張するな～」と思われる方もいるかと思いますが（私もそうでしたが）、安心してください！参加しているメンバーは皆さん本当に気さくな人ばかりで、仕事のこと家庭のことなどぎっくばらんに色んなことを話せる温かい雰囲気の会です。やはり「済々黌」という最強の共通項は年次の壁も簡単に崩してくれます！

さて、熊本青年会では例年、バーベキューやボウリング（写真参照）、忘年会といった楽しいイベントのほか、現役生・就活年次向けの未来相談会という取り組みなどを行っていますが、現在の新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、今年度は、政府から発表された「新しい生活様式」に十分に配慮した活動を行っていく予定です。4年前の熊本地震後と同じく、非日常の大変なことが起こった後だからこそ、同窓の皆で世代を超えて支え合い、励まし合い、絆を深めていけたらと考えております。仕事や家庭、勉強などで忙しい方が多いと思いますので、参加できそうなタイミングの時だけでも同級生を誘って参加していただけたらと思います！

また、私もそうでしたが県外からUターンなどで戻って来られた方も大歓迎です！皆さんのご参加お待ちしております！（布田 善久・H13）

東京 青年会

▼活動内容

学生や20代、30代の学年幹事を中心に事務局を構成し、様々なイベントを年に3回程度開催しています。これまでにボウリング大会やハロウィンパーティー、バーベキューなどの楽しいイベントや「今を生き抜くためのセミナー」を開催しました。このセミナーでは、経験豊かな先輩方に講師をしていただき、若手社会人や学生が、昨今の変化の激しい社会で生き抜くための糧になるようなお話をしていただきました。昨年度は体を動かすアクティブなイベントに挑戦し、7月にアーチェリーハント（写真参照）を行いました。10月には高尾山登山を予定しました。台風接近により泣く泣く中止。またリベンジします！毎年恒例になりつつある今年2月に実施した「肉会」（焼肉を楽しむ会）には平成5～30年卒まで約40名の同窓生が集い、学年を超えて親交を深めました。

青年会を発足して4年が経ちましたが、就職、転勤等で人の入れ替わりが激しい東京であっても青年会が持続的に成長する組織になるために、仕組づくりにも注力しています。

▼メッセージ

今後も若手世代を対象に楽しいイベントや役に立つ取り組みを実施していきますので、皆様の参加を心よりお待ちしております。さらには、事務局への、運営側としての参画も大歓迎です！（学生の皆様、就職活動で役立つこと間違いありません！笑）

故郷熊本から離れた土地でも、気兼ねなく集まれるのはやはり「済々黌」です。まずは平成・令和世代で学年を超えた縦横のつながりをつくり、東京同窓会ひいては済々黌を盛り上げていけたらと思います。

諸先輩方におかれましては、今後とも済々黌東京同窓会青年会、そして平成・令和世代の同窓生へのご指導のほど、何卒よろしくお願いいたします。

同窓生の皆様、一緒に盛り上がりましょう！

（中尾 剣士・H21）

関西 青年会

▼関西青年会発足8年目の今年、2代目会長・副会長が誕生しました！佐々くん、濱浦くんです！学生時代から積極的に同窓会に参加してくれて、最も頼りになる後輩たちです。私も、発足当初から一緒にやってきた三浦くんも今年で39歳。もはや「中年」であります。新陳代謝をはかり、若い世代をリードしてほしいという思いからバトンを譲らせていただきました。若返った新生青年会をどんどん盛り立ててほしいと思います。

他地域のみなさま、関西青年会は入会届も年会費もなく、基本的に飲み会中心のゆる～い集まりです。入学や転勤で関西へいらっしゃった際はぜひ一度ご参加ください！

（前会長　田口 慎太郎・H12）

▼関西青年会は立ち上げ以来、ゆるく楽しく集まってきました。しかし、私よりも、私の子どもたち（9歳、7歳、2歳）の方が大学生のみなさんと歳が近くなってきたこともあり、そろそろイチ飲み会要員となります。7年間の青年会活動では両手で抱えきれないくらい思い出がたくさんあ

ります。みなさん、本当にありがとう。
今後は『さしより会』でも、楽しいことをたくさん作っていきたいと思います。今後、関西に住む機会があれば、ぜひ一度、一緒に集まりましょう。
（前副会長　三浦　壽夫・H12）

▼関西に来て早10年、在阪の諸先輩方には大変お世話になっております。これまで受けたご厚意を今度は後輩に還元していくことができる貴重な機会として、2代目会長をありがたくお受けいたしました！
関西青年会では例年4月にイベントを開催しておりますが、新型コロナウイルスの影響により、今後、より親睦を深めていくために様々なイベントを企画していきます。どうぞよろしくお願いいたします。
（会長　佐々　允・H21）

▼田口先輩、三浦先輩と初めてお会いした時、お2人は29歳、まさに今の私とほぼ同じ歳です。では今の私にすべきことは何か。答えは一つ「先輩方から受けた恩を後輩たちに返す」こと。この済々黌のスタイルに尽きると思っています。
関西らしいフランクな関係性の青年会・同窓会にしたいと思っています。皆様のゆる～い気持ちでのご参加をお待ちしております。
（副会長　濱浦　隆昌・H23）

青年会の活動に興味を持たれた方、参加したいと思われた方は、多士会館事務局に、希望する地域と共にご一報ください。各地青年会の連絡先を折り返しお知らせします。

同窓生のための 婚活講座

第19回市民教養講座「げたばき塾」が、令和2年1月18日、済々黌正門前の多士会館（熊本市中央区黒髪）で午後1時30分から約1時間30分にわたって行われた。今回の演題は「これからの時代に必要な結婚支援とは」で、婚活コーディネーターの荒木直美氏を招き、「日本の婚活の現在地と正しい結婚支援」を、集まった30人超を前に熱く語っていただいた。

荒木氏によると、最近の若者たちがなかなか結婚に踏み出せない理由として、①に非交際が増えている。②は晩婚化が進んでいる。このままでいくと、未婚化が猛スピードで進み生涯未婚者は、男性が4人に1人、女性の7人に1人が未婚者となり、2035年（令和17年）には男性の3人に1人が未婚になることが推定される。これは50歳時点で結婚の経験がない人を調査した結果だそうだ。それを何とか解消し、今日本で問題の1つになっている少子化に目を向けようと、荒木氏が強力に推し進めているのが婚活。

世の若き独身男性に「一番自覚してもらいたいのは、あなた方は福山雅治ではありません。これから先、結婚しようとしてすぐに相手が出来るわけではないのです。今から準備し、女性との付きあいをするべきなのです。出会いがないなど言われますが、出会いは待っていて、向こうからやってくるものではないのです。こちらから積極的に行動を起こさないと、理想の女性など出会えるわけがない。女性との会話が苦手などとその理由にあげる男性もいますが、それなら出会える、会話もできる婚活に参加してみてください。同じ条件などで奥手の人たちが集まっているのです。会話もしやすいでしょう」と力説する。

この日、聴講した人たちの中には、若い人に混じり、年配の方々も参加していた。たぶん息子や娘が身を固めてくれない、という環境の人たちだろう。

そんな人たちに向け荒木氏は「早よ結婚しなっせ、とかだれか付き合っている人はおらんとね」など、本人が気にしているところに、追い打ちをかけるような言葉は禁句。「今度、婚活があるそうよ、行ってみたら、くらいの背を押す支援がちょうど良い」と言う。あくまでもアドバイザー程度にしておくことが肝心だとか。

荒木氏は、婚活の他にも子育て支援や、人口流出が目立つ地域（熊本など）などの問題点にも目を向けている。これまで婚活によるカップル成立は1300組を超えるそうだ。同窓会長の野口敏夫氏や元熊本市長の幸山政史氏も熱心に話に聞き入り、同じ悩みを抱える同窓生、その親たちへ、思いを馳せていた。
（鷺頭　英司・S41）

【荒木直美氏・プロフィル】
これまでに成立させたカップル数は約1300組。テレビや全国紙でその職人技が紹介され話題に。全国各地でコーディネート講座を実施。地元熊本では、人気婚活南阿蘇村「山コン」のコーディネートも5年連続担当

▶「婚活界の松岡修造」の異名を持つ荒木さん。語る言葉には説得力がある。

▲熱心に耳を傾け、メモを取る参加者の姿も

集まれ！済々黌 SNS

同窓会では、この会報という『紙媒体』だけでなく、ネットを利用した情報発信や、「つながりづくり」についても積極的に取り組みを進めています。これまで同窓会のネット情報に触れたことのない方へ、まずはこちらへ！という入り口をご紹介したいと思います。

同窓会では、いろいろなチャンネルを通じて、これまでネットでは御縁がなかった同窓生、1人でも多くの方とつながりを持ち、たくさんのことをお伝えしていきたいと考えています。

これまでネットをご利用されていなかった方も、ほんのちょっとだけ、勇気を出してこちらに来ていただければ嬉しいです。
（吉田 光一郎・H3）

○済々黌同窓会 Official Web（公式ホームページ）
登録等は必要ありません。どなたでも見ることが出来ます。
(http://seiseiko-dosokai.gr.jp/)

○済々黌同窓会【公式】Facebook ページ
Facebook に登録していなくても投稿を見ることが出来ます。アカウントをお持ちであれば、コメント等を書き込むことも出来ます。
(https://ja-jp.facebook.com/seiseko.dosokai/)

○ SEISEI DOSO Info.
済々黌同窓会インフォメーション　Facebook グループ
Facebook に登録していなくても投稿を見ることが出来ます。アカウントをお持ちであれば、グループに参加することでコメント等の書き込みが出来るようになります。（グループの利用にはルールがありますので、ページ内をご確認ください。）

済々黌ラグビー部 創部90周年

▲毎年恒例の熊本高との定期戦。学年の垣根を越えて、現役生、OB、超 OB の3つに分かれて熱線が繰り広げられた

令和2年1月3日、「済々黌ラグビー部創立90周年を祝う会」を、熊本市KKRホテルにて、ラグビー部OBや関係者を含め、約100名の参加者で開催することができました。古田憲雄OB会会長（S42）の挨拶から始まり、前田茂雄副黌長（S56、笠熊本県ラグビー協会会長からお祝いの言葉を頂き、これまでラグビー部を長年にわたり支え続けてくださっている山中晨前事務局長（S28）へ、感謝状を授与しました。また、竹原功平監督と武石敏章部長（S55）から現役生の活動報告や、今後の目標や思いが熱く語られ、その後、OB会より激励金を渡しました。

式典前には、昨年日本列島を大いに盛り上げたラグビーワールドカップの熊本誘致に大きく関わった、徳永法衛氏（熊本国際スポーツ大会推進事務局所属・S61）による講演会を行いました。大会誘致への長年に渡る道のりや工夫、舞台の裏側等が語られ、「4年に一度ではない、一生に一度だ」の大きな舞台がここ熊本で行われ、大盛況に終わることができた貴重な話に、参加者全員が真剣に耳を傾けていました。

懇親会は、正清宗昭総監督（S35）の乾杯で開宴。これまで歴史を作り上げた選手たちの集合写真スライドショーや、ラグビー部の歴史に関係する品々、更に星子悦郎氏（S43）のラグビーの躍動するシーンが生き生きと筆で描かれた作品が展示された会場の中、先輩も後輩も交わり、思い出話に大きな花が咲いていました。黌歌斉唱では、大田黒亮氏（S55）の演舞指揮のもと、一つの円で声高らかに歌い、終始大盛況でした。

同日は、朝から済々黌にて毎年恒例の熊本高との定期戦を開催しました。近年は肥後銀行の芝のグラウンドを借用して、定期戦を開催していましたが、90周年記念行事ということもあり、本黌の血と汗が混じった土のグラウンドで開催することにしました。青春の地を舞台として、現役生戦、OB戦、超OB戦が行われ、過去の自分を思い出しながら、熱い真剣勝負が繰り広げられました。身体がぶつかり合う一つ一つのプレーに歓声が沸き、久々に集まった昔の仲間と熱い汗をかき、母黌でかけがえのない時間を過ごすことができました。

この1日を通し、ラグビー部OB会の絆が更に深まったように思います。今後も現役生たちへのサポートや激励を継続していきます。済々黌ラグビー部現役生の今後の更なる活躍を心より祈念しております。
（森山 賢太郎・H11）

▲熊本市のホテルで多くの OB のほか、県ラグビー協会の関係者らも参加し、開催された「ラグビー部創部 90 周年を祝う会」

ご寄付のお願い

多士会館内照明のLED化について

同窓会の「多士会館大規模修繕プロジェクト」において、これまでにも何度か館内照明のLED化の話があがりましたが、防水対策とシール打替え工事及び熊本地震によるタイル剥離対応の外壁改修工事が優先され、滞っていました。

今後『照明の2020年問題』により、家電量販店等で販売されている蛍光灯は、在庫がなくなり次第、販売終了となります。そこで、LED照明への入れ替えが必須となってきました。

現在、多士会館内の照明には、蛍光灯、ダウンライトなどが全体で260本（個）使用されています。2年ほど前に、業者に見積りを依頼したところ、蛍光管をLED管に交換するだけでも約260万円、蛍光管をはめている安定器の交換も含めると312万円、照明器具全般の入れ替えを一斉に行うと約520万円ほどかかることがわかりました。在黌生が自習に使用する研修室（2階や3階）を優先させるにしても、いずれは全ての照明をLED化せざるを得ない状況、かかる費用に変わりはありません。

今年度は、コロナ感染拡大防止のために休校を余儀なくされた学黌が補習などで多士会館を使用する際や在黌生が自習する際にも、会館として役立つことができるよう、多士会館内照明のLED化を推進したいと思います。

この状況をご理解いただき、かかる費用につきまして、皆様の貴重な浄財をご寄付いただけましたら幸いです。ご協力の程、心よりお願い申し上げます。

一般財団法人多士会館　松岡 正勝

振 込 先　「一般財団法人　多士会館」
郵便振替口座 01980-1-24723
一般財団法人多士会館 ／ 担当：松岡
問合せ先　電話：096-345-3002
Email：tashi@seiseiko-dosokai.gr.jp

母黌は今

前進路指導主事
栗山 敏浩

令和2年度の大学受験結果について

〈概　要〉

国公立大には、北海道大2名、千葉大4名、東京外国語大1名、名古屋大4名、京都大4名、大阪大10名、神戸大5名、広島大9名、九州大38名、熊本大125名、熊本県立大26名、鹿児島大23名など、332名が合格した。医学科については国立大で4名（全て熊大医学科）が合格した。私立大では、早稲田大5名、慶応大1名、中央大10名、同志社大9名、立命館大59名など、455名が合格した。

今年度の国公立大現役合格者は258名で、これは卒業生406人に対して63・5％（昨年度は58・3％）を占めている。最難関の東京大に現役合格者を出すことはできなかったが、現浪合わせた京都大の合格者4名は、過去5年間で2番目に多い数であり、そのうちの1名は後期日程試験（前期日程試験では東京大学を受験）で栄冠を勝ちとっている。本年度の入試結果で特筆すべきことは、難関大のひとつである名古屋大の合格率（80％）を始めとした、合格率の高さであり、特に前期入試の合格率は目を見張るほどの高さ（53・6％）であった。前期日程試験の志望大学は、もちろん、後期日程試験の志望大学よりも生徒たちの第一志望の要素が強い。そういう意味では、前期日程試験の合格率の高さは歓迎すべきものである。また、熊本大学の合格者数が過去5年間では最も多い（H28：116人、H29：118人、H30：86人、H31：103人、R2：125人）ということも注目に値する。難関大の1つである九州大の入試結果についても、現役の合格者数（27名）は、過年度比較上では多いと言えないものの、九大前期日程試験の合格率が51％だったことは、九大が難関大学の一つであるだけに、高い数値であると言っても過言ではない。

河合塾の調査によると、本年度のセンター試験の全国推定7科目平均点は、文系547点（昨年度－22点）、理系552点（昨年度－19点）であった。文系・理系ともに受験する「英語筆記」、「英語リスニング」、「国語」の平均点ダウン（英語筆記は7点、英語リスニングは2・6点、国語は2・2点のダウン）と数学ⅠA、ⅡB両方の平均点ダウン（ⅠAは7・8点、ⅡBは4・2点のダウン）から、今回のセンター試験は文系も理系も大幅な7科目平均点ダウンとなった。文系よりも理系の方が7科目の平均点の下がり幅が小さいのは、物理及び地理Bの平均点アップが原因と見られている。7科目合計の得点率が8割以上である高得点層については、文系で約3割減、理系で約2割減となった。今年のセンター試験は平均点がダウンしただけでなく、高得点が取りにくい状況だったことがうかがえる。

本黌のセンター試験の自己採点の平均点は、文系650点（昨年度－6点）、理系606点（昨年度－33点）であり、全国平均との差は、文系は＋103点（昨年度は＋68点）で理系は＋54点（昨年度は＋87点）であった。センター試験においては文系の大健闘、理系の苦戦が本黌の特徴としてあげられる。720点（8割）以上の上位層人数49名は過年度と比較すると若干少なかった（29年度55名、30年度51名、31年度64名）が、本黌文系平均の全国文系推定平均との差103点（29年度93点、30年度81点、31年度87点）は大健闘の証である。

〈国公立大学現役合格者数258名《過去最高》の背景〉

卒業生数に対する国公立大学合格者の割合を過年度比較してみると、平成21年度入試がこれまでのトップで60・8％、平成24年度入試が2番目の59・4％であった。本年度の卒業生の合格率はそれらを凌ぐ63・5％で、優に過去最高の数値である。本黌は、勿論合格者数よりも大学の質を重要視しなければならない学校ではあるが、それにしても、この63・5％は特筆してもしすぎることはない数値である。

令和3年度入試から導入される大学入学共通テストを恐れて今春の卒業生の多くは手堅い安全志向に集中するのではないかと懸念されていたが、令和2年卒業生の前期日程大学出願状況を見てみるとその懸念は杞憂だった。東京大学3名、一橋大学1名、名古屋大学4名、京都大学3名、九州大学49名、そして特に、大阪大学に関しては例年よりもかなり多い24名が果敢に挑んだ。令和2年卒業生も本黌先輩諸氏が築き上げてきた伝統を着実に引き継いでくれた。国公立大学現役合格率の高さは、したがって、安全志向がもたらしたものではない。最大の原因は、学力試験が主に課される前期日程試験の合格率の高さにあった。平成30年度前期日程試験の合格率は47・0％、31年度前期日程試験の合格率は52・3％、本年度前期日程試験の合格率は53・6％であるからだ。全国の受験生の第一志望大学がこの前期日程試験に集中するということを考えれば、この数値はかなりの高さであり、令和2年卒業生のこの実績を改めて称えたい。文系生徒はセンター試験での大成功に有頂天になることなく、理系生徒はセンター試験での苦戦にめげることなく最後の最後まで担任団の指導・助言に素直に耳を傾け、本番までの2次対策授業に真摯に取り組んだことがこの画期的な合格率に繋がったと確信する。

近年、本黌生は高校1年次より強力な進路支援を本黌同窓会よりいただいている。東京大学等のオープンキャンパス参加のための旅費等の支援を始め、多士会館での毎日夜遅くまでの学習環境の提供支援といった、多大なる支援を受けている。本黌生がその属性として持つ「第一志望を貫く姿勢」、「最後まで諦めない不屈の精神」は、脈々と続く先輩諸氏のこうした支援のおかげであり、このような過去最高の実績も、先輩諸氏のバックアップがあってこその成果であるということを忘れてはならない。

〈来年度入試に向けて〉

今春の大学入試の反省点として、東京大、京都大、大阪大等、最難関の国立大の現役合格苦戦が挙げられる。しかし、本黌生には、第1志望合格を勝ち取るためには浪人生活も辞さないというたくましさがある。卒業生の第1志望大学への来春の合格を期待するとともに、現3年生にも、先輩たちが培ってきた、困難に直面したときの「攻めの姿勢」を引き継いでもらいたい。もちろん、現役合格を勝ち取るための最大の支援を全職員が行っていくことに疑いはない。懸念されるのは、「大学入学共通テスト」の結果に左右されるあまり、必要以上の安全志向が来春の入試で散見されるのではないかということである。済々黌生には、多少の困難があっても、果敢にチャレンジしてもらいたいし、そのための原動力となる2次力の増強を根気強く行ってもらいたいと願っている。

今後の大学入試への対応について

少子化の影響もあり、入りやすい大学とそうでない大学の二極化が進行しており、その差は拡がっている。一方で、全国的には保護者、生徒共に大学選択に関して地元志向や安全志向が見られる。来春の入試では、新入試制度導入1年目ということもあり、また、新型コロナがもたらした経済的大打撃の影響から、その傾向は更に一層強まると予想されている。こういった中、済々黌生には自分の長所や、やりたいことを踏まえ、高い志を持ち、いかにして社会貢献するかという職業観を踏まえて進学を志してほしい。文武両道を標榜する本黌においては、生徒の知的好奇心を触発し、主体的な学習を促す教科指導力の向上に努め、さらには生徒個々を理解し、潜在能力を生かす進路指導力の向上への研鑽など、教師側の努力も必要である。済々黌進路指導部ではこれからも生徒の高い志を大切にし、生徒に寄り添った指導を行いたいと考えている。

※栗山教諭は今春の人事異動で県立玉名高校に転任されました。

過去３か年の主な大学合格状況

大学名	年度	30	31	2 計	2 現役	2 既卒
北海道大		3	2	2	1	1
東北大		0	2	0	0	0
筑波大		1	4	1	0	1
千葉大		4	1	4	3	1
埼玉大		2	1	1	0	1
東京大		0	1	0	0	0
東京外国語大		2	1	1	1	0
東京学芸大		1	5	2	1	1
東京工業大		0	1	0	0	0
電気通信大		2	1	2	1	1
横浜国立大		1	6	2	1	1
名古屋大		2	0	4	4	0
京都大		2	5	4	2	2
大阪大		11	8	10	8	2
神戸大		3	3	5	3	2
岡山大		1	1	1	0	1
広島大		13	13	9	8	1
福岡教育大		5	4	5	4	1
九州大		49	51	38	27	11
九州工業大		10	5	6	4	2
佐賀大		8	12	4	4	0
長崎大		8	9	8	7	1
大分大		3	0	4	4	0
宮崎大		5	5	6	3	3
鹿児島大		24	26	23	16	7
熊本大	文	2	7	16	12	4
	教育	19	20	23	15	8
	法	15	17	17	14	3
	理	6	11	16	15	1
	医・医	3	4	4	2	2
	医・保	10	11	8	8	0
	薬	9	5	2	1	1
	工	22	28	39	35	4
	小計	86	103	125	102	23
東京都立大		1	0	2	1	1
大阪府立大		0	0	2	1	1
大阪市立大		1	5	1	0	1
北九州市立大		4	6	3	3	0
熊本県立大		24	18	26	25	1
早稲田大		14	8	5	5	0
慶應義塾大		2	5	1	1	0
立教大		4	7	3	2	1
法政大		7	19	8	4	4
明治大		10	14	6	3	3
中央大		13	13	10	6	4
日本大		7	5	6	1	5
津田塾大		1	3	0	0	0
青山学院大		4	2	3	0	3
芝浦工大		3	2	0	0	0
東京理科大		13	12	4	1	3
東京女子大		0	1	0	0	0
日本女子大		0	0	2	0	2
国際基督教大		0	1	0	0	0
同志社大		10	14	9	7	2
立命館大		32	46	59	21	38
関西大		8	13	15	4	11
関西学院大		3	5	7	3	4
近畿大		24	19	18	7	11
西南学院大		56	54	64	47	17
福岡大		24	35	37	25	12
熊本学園大		8	9	13	13	0
崇城大		28	25	39	29	10
熊本保健科学大		22	23	41	40	1
自治医科大		0	1	0	0	0
防衛大学校		5	6	7	2	5
防衛医科大学校		0	3(看)	1	0	1

ウイルスに負けない生徒たち

済々黌高校　副黌長　山本 信一郎（S61）

同窓会の皆様には、本黌の教育活動と在校生の激励のために、日頃から物心両面にわたり多大な御支援・御協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

また、前年度末からの新型コロナウイルス感染拡大に伴い、その被害に遭われた皆様、そして最前線で闘っていただいている諸先輩方には、御見舞い申し上げます。

この度は、私にまで同窓会会報の原稿依頼をいただき有り難うございます。大変緊張いたしておりますが、私の役目は学校現場の5月末の現状を本会報を御覧になった方々に分かり易くお伝えすることと自覚し、記させていただきます（発行の際には大きく状況が変化しているかもしれませんが、御容赦いただければ幸いと存じます）。

新型コロナウイルスは、高校生から高校総体・総文祭・甲子園等の大きな舞台を奪いました。また、入学早々の部活動の勧誘風景、応援団による校歌指導、恩賜記念大運動会といった新入生にとっては、本黌生になったことを自覚する大切な行事までもが実施できなくなりました。

現在は休校措置が段階的に解除され、6月1日からの通常登校に向けて、生徒をA・B班の2班に分けた分散登校を実施しております。全世界が新型コロナと闘っているのですから、みんなで我慢をするのは当然ですが、このウイルスの正体がはっきりしないがために、私たちが気付くことのできる範囲での対策を手探りで進めているところです。

学校は本来、人と人の関わりを大切にする場所であることから、学校ほど「3密」を避けにくい施設は無いのではないかと思っております。しかし、現場では今後もマスクの着用と換気、消毒の徹底を継続しながら感染防止に努め、先ずはウイルスに負けないよう在校生をしっかり支えて参ります。新型コロナウイルスが一日も早く収束し、平和な日々が戻ってくることを祈念しております。

同窓会の皆様におかれましては、今後とも御支援をよろしくお願いいたします。

夢の実現へ向けて！

令和2年卒業の二人に聞いた

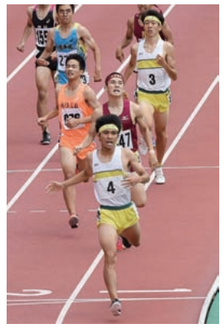
井上 拓優さん（熊本大医学部）

「済々黌高校で、真の文武両道を達成する」。入学前に書いた作文にそう記してから早3年、この学び舎を卒業すると共に、このような身に余る賞を頂き、大変ありがたく思います。

高校生活で勉強と部活を両立するにあたって一番大切にしていたことは、無駄をできるだけ減らすことです。2度と同じ間違いを繰り返さないようにと、間違い直しノートを全教科において作成し、何度も読み返していました。その結果、念願叶って志望校に合格することができ、部活動においても2年、3年時とインターハイに出場し、自分なりの「真の文武両道」を達成できたのではないかと思います。これは、共に切磋琢磨し合った仲間や、辛い時に支えてくれた両親、そして親身になってご指導頂いた先生方がいて下さったおかげです。済々黌高校という素晴らしい環境で3年間を過ごせたことは本当に幸せだったと改めて感じています。

また、私が医師を志したきっかけは、母が卵巣癌を患ったことです。母を治療してくださった主治医の先生の話を聞き、自分も人の人生の手助けができる医師になりたいと思うようになりました。そして、世界中で新型コロナウイルスが猛威を振るう今、現場で日々戦っている医療従事者の方がたくさんいらっしゃいます。その一員として1日も早く力になり、この賞に恥じぬ人間になれるよう、これからも精進していきたいと思います。

3年間、本当にお世話になりました！進まん理想の目標に！！！



▶2019年熊本県高校総体800㍍決勝での優勝のゴール（本人提供）

【令和元年度恩賜賞受賞】

西山 望さん（熊本大医学部）

今年高校を卒業しまして、熊本大学医学部医学科に入学しました。今回は、私の夢と高校時代の勉強について語らせていただきます。

私の将来の夢は総合診療医となり、地域医療に貢献することです。医師を志したのは幼い頃からの憧れもありますが、己の手で目の前にいる人を救いたいと強く感じさせられた経験をしたからです。当時はどんな病気も治せる医師になりたいと漠然と思っており、現在は生まれ育った熊本県への恩返しのためにも医師不足で問題視されている地域医療に携わろうと決心しております。

さて、高校時代では部活との両立に苦戦しました。2年次の3学期あたりから徐々に受験を意識し始め、部活を引退してからは自習室を借りて奮闘しました。振り返ると、通学時の電車内での学習と朝誰よりも早く学習を始めようという負けず嫌いな心が合格に大きく影響したと感じています。さらに受験を終えて、「受験期は乗り越えるものでなく、成長するために自ら利用する期間だ」というある先生のお言葉が私を支えてくれたのだと実感しております。

最後になりますが、コロナウイルスの影響で苦しい状況と闘っておられる方々もいらっしゃると思います。この文章を読んで高校時代の苦しかった時を、また共に乗り越えた仲間たちを思い出し、前を向いていただけたら幸いです。後輩の皆さんも学習の遅れなど不安だと思いますが、先生を信じ、自分を信じて頑張ってください。応援しています。

▶文化祭の準備中。下が西山さん（本人提供）

「ふるさと納税」で母黌を応援！

熊本県ふるさと納税 ～ふるさとくまもと応援寄付金「夢教育応援分」～

コロナウイルスが在黌生の生活にも多大な影響を与えている今、熊本県のふるさと納税「夢教育応援分」で、母黌を応援しませんか？

熊本県へのふるさと納税で「夢教育応援分」を選び済々黌を指定されると、寄付額の2分の1が済々黌に配分され、生徒達に必要な物品購入やスポーツ文化関連の行事などに活用されます。残2分の1は県全体の夢教育を推進する事業に充てられます。

返礼品も貰え（県外の方）、寄付控除（所得控除）も受けられます。詳しくは熊本県のホームページをご覧下さい。

寄附額の目安は？

額の目安は収入や家族構成等に応じて人それぞれ。「ふるさとチョイス熊本県」の画面で、「控除金額シミュレーション」をクリック又は、「ふるさと納税の控除額目安」で検索してご確認ください。

「ふるさと納税」の方法は？

納税の方法は２つ。

❶【熊本県税務課へ直接電話で】
☎096－333－2098
熊本県東京事務所 03-5212-9084
大阪事務所 06-6344-3883
福岡事務所 092-737-1313
（済々黌高等学校へ寄附をしたいと申し出る。手続きの方法を詳しく教えてくれる。）

❷【インターネットを利用して】
パソコン、スマホから OK ！
※詳しくは県税務課へお問い合わせください。

https://www.pref.kumamoto.jp/kiji_360.html

ふるさと納税「夢教育応援」（単位：円）

年　度	済々黌分	夢教育応援
H28	716,000	1,432,000
H29	262,500	525,000
H30	167,500	335,000
R1	445,000	890,000
合　計	1,575,000	3,150,000

あの頃・通った・あのみち

荒井由実の「卒業写真」という歌に「通った道さえ今はもう電車から見るだけ・・」という一節がある。現役時代に毎日通い、過ごした母黌でありながら卒業以来訪ねる機会さえ無かったという方も少なくないことと思う。そこで、そんな皆様に代わって、済々黌や黒髪町の周辺などの「変化」を写真やイラストを中心に巡ってお伝えしてみたい。（島田等・S49）

子飼橋バス停（肥後銀行子飼橋支店）付近

普段は自転車通学だった私も雨のひどい日は、バス通学をした。下校時、銀行の前のバス停で、あこがれの女子生徒を見かけるとドキドキした。

学校の正門からバス停へ、住宅街を抜ける狭い通学路は、お隣の女学院の生徒も通って色とりどりの傘の花が開いた。

子飼橋交差点

自転車通学生の多くが、毎朝子飼橋を渡り、スクランブル交差点を抜けて、下宿やアパートの中の細い路地を猛スピードで駆け抜けた。放課後は同級生と自転車を連れ立って帰ることもあったが、話に熱中するあまり何度塀にぶつかりそうになったことか。

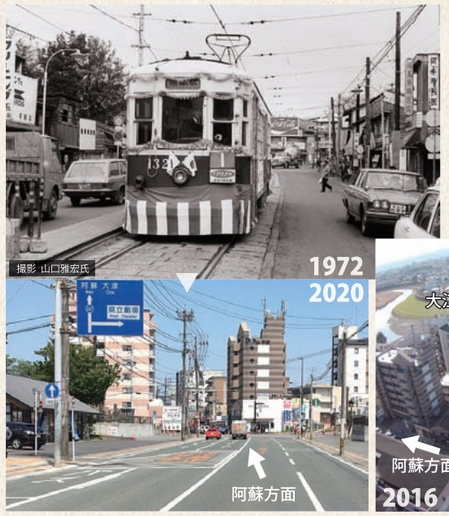
子飼橋

今はそんなこと言うのか知らないが、私が現役の頃は熊高のことを「川向こう」と表現する先生もいた。

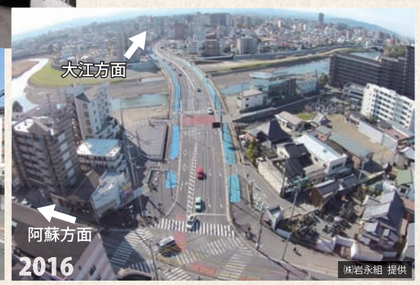
黒髪に在る済々黌と白川を挟んだ対岸の大江に在る熊本高校。その白川に架る子飼橋は、幹が同じ両校を結んでいるのかもしれない。

▲子飼橋　1953年（昭和28年）に起きた6.26水害後に架設された水色のアーチ橋は、2016年（平成28年）に4車線の道路と両側に広い自転車専用車線と歩道を備えた安全な橋に架け替えられた。

▲子飼商店街の賑わい（昭和33年頃）



▲子飼橋バス停（肥後銀行子飼橋支店）付近　熊本内環状道路の一環として、旧国道57号線（県道熊本菊陽線）は拡幅工事の最中で、大きく変貌しようとしている。子飼橋バス停のあった肥後銀行子飼橋支店の重厚な建物も今は無い。



▲子飼橋交差点　1969年（昭和44年）に日本初と言われるスクランブル交差点となる。電停が交差点に接していた市電黒髪線は72年（昭和47年）に廃止。橋の拡幅を伴う架け替えの関係で、子飼商店街側の建物は撤去され、子飼橋交差点も広く大きくなった。

女子の夏服物語

昭和32年まで女子制服に夏服はありませんでした。

冬制服のジャケットを脱いで、腕まくりをするだけ。ネクタイと裏付きのジャンバースカートはとにかく暑くてたまらなかったようです。

この姿を見かねた家庭科の喜多チズ先生が立ち上がります。昭和32年夏、「女子の夏制服を作ろう」と提案。生徒の意見を取り入れながら、斬新なグレーの生地に白の細い3本線、白スカーフの夏服が完成しました。生徒達は自分達で試作品を作り、わずかな日数着用したそうです。

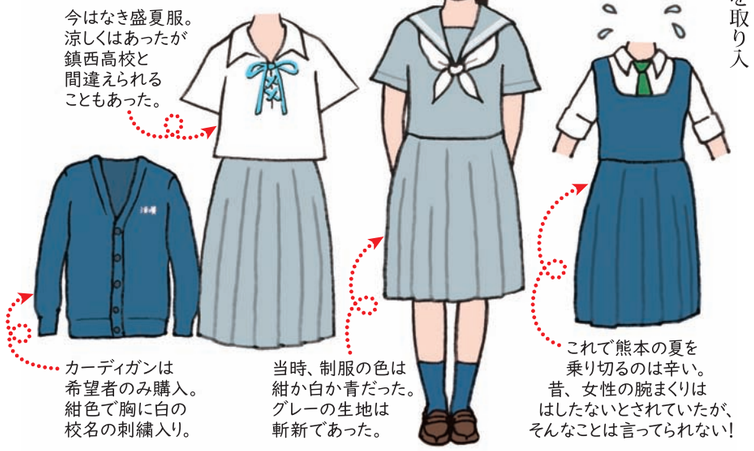
翌年、これが正式な夏服として採用され、現在に至っています。先輩達、スゴイ！

その後昭和40年頃、猛暑の期間限定で、白い薄地の生地に水色リボンの盛夏服ができました。

昭和60年頃からなぜか徐々に着る生徒が減少し、平成4年のエアコン設置ともにほとんど着用されなくなりました。エアコンの時代になると、今度は逆に「寒い」という生徒が登場します。そのために、今では夏服の上からカーディガンを羽織ることが認められています。

「腕まくり」からカーディガンまで、済々黌女子の夏制服を駆け足で紹介しました。

（光永季子・S49）



武藤眼科・大久保内科

理事長 **武藤 宏一朗**（S27年卒）

〒860-0851 熊本市中央区子飼本町1-18
TEL：096-343-3510

創造と挑戦
IWANAGA

株式会社 **岩永組**
860-0812 熊本市中央区南熊本４丁目8-32
TEL 096-372-3333　FAX 096-372-3600
URL　http://www.i-gumi.co.jp

医療法人　朝日野会
朝日野総合病院
救急告示指定（二次）
〒861-8072　熊本市北区室園町12番10号
TEL 096-344-3000　FAX 096-343-7570

医療法人朝日野会　系列病院　朝日野会　検索

十善病院
熊本市中央区南熊本3-6-34
TEL 096-372-2688

球磨病院
人吉市上青井町176
TEL 0966-22-3121

人吉中央温泉病院
人吉市上青井町170-1
TEL 0966-24-2854

博愛会病院
熊本市中央区紺屋今町4-3
TEL 096-325-2233

光生病院
人吉市下原田町1125-2
TEL 0966-22-5207

球磨村診療所
球磨郡球磨村一勝地甲77-17
TEL 0966-32-0377

外食産業食品流通サービス業
株式会社ハウディ
Challenge for Tomorrow
HOWDY

取締役相談役　富永　征男（昭和33年卒）
取締役会長　富永　晃夫（昭和34年卒）
代表取締役社長　富永　哲生（昭和60年卒）

■本　　社　〒862-0967　熊本市南区流通団地 1-8
TEL. 096-377-2111（代）FAX. 096-377-2134
■鳥栖支店　〒841-0048　佐賀県鳥栖市藤木町字若桜 3-26
TEL. 0942-85-0231（代）FAX. 0942-85-1208
■福岡支店　〒811-0104　福岡県糟屋郡新宮町的野 738-1
TEL. 092-962-3833（代）FAX. 092-962-3885
■北九州支店　〒803-0801　福岡県北九州市小倉北区西港町 62-1
TEL. 093-562-3300（代）FAX. 093-562-3310

グループ企業
■ハウディ大分食品株式会社　〒870-0319　大分市大分流通業務団地２丁目２番地の１
TEL. 097-535-7735（代）FAX. 097-535-7738

郷土料理専門　大小宴会　法事会館
株式会社 徳一

代表取締役社長　**緒方 正一**（昭和35年卒）

熊本市中央区坪井４丁目20-31
TEL. 096-345-3830　FAX 096-345-6173

OMOTE SANDO
YOSHIDA HOSPITAL

医療法人　起生会
表参道
吉田病院

理事長　吉田 憲史　昭和33年卒
総院長　吉田 仁爾　昭和35年卒

〒860-0855 熊本市中央区北千反畑町 2-5
TEL(096)343-6161　FAX(096)343-7626

熊本の未来へ、アクセル。
熊本トヨタ自動車

代表取締役会長　**與縄 義昭**（昭和35卒）

〒861-4109 熊本市南区日吉２丁目10番１号
TEL 096-357-6111　FAX 096-357-6113

医療法人 社団 一真会
春野医院
耳鼻咽喉科
アレルギー科・呼吸器科

理事長　春野　博一（昭和38卒）
監　査　法花津　剛健（昭和37卒）
事務部長　春野　真紀（平成７卒）

〒866-0865 八代市北の丸町3ー37
tel. 0965-35-6111（代）　0965-35-6112　fax. 0965-35-6108

HARUYAMA
Law office

春山法律事務所
福岡市中央区大名２丁目10番23号

福岡県弁護士会所属　弁護士　**春山 九州男**（昭和38年卒）
弁護士　**林　誠**（平成9年卒）

tel　092-712-2458　/　fax　092-712-3814

南阿蘇の医療を支えています
医療法人社団 清流会
渡邉内科
院長　渡邉　春海（S38卒）
阿蘇郡南阿蘇村河陰4667　Tel. 0967-67-1777
分院　渡邉総合内科クリニック
呼吸器内科・循環器内科・神経内科・消化器内科
理事長・院長　渡邉　義之（H5卒）
阿蘇郡高森町大字高森2022-3　Tel. 0967-65-2201

餃子屋
弐ノ弐
NI　NO　NI

草野 龍二（昭和38年卒）

四代　にわたり教えを受けたことを感謝します。
久木田 壽次郎（祖父、M5生、中退して上京し医学校卒業・医師）
久木田 精（伯父、T6卒・東大工卒）　犬童（久木田）克己（伯父、S3卒）
野口 一夫（父、S8卒）　野口 哲夫（叔父、S10卒）
野口 邦夫（兄、S35卒・医師・恩賜記念賞受賞）　久木田 衛（従兄、S27卒）
千葉（野口）恵子（長女、H8卒・弁護士）　松本 洋三（従兄、S35卒）

野口法律事務所
熊本市中央区西子飼町6ー6
TEL 096(345)0072

弁護士　野口 敏夫（S38卒・恩賜記念賞受賞）
弁護士　野口 敏史（長男）　弁護士　福原（野口）明子（二女）

求人メディア事業　あつナビ https://atsumaru.jp
あつまるくんの 九州で厚い信頼・高い実績 求人案内 無料
環境事業　機密書類を溶かして再生 ecopu! 安心になる。エコになる。楽になる。得になる。
ゴルフ場事業　あつまるレークカントリークラブ　宇城市松橋町曲野610番地　☎0964-32-2711㈹
あつまる阿蘇赤水ゴルフ倶楽部　あつまる阿蘇高原ホテル　阿蘇市赤水1815-1　☎0967-35-1200㈹
⋮アグリビジネス事業・関連会社⋮
農業生産法人 株式会社あつまる山鹿シルク　SILK on VALLEY YAMAGA　ATSUMARU YAMAGA SILK

株式会社あつまるホールディングス
済々黌あつまる会
本社／熊本：熊本市中央区紺屋今町14番地 求人案内本社ビル　☎096-322-6610㈹
支店／名古屋・北九州・福岡・久留米・佐賀・長崎・大分・熊本・宮崎・鹿児島

総合建設業
INNOVATOR MITSUNO
株式会社 **三津野建設**（みつの）

代表取締役会長　西尾 剛人（昭和39年卒）

〒862-0910 熊本市東区健軍本町23番5号　☎(096) 369-1281（代）・FAX369-1257
URL:http://www.mitsuno.jp/　E-mail info@mitsuno.jp

大宝堂
メガネと補聴器

おかげさまで113周年
これからも快適な「見える」「聴こえる」をお届けします。

代表取締役会長　布田　昭　（S40年卒）
代表取締役社長　布田　善久（H13年卒）

上通本店　〒860-0845　熊本市中央区上通町 5-6　☎096-354-2155

令和２年度創立138周年記念
済々黌三綱領精神による人づくり

すずかけ台保育園（創立41周年）
理事長　**平野 正憲**（昭和40年卒）
園長　**平野 光祐**（平成10年卒）

社会福祉法人 しあわせ福祉会　すずかけ台保育園
〒861-1115　熊本県合志市豊岡 2000-699　TEL:096-248-4532

KIMURA
《総合建設業》

蘇り、磨かれる。より豊かな街へ

会長
木村 賢治（昭和40年卒）
鈴木 好美（昭和55年卒）
永田 佳世（平成14年卒）

株式会社 木村建設
一級建築士事務所 県知事 第1585号
建設業許可:県知事 特定第648号
宅地建物取引業者 県知事（1）第5292号

本社／〒860-0863 熊本市中央区坪井6丁目17番15号 http://www.kimura-c.co.jp/
ＴＥＬ(096)344-3271　ＦＡＸ(096)344-3229

医療法人社団　文仁会
川原胃腸科内科
理事長　院長　**川原 文次**（昭和40年卒）
ＣＴ完備　日本消化器内視鏡学会専門医
〒860－0004 熊本市中央区新町3丁目9番10号
TEL 096-352－0945・FAX 096-324-6518
段山電停徒歩1分

創業 1913 年　同仁堂でキレイが輝く。
創業から107年。地域に根ざし、届ける“キレイと元気”
くすりと化粧品
同仁堂
〒860-0845 熊本市中央区上通町２番７号　TEL：(096)322-7111　FAX：(096)325-4030
http://www.dojindo-pharmacy.com/

四方寄ノ杜開発
〒861-5515　熊本市北区四方寄町1041番
木村 賢治（S40年）　下村 義治（S41年）
中野 伸治（S61年）

ハッコー株式会社
〒861-1115　合志市豊岡1290－1
上土井 眞二郎（S40年）　下村 悠希江（H10年）

崇城大学
SOJO UNIVERSITY

株式会社 **桜樹会・古川建築事務所**
OJUKAI・FURUKAWA ARCHITECTURAL OFFICE

代表取締役　古川 裕久　一級建築士・昭和41年卒
副代表 取締役　古川 瑠実　一級建築士・構造設計一級建築士 平成10年卒

〒862-0950　熊本市中央区水前寺6丁目28番8号
TEL(096)381-2370 FAX(096)381-2415

有限会社不動産のマツムラ

MATSUMURA

(社)熊本県宅地建物取引業協会員・熊本県知事免許(4)第3927号
土地建物売買仲介斡旋・アパート・賃貸事務所・駐車場管理

会 長 **松村 秀逸** 昭和48年卒

〒860-0085 熊本市北区高平３丁目 13-35
TEL(096)344-9889 FAX(096)344-9877
URL http://www.f-matsumura.com

浄行寺交差点

KOJIMA

小島眼科

シアーズホームグループ

代表取締役 **丸本 文紀**（S49 卒）

厚賀 啓助（S49 卒） 真嶋 浩 （S49 卒）
赤坂 寿 （S50 卒） 野田 研一（S50 卒）
佐々 博文（S50 卒） 佐保 優 （S59 卒）
山口佐和子(H13 卒） 山下 美月（H18 卒）

円測量 EN

代表取締役
原田 之治（S49年卒）
土地家屋調査士・行政書士・測量士

登記・測量 **原田事務所** 有限会社 **円測量設計社**

〒862－0975 熊本市中央区新屋敷1丁目18－25
TEL(096)363－5901 FAX(096)363－5925
E-mali : en_harada@k2.dion.ne.jp

ライオンズクラブ国際協会337－E地区

熊本黄壁城ライオンズクラブ

済々黌卒業生だけで結成されたライオンズクラブです

会 長 **甲斐 正法**（S51卒）

事務局 096－344－8011（小室）
http://www.ouhekijyo.com/
Email : ouhekijyo.lc@gmail.com

（有）行徳パン

（S50 年卒） **行徳 了一**（応援団）
（H20 年卒） **行徳 仁**（空手部）

〒862-0975 熊本市中央区新屋敷3丁目1の28
TEL：364-0562

伊藤歯科医院

ITO DENTAL CLINIC

院 長 **伊藤 明彦**（S52年卒）
Akihiko Ito

＊〒861-1112 熊本県合志市幾久富 1909-1193
＊TEL(096)248-5688 FAX(096)274-5568

九州を中心に 1,000 戸を超える販売実績

マンション・戸建ては「アルバクリエイト」

ALBA CREATE

アルバクリエイト株式会社
代表取締役 塩山 耕起
（S51年卒業）
TEL 092-732-1011

株式会社 通宝

ふりかけグランプリ 全賞

代表取締役
塚田 一成（昭和 53 年卒）

〒 862-0946
熊本県熊本市東区画図町所島 1100 番
Tel 096-370-0066 Fax 096-370-2552
http://www.tuhonori.co.jp/
https://www.478124.com/

通宝海苔ＨＰ　のり通ＨＰ

宅建多士会は、下記記載の不動産にまつわる専門家で構成しています。
不動産に関する信頼あける窓口として、皆様からの相談に対応いたしますので、お気軽にお声がけください。

濟々黌宅建多士会

濟々黌宅建多士会

第 18 代会長 平山 惠子（S52 年卒 バスケ部・茶道部 OG）
有限会社万石不動産 TEL 096-273-7983

事務局 坂口 治史（運営専務・S52 年卒 野球部 OB）
（株）サンコーライフサポート TEL096－341－3000

【会員業種】
不動産業・建設業・建築事務所・土木コンサル業・住宅メーカー・解体業・不動産鑑定士・土地家屋調査士
弁護士・司法書士・税理士・社労士・保険業・福祉関連業・印刷業・自動車学校・衆院県市議、他

株式会社 住まいの環境社

代表取締役 **松島 猛**（昭和53年卒）

しろあり防除施工士
蟻害・腐朽検査士

〒861-8068
熊本市北区清水万石４丁目 6-33
TEL 096-343-1246
FAX 096-345-5541

石坂グループで エコリサイクルしよう!

回収 します
◎家庭ごみ・引越ごみ
◎事業所から出るごみ
（月契約、定期で回収可能）
◎家電品・大型ごみ
◎機密書類

買取 します
◎子ども会などの廃品回収
（古紙・アルミ缶・ビールびん）
◎鉄・アルミサッシ・ステンレス 等
◎段ボール・新聞・雑誌 等

販売 します
◎事務用品
◎家電
◎厨房機器
◎家具 等

お問い合わせは ☎ 096-389-5501
フリーダイヤル 0800-200-5501
詳しくはHPへ 石坂グループ 検索
工場見学随時受付中！ ※事前にご連絡ください。

有価物回収協業組合
石坂グループ
〒861-8031 熊本市東区戸島町2874
ISO14001・エコアクション21 ダブル認証

伊藤 敦子（S53 年卒）
石坂 広徳（H 元年卒）

宅地建物コンサルタント

株式会社 ジェーンズ商会

代表取締役 **平野 俊晴**（S42年卒）

〒860−0029 熊本市中央区米屋町3−49
☎ 096−352−1777

溝口外科整形外科病院

創立 明治 42 年

院 長 **小島 哲夫** 昭和 42 年卒
済々黌 福岡同窓会 会長

〒810-0001 福岡市中央区天神４－６－25
TEL(092)721-5252

税理士法人 絆

KIZUNA Certified Public Tax Accountants'Co.

代表社員 **隈部 幸一**（昭和43卒）

〒860-0816
熊本市中央区本荘町719
Tel:096-363-4520 Fax:096-362-1150
http://kizuna-tax.jp

TKC

宍倉渉税理士事務所
株式会社インフォミックス

代表取締役
税理士
事業承継士 **宍倉 渉**（S43年卒）
Shishikura Wataru

ISO 9001 認証取得

〒866−0866 熊本県八代市鷹辻町5−25
TEL（0965）33−3521 FAX（0965）33−3523
http://www.sisikura-oda.jp/
E-mali:wataru-sisikura@tkcnf.or.jp

株式会社 ユーアイ

損害保険ジャパン株式会社
SOMPOひまわり生命保険株式会社
第一生命保険株式会社
各社代理店

代表取締役 **牛島 敏文**
（昭和 44 卒）

〒862-0976 熊本市中央区九品寺2丁目3番7号 電話（代）（096）372−4155
F A X （096）372−4158
E-mail:ui-ushi@atlas.plala.or.jp

TMS GROUP

不動産管理
株式会社トムス
熊本市中央区新屋敷 3-4-3
TEL 096-363-7322

不動産仲介（売買・賃貸）
株式会社ハウスレッシュ
熊本市中央区新屋敷 2-13-12
TEL 096-366-9020

（社）日本シャッター・ドア協会理事

東鋼シャッター株式会社

代表取締役会長 **岡 陽一**（昭和44年卒）

太陽光発電システム
施工・販売
トコソラ 検索
TOKOSORA

本社 営業部 〒861－1104 熊本県合志市御代志 1656－3
Tel(096)242－4126 Fax(096)242－2959
支店・営業所 福岡 ・ 八代 ・ 天草
E-mail : toko-s@basil.ocn.ne.jp

永村一泰 税理士事務所

明るい未来みんなで納税

TEL.096-341-2921

土地・建物・賃料等の評価業務

（有）地域クリエイト科学研究所

代表取締役
不動産鑑定士 **津留 伴一**（S46年卒）
TOMOKAZU TURU

〒862-0910 熊本市東区建軍本町9番11号
TEL:096-365-9551 FAX:096-367-3398
E-mail:turu@tiikicreate-turu.jp

政府はぶれる事なく、北朝鮮による拉致被害者全員の「即時一括帰国」を実現せよ！
松木薫さん（九州学院卒）も 40 年間拉致されたままだ。済々黌も日本人同胞の帰国に向け団結して立ち上がろう！
救う会熊本は 6 月、8 月、11 月に「署名活動」を下通りで、12 月に「拉致問題を考える県民集会」を県庁で開催しています。

布田 悟 法務総合事務所

拉致被害者を救う会熊本会長
司法書士・行政書士・菊陽町議会議員 **布田 悟**（昭46卒 空手部）
土地家屋調査士 **布田 俊**（昭50卒 吹奏楽部）
菊池市立七城中教諭 **布田賢次郎**（平14卒 ラグビー部）

菊池郡菊陽町大字津久礼2385-5（三里木・菊陽バイパス沿） TEL 096-232-3321

「救う会」ブルーリボンバッジ
拉致被害者を取り戻す！
あなたも意思表示を

PRECEED

飛沫感染防止卓上パーテーション
PRE SHIELD プレシールド

受付に！レストランに！会議室に！

株式会社プレシード 代表取締役社長
松本 修一 S47 年卒

FA システム・生産設備・自動化設備
開発・設計・製作

〒861-3103 熊本県上益城郡嘉島町井寺250-9
TEL:096-235-7727
FAX:096-235-7725

---

100 年後の農業を守る挑戦

種苗・農業資材で熊本の農業を支える

株式会社 興農園

総合建設業
株式会社 小竹組

代表取締役 大堂 正人（平成2年卒）

平成 22 年 7 月竣工の母黌本館です。
当社が建設を担当する誉れを賜りました。

〒862-0971 熊本市中央区大江 4 丁目 13-20
TEL 096-366-2111 FAX 096-366-2116

お気軽にご相談ください

弁護士法人
田中ひろし法律事務所

弁護士 田中 裕司（平成２年卒）

熊本事務所 〒860-0047 熊本県熊本市西区春日 5-6-5 田中スクエアビル2F
TEL.096-312-8868 FAX.096-312-8878

苦境を乗り越え、明るい明日（未来）に！

濟々黌熊本県庁同窓会
会長 本田充郎（S54 年卒）

多士済々

母黌の益々のご発展を祈ります

ダスキン熊本 社長 甲斐紳一郎（S53 年卒）
〒862-0951 熊本市中央区上水前寺 1-10-21 TEL 096-384-1331

河津法律事務所

弁護士 河津 和明
弁護士 河津 典和（H２年卒）
弁護士 土井 洋平
弁護士 永田 成眞

〒860-0848 熊本市中央区南坪井町1番24号
TEL：096-325-0810 FAX：096-325-0817

心ひとつ
医療と福祉の融合

医療法人社団
仁誠会

理事長 田尻哲也（平成2年卒）

生涯現役社会 ～いのち、輝かせる～

田添 昇	池﨑信彦	江田幸政	太田裕美子	吉田美幸
仁誠会クリニック 光の森 医師 (S.49年卒)	仁誠会クリニック 大津 院長 (S.52年卒)	仁誠会クリニック 光の森 院長 (S.56年卒)	仁誠会クリニック 黒髪 医師 (H.5年卒)	仁誠会 理事 (S.51年卒)

https://www.jinseikai.or.jp/

医療法人 木星会
山鹿温泉リハビリテーション病院

【診療科目】
リハビリテーション科、内科、放射線科、消化器外科、消化器内科

理事長 田代 桂一（昭和 55 年卒）

〒861-0514 熊本県山鹿市新町1204
TEL 0968-43-4151 FAX 0968-43-4153
Homepage http://www.yamaga-reha.jp

浄行寺交差点より愛を込めて 令和とともに32年

英伸館

☎ 345-8217
早稲田スクールさん隣
熊本市中央区薬園町 1-3
http://www.eishinkan88.com

代表
山口 和也
（S55 卒）

弁護士法人
東法律事務所
LEGAL PROFESSIONAL CORPORATION HIGASHI LAW OFFICE

弁護士
東 健一郎（平７年卒）
Kenichiro Higashi

〒860-0846 熊本市中央区城東町2-12 3F
tel.096-227-6677 fax.096-227-6688
http://www.higashi-law.jp

学生服の タケモト

株式会社 タケモト

代表取締役社長 武本 英博（平成４年卒）

学生服 / 事務服 / 作業服 /Tシャツ / トレーナー / 帽子
食品工場、病院、ホテル、飲食店などのビジネスユニフォーム

〒861-8035 熊本市東区御領2丁目14-18 TEL：(096)389-2321 FAX：(096)389-1108
http://www.takemoto-net.co.jp/

西本会計事務所

税理士 西本 寛（S58年卒）

〒862-0971 熊本市中央区大江4丁目19番76号
TEL096-372-2309 FAX096-362-3277

有限会社
西口晴秀堂

すこやか堂薬局・すこやか堂薬局 みよし店

健康と、ながいおつきあい

代表取締役 西口賢太朗（S58年卒）
薬剤師 西口 直子（S62年卒）

http://www.seishudo.co.jp/
西口晴秀堂 検索

熊本市東区尾ノ上1-8-11
TEL.096-369-8448

SINCE 1921 石の世界
株式会社 江副石材工業

EZOE STONE

代表取締役社長
江副 弘幸（平成９年卒）

本社「石の世界」竜田展示場
〒861－8006 熊本市北区龍田２丁目19番31号（三の宮 旧57号線沿）
TEL:096－338－8684（代） FAX：096－338－8749

千葉総合法律事務所
企業法務、国際法務、知財法務を担当しています

弁護士 千葉 康博（米国ニューヨーク州弁護士）
一般社団法人アジア法務サポートセンター代表理事
弁護士 千葉（野口）恵子（H8卒）
弁護士 遠藤 光太郎 弁護士 岩本 尚光

〒860-0803 熊本市中央区新市街7－20 ヴィレラ辛島502
TEL 096(288)1842 FAX 096(288)1642
E-mail yasu@noguchiba-law.jp

熊本ラーメン 黒亭
KOKUTEI

代表取締役 平林 京子（平成９年卒）

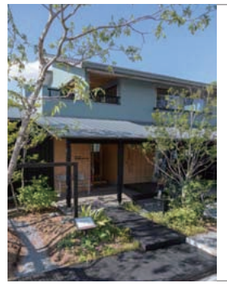
本 店 桜町熊本城前店
下通店 ゆめタウン光の森店

©2010熊本県
くまモン ＃4703

宮田総合法律事務所

弁護士 宮田 房之
（昭和 59 年卒）

MIYATA & PARTNERS
〒860-0017 熊本市中央区練兵町 88-3
PHONE 096-312-1188・312-1189
FAX 096-312-1190
http://bengoshi.ecgo.jp/



GOOD DESIGN
熊本の木の家
グッドデザイン賞 14 作品受賞

新産住拓株式会社

代表取締役社長
小山 英文
（昭和 60 年卒）
本社 / 熊本市南区近見8丁目9-85

アイファー税理士法人

代表社員
（公認会計士・税理士） 斉藤 信慶（H10年卒）

〒862-0975 熊本市中央区新屋敷２丁目 13-10
TEL：096-366-3344FAX：096-362-2461
https://eifer-tax.com/
メール：info@eifer-tax.com

— 病院機能評価認定病院 —
医療法人社団 永寿会
天草第一病院

熊本県天草市今釜新町3413-6 〒863-0013
Tel0969・24・3777 Fax0969・24・0870

マルキン食品株式会社
本社／熊本市中央区世安町380

代表取締役 社長
吉良 扶佐子
（S60 年卒）

Award-winning natto

林田直樹建築デザイン事務所（H15卒）

建築物一般の設計・工事監理一式を承ります
熊本県熊本市南区奥古閑町1747-2
TEL:096-342-6024/FAX:096-342-6025
MAIL:naoki@nh-hayashida.com / WEB:www.nh-hayashida.com

DOJINDO
Think Globally, Act Locally

わたしたちは、科学分析・環境分析の
スペシャリストです

株式会社 同仁グローカル

代表取締役 上野景太（平成１１年卒）

〒861-2202 熊本県上益城郡益城町田原2081-25
TEL：096-286-1311 FAX：096-286-1312
https://www.dojin-glocal.com/

感謝と共に
笑顔の明日を

1980

建築物総合サービス

清掃管理・設備管理・給食管理
警備業務・建 設 業・人材派遣

株式会社 三勢
代表取締役 福原 浩倫

熊本市中央区帯山３丁目８－４４
電話 ０９６（３８３）２３４１

ST-エコロ SSG工法
新しい建設の未来に

誉産業 株式会社

代表取締役 米満 泰二（S62年卒）
1級建築施工管理技士
1級土木施工管理技士

熊本市南区野田３丁目９番 19 号 / 〒861-4114
Phone：096-357-2167 FAX：096-357-2157
E-mail：yonemitsu@homare-kk.com

同窓会活動報告

委員会・プロジェクトチーム（PT）

140周年記念事業準備PT

リーダー　成尾　雅貴（S52）

我が母黌済々黌は、2022年2月11日に、創立140周年を迎えます。この節目の年に記念事業を実施するため、野口会長から委嘱され、140周年記念事業準備プロジェクトチームが結成されました。

第1回会合は、19年7月22日に開催。メンバーは、野口会長、中村幹事長、田島事務局長（当時）、平野正憲氏（S40）、秋岡陽一郎氏（S54）、岡本一隆氏（S52）、そして私、成尾雅貴でスタートし、後日、秋岡氏の推挙にて長谷川京香氏（H2）が参加しました。初回会合で一般公募することが決まり、募集要項等を整え、10月から募集を開始しました。予算の総額は、1千万円です。募集は、20年2月11日（創立138周年目の日）に締め切りました。応募総数は15件、教職員からの応募1件以外は全て同窓生からでした。団体・学年や地域の同窓会）としての応募もありました。現役生徒から施設改修に関する応募もありましたが、これは熊本県教育委員会事務局が関与することになりましたので除外しています。

頂いた企画案は、大きく次の四つにわけることができます。（経費は省略）

【済々黌の紹介に関するもの】

①受験生やその保護者向けに母黌の歴史を年表として無料配布②映像で綴る済々黌ヒストリアとして、出来事や人を紹介③ドローンによる空撮で今の姿を公開

【同窓会の支部拡充に関するもの】

①未設置の地域（都道府県単位）に同窓会を設置

【済々黌の施設の拡充に関するもの】

①黌章にもなっている母黌の桜の保護②黌内にある同心学舎を中心とした区域を公園として整備③黌門と併せ済々黌名盤（創立当時に）の改修④対応が迫られている多士会館の照明のLED化

【周年イベントの開催に関するもの】

①記念式典②音楽系部活関係者による音楽祭③兄弟姉妹校との合同文化・体育祭④記念トークショー（ソフトバンク関係者による）⑤記念グッズの作成等⑥地球温暖化対策を支援する任意団体の設立・運営

これらについては、今後開催される幹事会及び代表評議員会において、アンケートを実施し、その意見を反映した上で、再度取りまとめたものを秋に開催される幹事会と代表評議員会に諮り、決定する予定となっています。

ここで決定された内容は、その後新たに設置される「済々黌百四十周年記念事業実行委員会」に引き継ぎ開催に向けた作業が進められます。どのような内容の記念事業が実施されることになるか、皆様も楽しみにお待ちください。

多士会館の大規模修繕PT

リーダー　吉田　覚（H3）

済々黌創立100周年を記念し、1984年に建設された多士会館は、同窓会活動の拠点として、また最近では現役生の学習の場としてますます重要な役割を担っています。しかし今年で築36年となり、近年では雨漏りや外壁の劣化も見受けられるようになってきております。また、2016年の熊本地震の影響が懸念されることもあり今回劣化部の大規模修繕を行うこととなりました。

建築・設備関係の同窓生でチームを組み、調査や打合せを行いましたが、まず驚かされたことは本当に劣化が少ないことです。さすがに、一部で防水劣化による雨漏り、地震によるタイルの剥がれなどが生じている部分もありましたが、建物の基本となる部分はびくともしていない印象です。36年前、いかに丁寧な設計・工事が行われたかをうかがい知ることができます。

調査・打合せの結果、今回は主に雨漏りや外壁剥離の危険性を無くすために、①防水工事の改修　②シーリング（建物の部材と部材をつなぐ材料です）③浮きや剥がれが生じているタイルの補修、の3点を中心に工事を行ってもらう事となりました。

多士会館の設計に当たられた桜樹会・古川建築事務所様、施工に当たられた株式会社 岩永組に多大な協力・助言を頂きながら2020年10月、無事工事も完了いたしました。

外観には殆ど変化のない多士会館ですが、よくよく見ると一部のタイルが色付けされた細かいピンで止めてあります。窓の廻りのシーリングと呼ばれる材料が全てやり替えられて綺麗になっています。本当に細かい部分ですが今後の多士会館のため大事な部分です。

「済々黌創立100周年に建てたのだから200周年まで残していきたいよね」と仰られた設計者の古川裕久氏（S41）の言葉が大変印象的でした。私たち同窓生を繋いでくれる多士会館を次の世代の繋ぎの場として、益々多士会館が活躍してくれる事を今回携わった同窓生一同で期待しております。

▲工事完了直前の多士会館

一丸邸跡地利用PT

リーダー　津留　伴一（S46）

当PTは済々黌正面に隣接する一丸邸の土地・建物を昨年4月に多士会館が購入した事に伴い、その跡地の有効利用を図るために発足いたしました。リーダー以下中村幹事長も含めて昭和43年卒から平成15年卒まで幅広い年代9名で構成され、建築の専門家も入っております。

一丸邸には、居宅（木造2階建約30坪、築50年以上）の外、倉庫、温室、そして立派な庭園等がありますが、倉庫、温室は駐車場を確保するために、本年3月に解体、撤去等既に済んでおります。

当PTの目的である建物の有効利用について、PTのなかで意見交換を行ってまいりました。有効利用の基本方針として、同窓会離れが著しい若年世代に同窓会運営や多士会館運営に目を向けてもらう事、また、在黌生の学習スペースの更なる確保等を主眼としました。

当然、経費等との関連も重要であり、全部解体し、駐車場とした場合には500万程度、建物は小規模リフォーム、残りを解体し、多目的ホール等で利用した場合には1千万程度かかりそうです。

▲コワーキングスペースのイメージ

PTとしては上記基本方針に適うものとして、経費は1500万程度と多額となりますが、建物の全面リフォームを行い、コワーキングスペースとして活用することを検討することとしました。コワーキングスペースについては馴染みが薄いかもしれませんが、事務所、打ち合わせスペースなどを共有しながら独立した仕事を行う共働スタイルのことであり、熊本市内では、びぷれす広場の上層階や下通の未来会議室などでコワーキングスペースの取り組みが行われています。また、この一部スペースを在黌生の学習スペースとして活用することも可能ですし、同窓生のミニ同窓会の場所として活用することも可能となります。

今後は140周年記念事業との関連性も十分視野に入れながら、改修費用等に要する財源や改修後の収益やコスト等の問題を精査するとともに、幹事会、代表評議員会との十分な連携を図りながら進めてまいりたいと考えております。

なお、この提案は当PTの一つの試案であり、同窓生各位におかれましては、本提案ないし、それに代わる企画等ございましたならば、ぜひ当PTに提案していただければ幸甚に存じます。

同窓生及び在黌生並びにその関係者に必要不可欠な施設として後世に残るような施設となるように、今後ともPT活動を充実してまいる所存です。

婚活応援事業（同窓生同士）

在黌時、憧れの先輩、気になる後輩はいましたか？

同窓生の横のつながりはあっても、他学年と知り合う機会は少ないですよね。

同窓会では出会いの機会を設け、未来につながる後押しができればと考えています。

婚活コーディネーターの荒木直美さんをご存知ですか？婚活界の松岡修造と呼ばれる彼女を迎えて、婚活交流会を開催予定です。参加者の♥と♥をつなぐ彼女のトークと気遣いは、婚活の救世主となること間違いなし！卒年を言うだけで盛り上がれる「同窓生」同士の関係をつなぎます。交流会は、1回40名で参加費は資料込み5千円を予定。費用補助等についても検討中。最新情報は、同窓会Facebookグループ等でもご案内予定。

この記事に目が留まったあなた！一歩踏み出しませんか。

子育て応援事業

（同窓生とその配偶者を対象）

未就学児の子育て世代が親子で集まれる場所を開設する。子育てのストレス発散、相互間の情報交換など多士会館2階和室（平日10～15時）を活用。

また、絵本等収集事業として、子育てが済んで不要になった絵本、玩具、古着、チャイルドシート等を収集し、再利用を促進する。情報は随時SEISEI DOSO info.にアップするのでFacebookにメンバー登録をお願いします。

（同窓会副会長　野口　喬・S41）

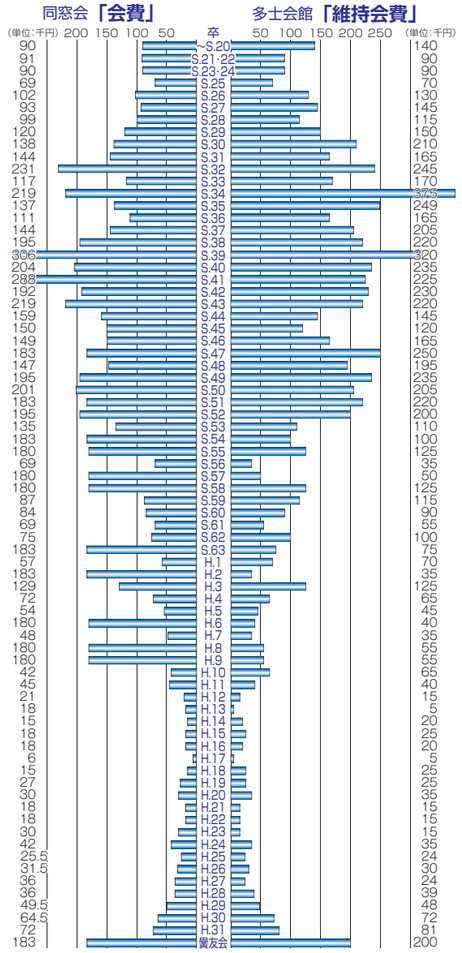
学年代表評議員

学年と同窓会をつなぐパイプ役としてのご活動に感謝申し上げます。

卒年	氏名	卒年	氏名	卒年	氏名
S21・22	弓削　淳昌	S49	松藤　誠郎	H11	渕上　博貴
S23・24	古閑　孝之	S50	行徳　了一	H12	荒木　大助
S25	平山謙二郎	S51	上城　弘幸	H13	緒方　佑亮
S26	中川　志郎	S52	水上　雄二	H14	林田　将吾
S28	佐藤　公介	S53	吉村　栄治	H15	南部　隼平
S29	藤掛　宣彦	S54	石垣　利恵	H16	緒方　伴泰
S30	木村　純久	S55	千原　竹雄	H17	坂田　昌陽
S31	舩崎　直一	S56	村上　博一	H18	林　浩平
S32	徳永　公治	S57	酒匂　士郎	H19	宮森　大介
S33	中川　勝彦	S58	坂梨　昭弘	H20	行徳　仁
S34	古河　幹男	S59	井上貴加志	H21	緒方　詩帆
S35	吉田　仁爾	S60	福島　大典	H22	森　紘宇
S36	井山　昭伸	S61	杉本　幸生	H23	西村　太成
S37	入江　昭雄	S62	木場　達美	H24	福本　和喜
S38	田中　勇三	S63	本田　洋一	H25	西橋啓太郎
S39	進　朗	H元	吉田　二浩	H26	野間　顕斗
S40	宮部　一郎	H2	永村　哲宏	H27	白石　和真
S41	大嶋　和博	H3	吉田　覚	H28	長野日菜子
S42	石井　良照	H4	森　長浩	H29	宮崎　純望
S43	柏本　幸夫	H5	宮田　一起	H30	馬場　竣也
S44	井　哲朗	H6	塚本　康洋	H31	詫間　未悠
S45	兼田　泉	H7	古奥　博章	R2	松山　航大
S46	中原　勝宣	H8	伊瀬知　誠	黌友会 S50	徳田　正己
S47	有働淳一郎	H9	深町　洋輔	黌友会 S53	松本　博昭
S48	白石　正治	H10	井芹　文義		

同窓会「年会費」と多士会館「維持会費」納入のお礼

同窓会「年会費」と多士会館「維持会費」の2019年度納入金額を下のグラフに掲載しました。沢山の皆様にご協力をいただきありがとうございました。



その他の委員会及びプロジェクト

事業委員会
SNS広報委員会
財務特別委員会
多士会館運営支援プロジェクトチーム
会則・組織改正プロジェクトチーム
青年会
母黌支援委員会
組織強化委員会

2019 年度 一般財団法人多士会館の現況

（2019 年 4 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日）

ご寄付いただいた方々

（単位：円）

S22卒　上野健 様	10,000,000
済々黌新入生	3,296,000
済々黌同窓会（ＨＰ賛助金ほか）	2,166,209
済々黌東京同窓会S29卒 同級生有志一同 様	280,000
H10卒大同窓会実行委員会 様	150,000
S25卒　平山謙二郎 様	50,000
済々黌さんご会 様	50,000
八代済々黌同窓会 様	37,000
済々黌三四会 様	30,000
済々黌ハワイ同窓会 様	20,000
済々黌空手部ＯＢ会 様	10,000
黒髪校区第七町内自治会 様	10,000
S61卒　趙岳人 様	10,000
その他（計）	10,000
合　計	16,119,209

多士会館から済々黌部活への助成金

部活名		金額（円）
運動部	陸上競技部※	205,000
	漕艇部	200,000
	水泳部	155,000
	水球部	60,000
	弓道部	20,000
	レスリング	10,000
	なぎなた	5,000
文化部	吹奏楽部	200,000
	放送部	105,000
	合唱部	60,000
	地学部	55,000
	華道部	20,000
合　計		1,095,000

※大会キャンセルによる 20,000 円の返金

貸借対照表

（単位：円）

科　目	金　額
Ⅰ　資産の部	
1、流動資産	22,769,623
2、固定資産	
（1）基本財産	187,203,927
（2）その他の固定資産	43,824,194
資産合計	253,797,744
Ⅱ　負債の部	273,836
Ⅲ　正味財産の部	
一般正味財産	253,523,908
正味財産合計	253,523,908
負債及び正味財産合計	253,797,744

正味財産増減計算書

（単位：円）

収　入	金　額
維持会費収入	8,302,000
寄付金収入	16,119,209
その他の収入	3,216,577
収入合計	27,637,786
支　出	**金　額**
事業費	12,616,634
管理費	8,888,682
支出合計	21,505,316
当期収支差額	6,132,470
今年度期首残高	247,391,438
今年度期末残高	253,523,908

利用状況

	事業内容	人数（人）
継続事業	学習施設の運営	29,260
	研修施設の運営	1,329
その他の事業	貸室事業（会議等）	3,368
	貸室事業（合宿等）	120
合　計		34,077

在黌生の利用が大幅増加！ 開館ボランティアを募集中

2016 年の熊本地震直後に開始した多士会館の開館延長も丸４年を迎えました。生徒の利用状況は、年間３万人近くにのぼり、当初の予想を遙かに超え、多士会館で勉強する“多士る”は在黌生の中に深く浸透しています。

今年はコロナ禍により、生徒達は新学期から勉学の場を奪われました。特に受験生にとってはあと半年。できる限りの支援をしていきたいと考えております。皆様方には、ボランティアや同窓会費の納入により物心両面でのご支援をいただいております。そのお心はきっと在黌生の励みとなっていると思います。ここに心より御礼を申し上げますとともに、今後ともこの事業へのご理解・ご協力をよろしくお願い致します。

最後になりましたが、開館ボランティア事業にご協力いただける方を大募集しております。現役生と触れ合って、当時のことをあれこれ振り返るのも楽しいものですよ。

（多士会館運営支援プロジェクト）

【開館ボランティア時間】

平日：午後７時～午後９時
土曜：午後５時～午後７時
日祝：午前 10 時～午後５時

＊開館ボランティアについてのお問い合わせは、多士会館（TEL:096-345-3002）まで

着任のご挨拶

松岡 正勝（Ｈ９）

2019年9月から、同窓会事務局、一般財団法人多士会館職員として働いております、平成9年卒の松岡と申します。

平成卒というだけで『まだまだ若い』という印象をお持ちの方もいらっしゃいますが、2年前に大同窓会幹事学年を経験し、齢も今年で42になります。

各企業などの第一線で活躍したり、子育てに奮闘したりしている同級生とは、少し（かなり？）違った人生を歩んできましたが、ご縁あって、これまでの様々な経験を活かしながら、母黌同窓会と多士会館のために尽くせることをありがたく思っております。

事務局の新たな風となって、活躍できるように頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

今年は新型コロナウイルス感染拡大防止対策などで、イレギュラー続きの年になっておりますが、同窓生とその家族、関係者はもちろん、日本中そして世界中の全ての人々、生き物に、一日も早く心身ともに平穏な日々が訪れることを、心から願っております。

◆◆◆編集後記◆◆◆

◆自由を制限されると、やはり辛い。ストレスがたまる。それが募ってか、自粛警察なるものが現れた。「すぐに店を閉めろ、さもなくば火を付けるぞ」と言った具合だ。当人は正しいことをやっているつもり。「俺が我慢しているのだからお前もやって当然だ」と言うことだろう。正義を振りかざし、世の中のためと思い込んでいるが、ただの自己満足でしかない。極端な例かもしれないが、自分にも思い当たる節がある。その昔、ある人に「人の間違いを正す時、正論を吐く時ほど注意しろ」と言われたことがある。手厳しい物言いは、自分の正義を押し付けているだけ。相手の気持ちは逆に動く。「誰のためか」という目的を間違えては、その結果は大きく違ってしまう。今号でキーワードとなったのは「誰かのために」。コロナ禍が社会生活に暗い影を落とす中、誰かのために懸命に活動する同窓生たちがいる。会報にご登場いただいた皆さんは勿論、母黌の先生方や会報作成にご協力下さった方々。皆さんに共通しているのは、間違いなく三綱領精神だ。『倫理を正し大義を明らかにす』。そこには、決して傲ることなくただ直向きに努力する姿があった。齢五十を過ぎてやっと三綱領の言葉が染みてきた。四十、五十は鼻垂れ小僧、まだ一からやり直そうと心に決めた、今回の編集作業だった。（功）

【会報作成プロジェクトチーム】

リーダー　上野功一朗（S61）
サブリーダー　西府　裕一（S46）・田上　賢祐（S49）
メンバー　鷲頭　英司（S41）・猪　献一郎（S49）
島田　等（S49）・光永　季子（S49）
倉澤　隆子（S51）・楠田　節子（S52）
野口　伸三（S53）・栗林　香織（S58）
吉田光一郎（H３）・古池　泰士（H14）

【会報広告プロジェクトチーム】

リーダー　野口　喬（S41）

【同窓会事務局】

職　員　喜多　奈美・松岡　正勝（H９）

東家正采、厳湛、益田晶仁、三浦莉子、坂上慎一、中村千夏、室京佑、渡辺港、境彬虎、堤琉、古江尚也、齊藤嵩人、平本美月　黌友会村上健太郎、牧野三男②、丸山博、辛島司、城博昌、中嶋一雄、井手直房、山室文雄、岡部友博、濵田幸三郎、宮本良一、岡本瑠璃子、山戸守、大槻英明、渡辺誉、嶋村光雄、鳥井照子、吉田勇、西川二千六、石井敬也、堺美智代、佐藤登紀子、田上愛六郎、原口光子、今里明、川井田英明、玉井清人、前田なおみ、三浦武敏、宮本浩一、髙木はるみ、松村秀逸、手嶋宏、岩崎光、岩本敏則、松本博昭、渡辺博、後藤淳子、藤田秀一　地区同窓会北九州同窓会②　事務局喜多奈美

多士会館維持会費　１口5,000円
（但し、卒業後７年間は3,000円）
２口以上の方はお名前の横に○数字で記載。ご寄付をいただいた方は、39 頁に掲載しております。

※ 2019 年 1 月以降の納入へのお礼はこのお名前掲載にて代えさせていただきます。

済々黌同窓会 ２０１９年度決算及び令和2年度予算（一般会計及び特別会計）

※下記の収支決算書・予算書は、令和2年4月20日と4月24日に開催予定だった「幹事会」と「代表評議員会」において事業報告・事業計画と共に審議され、5月21日開催予定だった「総会」において承認を頂く予定でしたが、コロナ感染拡大防止の為に全ての会議開催が見送られました。
本会報誌入稿時点においても、開催の目途が立たず、審議・承認に至っておりません。今後、各会議開催時に審議・承認を頂く予定ですが、先だって、この会報にて報告致しますこと、ご了承ください。

2019年度　済々黌同窓会 一般会計 決算

（2019 年 4 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日）

◇収入の部　（単位：円）

科目	補助科目	決算額
入会金		1,236,000
年会費収入		8,330,000
寄付金収入		1,007,000
雑収入		41,760
利息収入		1,390
事業収入	多士講座賛助金	20,000
	ホームページ賛助金	600,000
	会報広告賛助金	3,600,000
	事業収入計	4,220,000
総収入計 (A)		14,836,150

◇支出の部

科目	補助科目	決算額
事業費	会報作成（印刷費）	1,325,585
	会報作成（発送費）	1,816,151
	会報作成（取材費）	76,059
	会報広告	83,064
	HP 管理	60,000
	青年会	210,172
	母黌支援	12,000
	多士講座	0
	げたばき塾	102,578
	その他	0
	計	3,685,609
助成費	大同窓会助成費	300,000
	應援同好会助成費	100,000
	卒業証書用丸筒	98,494
	済々黌進学関連助成金	1,501,003
	記念同窓会	50,000
	計	2,049,497
事務局事業費	広報費	41,800
	会議等使用料等	72,140
	計	113,940
事務局業務費	印刷コピー費	245,985
	通信費	107,069
	支払手数料	428,414
	消耗品費	91,448
	慶弔費	181,978
	旅費交通費	152,890
	ＩＴ機器メンテ費	△ 15,449
	ホームページレンタルサーバー料	24,840
	リース料	202,974
	雑費（熊日購読料含む）	91,250
	計	1,511,399
業務委託費		2,500,000
記念事業積立金		1,000,000
多士会館寄付		2,166,209
予備費		0
総支出計（B）		13,026,654
収支差額（A）－（B）＝（C）		1,809,496
前期繰越金（D）		13,993,025
次期繰越金（C）＋（D）		15,802,521

令和２年度　済々黌同窓会 一般会計 予算

（令和２年４月１日～令和３年３月 31 日）

◇収入の部　（単位：円）

科目	補助科目	予算額
入会金		1,236,000
年会費収入		8,000,000
寄付金収入		2,000,000
雑収入		40,000
利息収入		1,500
事業収入	多士講座賛助金	200,000
	ホームページ賛助金	600,000
	会報広告賛助金	4,000,000
	事業収入計	4,800,000
総収入計 (A)		16,077,500

◇支出の部

科目	補助科目	決算額
事業費	会報作成（印刷費）	1,400,000
	会報作成（発送費）	1,900,000
	会報作成（取材費）	100,000
	会報広告	60,000
	HP 管理	60,000
	青年会	300,000
	母黌支援	20,000
	多士講座・げたばき塾	600,000
	事業委員会備品費	50,000
	若手支援	360,000
	その他	0
	計	4,850,000
助成費	大同窓会助成費	300,000
	應援同好会助成費	100,000
	卒業証書用丸筒	100,000
	済々黌進学関連助成金	2,000,000
	記念同窓会	150,000
	計	2,650,000
事務局事業費	広報費	50,000
	会議等使用料等	100,000
	計	150,000
事務局業務費	印刷コピー費	250,000
	通信費	150,000
	支払手数料	460,000
	消耗品費	120,000
	慶弔費	200,000
	旅費交通費	200,000
	ＩＴ機器メンテ費	0
	ホームページレンタルサーバー料	25,000
	リース料	210,000
	雑費（熊日購読料含む）	120,000
	計	1,735,000
業務委託費		2,500,000
記念事業積立金		1,000,000
多士会館寄付		2,500,000
予備費		692,500
総支出計（B）		16,077,500
収支差額（A）－（B）＝（C）		0
前期繰越金（D）		15,802,521
次期繰越金（C）＋（D）		15,802,521

2019年度　済々黌同窓会 特別会計 決算

（2019 年 4 月 1 日～ 2020 年 3 月 31 日）

◇収入の部　（単位：円）

科　目	決算額	備　考
記念事業積立金収入	1,000,000	一般会計より
130 周年事業収入	2,100	黌歌百年
書籍売上収入	0	
雑　収　入	30	受取利息
特別会計繰入	0	
収入 合計　(A)	1,002,130	

◇支出の部　（単位：円）

科　目	決算額	備　考
雑　費	612	残高証明発行手数料
支出　合計　(B)	612	
当期収支差額　(C)	1,001,518	(A) － (B)
【前期繰越金】　(D)	20,557,665	
【次期繰越金】	21,559,183	(C) ＋ (D)

令和２年度　済々黌同窓会 特別会計 予算

（令和２年４月１日～令和３年３月 31 日）

◇収入の部　（単位：円）

科　目	予算額	備　考
記念事業積立金収入	1,000,000	一般会計より
130 周年事業収入	600	黌歌百年
書籍売上収入	0	
雑収入	30	受取利息収入
収入合計（A）	1,000,630	

◇支出の部　（単位：円）

科　目	予算額	備　考
雑費	612	残高証明発行手数料
支　出	612	
当期収支差額（C）	1,000,018	(A) － (B)
前期繰越金（D）	21,559,183	
次期繰越金	22,559,201	(C) ＋ (D)

2019 年度　寄付金収入

（単位：円）

大同窓会幹事学年平成 11 年卒会 より	1,000,000
その他	7,000

同窓会年会費納入のお願い

同窓会活動は、同窓生の皆様からの年会費3,000円（但し卒業後７年間は1,500円）によって支えられています。今年度も皆様のご協力をよろしくお願いいたします。納入には、同封の振込用紙をご利用ください。

おくやみ　謹んでおくやみ申し上げます。

（R２年５／31現在）

| | | |

第36号2020年8月

多士会館だより

おかげさまで令和元年度は、皆様より総額 8,302,000円の多士会館維持会費を納入いただきました。ありがとうございました。多士会館はいただきました維持会費及びご寄付にて運営しております。引き続き今年度もご納入を伏してお願い申し上げます。

維持会費をいただいた方々（敬称略）

昭12（故）乙丸勝幸　**昭13** 半澤幸親③　**昭15** 工藤義二、坂崎敬吾　**昭17** 宇野昭彦　**昭18** 松田幸雄②　**昭19** 大原淳⑤、加藤秀夫、又井徳生、美作博、吉井和義　**昭20(5)** 興津景昭、島清房、西澤忠實、河野淳一　**昭20(4)** 後藤大典、後藤辰雄、権藤隼、村上了一、山下敏雄、小川英一　**昭21・昭22** 園田榮一、髙江陽一、高瀬邦人、吉田昭之、荒木忍、荒木通章、荒木弘②、稲田正雄、魚住桂一、緒方誠一郎②、坂梨義照、松藤陽一、丸山龍三、村上卓志、彌富孝一、吉弘義鑑　**昭23・昭24** 今池興治郎、清田尚和、日髙賢志、森本保男、中本義明、岡本英男、古閑孝之、野田皓久、西村祐一、吉永正人②、太田英義、中山純郎、和泉信一郎、坂本昌久、髙森安生、渡辺勝信、島崎稔　**昭25** 板井敬明、牧二郎、松澤賢吉、安田昌資、岩野徹、加来俊彦、島田康宏、松見達俊、池澤昭、杉山茂夫、橋本正文、林田利治、右田寛、白木伸到　**昭26** 佐藤泰将、松永晃、宮崎潤治、牧野耕治、笠美雄、渡辺豊、甲斐敬久、瀬戸口龍雄、野口雅章、宮崎晃一、江郷岩五郎、大浦克介、貴島武之、末田誠、岩永研一②、後藤俊郎②、永村誠皓、吉見幸男、北里謙祐、渡辺正剛、大塚樹也、片桐亨、児玉浩太郎、布田建策　**昭27** 緒方義文②、寺本陽子、坂田定苗、大友見正②、大森謙次、速水忠、荒尾壮吉、大島丈司、木村寿昭、久木田衛、須藤正二、中村善雄、佐治武光、佐野正憲、林田精二、明石一彌、松岡英世②、沖村浩史②、川上孝弘、板鞍治子、岩永恭一、荒尾兼道、菅原平、武藤宏一郎、瓜生田克明　**昭28** 田中實夫、東誠之、岡本厚②、澤田多喜子、山中晨、渡部安弘、財津永栄、森正孝、松村國彦、佐藤公介、永岡郁則②、濵﨑美登里、野口泰一郎、渡辺恭一、池上節夫、宮本孝男、鈴木田鶴子、中村雋久、三牧都西郎、金光俊嘉、樋口経雄　**昭29** 魚住信義、大林武敬、坂田晃司②、本田昇晴、松下敏弘、篠塚眞證、天津眞砂子、古閑功、小野敬太、北里綾子、北村明、竹下洋敏、松田汲子、本村桂子、宮本安基、光安行子、田上範、中村康子、有田毅、小山照映、笠公人、藤原京子、尾浦武昭②、藤掛宣彦、鬼塚博子②、木原良克、鳥飼晋　**昭30** 嶋田一朗、瀬口則夫、廣岡克己、西靖子④、宮本雄一、森壽樹、八木義則、大田博、木村純久、野田昭士郎⑥、田辺隆秀、堤幸生、濱武義征、稲本浩二郎、大迫富夫、西岡輝雄、蓮田太二②、古住洋二郎、山並貞子、牧野耿介、櫟本憲成②、坂崎善之、外河柳次郎、中川逸男、野方民雄、大竹孝子、安部裕也、藤田紀美子④、髙田敬之　**昭31** 西村幸次郎、林田武夫、福間良信、前田英明②、谷﨑達夫、永井直敏、中山満州夫、中山保隆、浜修二、羽室道夫、舩﨑直一②、吉井瑞代、河口方子、木村志津子、内田実、大群憲司、日野信也②、森由美子、池上洋一、浅山滉②、飯法師一幸、内田啓一、小山寛、坂田勝、椎崎敏臣、後藤弘子、末広保子、福島八郎、丸目佳代子　**昭32** 太田能章、永村勝子、竹原芳江、阿部武生、石口信雄②、兼松英幸、忽那龍雄、倉岡東一②、園田一雄、武内一忠②、中原光一、野口学、蓮岡長久、井薫②、上原一明、白井彰、西岡俊郎、平瀬直邦、赤尾美知子②、平嶋ユキコ、富永浩、宗方良晃、穴見敬蔵、下田康夫、竹野靖雄②、永野亨、福田弘、御船真也、吉村正美、上田皓章、江尻良貴、清河浩二、高田浩一、田中恒俊、山本公一、浦田邦夫、田中将臣、前田栄治、松田長久、河﨑敏、武田征章、吉岡健、徳永公治　**昭33** 済々黌三三会⑳、野田哲也、田中栄二、前田信一、泉洋介、嘉悦征喜、駒﨑友和、栄正義、島﨑俊和、黒田馨、境興司、太田辰也、加藤肇、斉藤惇、林田紀久男　**昭34** 赤星達夫、草野良宣、平野文彦、藤本明寛、堀川英祐、守田悟、森山敏晴、安武紀重、川﨑紀宏、髙田誠、仁志正昭、古市規矩夫、古河幹男、堀川渉、前田和夫、前田利雄、森信孝、岩本洋一、交野富清、河原畑広、志水敏男、西村洽、上田正幸、神戸威②、齋藤長一郎、難波嶺二、野口剛②、古荘幹郎、松平和夫、桑田峰子、大久保俶住、木下成一②、坂本敬一、田中一郎、三角恭須子、馬場淑夫、三角保之、湯貫秀昭、寺本サキ子、杉村継治、津志田博臣、山内清宏②、河野正通、中山隆幸、安部宗武、益永高吉、三城昌一、荒木伸也、下田龍二、田添克衛、富永晃夫⑩、原忠雄、反後加津子、上野純一、沖村將史、栗原英昭、小泉満、柴田徹、末次義久②、松野道夫、盛谷貴美代　**昭35** 亀光秀明、谷口孝輔、城野熙、與縄義昭、境正俊、清水洋、髙岡勉、中西照貴、福味信治、後藤洋一、宮川潔、与田誠、隈部宏城、淨住護雄、坂本和義、岩下佑児、園田浩平、長谷川義郎、赤星亨、吉田仁爾②、大坪健治、古市耿介、原口貞信、松田中行②、上村啓明、沖田正昭、栗山修輔、松本洋三②、岩木龍一、緒方正一、寺尾瀏、丸野義守、坂井弘元、服部康昭、氷室俊介、本島瑞穂②、岡本定昭、金崎勝、河田憲明、菊池文彬、正源司克也、野口邦夫②、福原英喜、村上勇②　**昭36** 井上勲、平野日出海、藤田健司、古庄浩二、門田津々久、井山昭伸、酒井保之、福山紘、川邊康志、楠瀬征夫、佐藤章、堀通宏、永田哲哉、木下桂甫、泉田智宏、上村龍渕、満永徳昭、村田富子⑥、中村孝、藤瀬憲久、石本喬重、小林泰紀、高野道夫、山田紘充、島本哲雄、城本敬一郎、深迫斉、豊後五士　**昭37** 塘添敏文、長岡信玄、楢本明、藤岡孝輔、森敏博、森永明、尾田正幸、河井浩二、末田征②、西山立義、伊藤彰宏、緒方忠昭、村山知之、魚山達也、北村政雄、瀬高龍輔、渡邊信子、三原宏、坂田祇彦、平野隆一、牧坂憲邦、小山雅道、甲斐光宏、黒川英明、坂田敬二、前田和、正木航二、松田勝海、石原武義、竹内秀夫、田中芳行、入江昭雄、合志洋一、高橋完、福島国夫、又吉真雄、丸山忠、守田彰俊、佐伯紀行、松山捷広　**昭38** 春野博一、永野健二郎、内田幸孝、金山進一、栄田恵之、佐藤紘一、田上毅、池上緑良、山田俊孝、古閑忠之、齊藤聰、福本哲雄、松本秀昭、甲斐義啓、後藤貞継、宮本泰雄、武藤久義、板橋正博、入江展至、田北成樹、渡辺力、奥村英俊、渕上健一、許田重治、山内清隆②、大塚古四郎、小林基宏、関健二、松岡秀一、小林マチ、木元光夫、坂田俊明、前田勝博、草野龍二、中津浩、河島義雄②、栗林忠信、野口敏夫④、松本武夫　**昭39** 原賢一、日方和義、上妻正義、齊藤芳臣、佐藤利喜夫、原博志、武藤勝、山口賢二、坂口文雄、吉岡完起、岩﨑清憲、越智通武、川上正人、坂本唯一⑩、進朗、正清栄二、河上楯夫、古賀晃、島田俊郎⑤、西尾剛人、日隈耕右、西村幸吉、藤田正、藤本勇夫、宮田英夫、渡辺謙一、楠木博征、成松正一、宮崎國忠、日永田義治、淵野雄二郎、宮川良雄、伊藤晴雄、本田聰生、川野一彦、北島剛房、戸上正久、福田章、吉野功、阿部孝郎、崎村信弘、髙宮城實明②、馬場彰、松村英信、小山浩嗣、木下芳則、清崎和士、坂井進、下田寛幸、東英博　**昭40** 相良久次郎、藤田秀人、布田昭、豊住敏子②、佐藤淳也、福住耕一、宮崎哲至、植村照義、内田義治、工藤恵二、栗山雅敏、東求、福嶋康、古賀康彦、中西正敬、岡崎一孝、木村賢治、牛嶋正弘、平野正憲、川原文次③、田邊民義、牛島紀一、佐藤啓二、伊豆英一、塚本洋一、増田和博、麻生史子、古閑邦洋、紫藤三千年、田﨑建生、村上一憲、境哲彦、坂田憲二、櫻井忠明、中村壽憲②、西克明、森健次、大野一也、末田修治、中村勇、藤井進、本田重寿、宮部一郎　**昭41** 五島和廣、高野潔、坂哉繁子、安倍勇三、木村朝男、中野健二郎⑥、有馬聰、濵本英男、本田守弘、豊永喬、水崎三喜男、川上孝雄、久藤清己、酒井秀記、古川裕久②、溝口康三、中村弘則、寺﨑温子、草野峰晴②、岩本昇一、中山峰男、高村秀夫、田宮一郎、野口喬、荒内研吾、伊東登記男、大久保純一、駒﨑伸之②、島津昭彦、吉村敏則、西野眞一、宮﨑朝夫、森﨑冨士夫、大嶋和博、大鶴榮史、葉山武志、松原正安　**昭42** 岩永經世、蒲原隆一②、吉松裕子、湯原満義、柿原久也、矢野登久男、平野俊晴、藤本直、芦野純夫、浦本保典、山内治樹、塩田義徹、沼倉由美子、石渕博人、積道英、石井良照、早田幹雄、江口克郎、徳永史隆、本田英一、松尾誠、三井隆、村上義幸、山田道夫、與縄英二、甲斐裕、古田陽一郎、吉松裕蔵、大嶋健一、木上隆幸③、小島哲夫、村上恭二、伊藤俊昭、向坂裕夫、田中豊、中川昭夫、永田昭、江藤雅昭、武原重春、森健治、岩本幸次、大塚恵一、菅野幸裕　**昭43** 済々黌四三会⑳、岡島伸平③、堀邦夫、岩永基文、藤本良介②、川野康宣、中村和道、本田良一、毎熊敬一、柏尾俊明、宍倉渉、坂口憲治、山本誠治、石口文雄、芹川とし子、出井健一郎、上園幹子、野口英治、宮崎順一、熊元啓人、潮田憲正、山本哲朗　**昭44** 村田信一②、諸熊建次、井哲朗、緒方英夫、笠田紳一、河村邦比児、林和紀、東孝男、東敏信、小原重明②、河野達朗、安藤慎一、永村一泰、宮之尾啓一、上田幸穂、赤星慶治、西島喜義、西村明博、福永誠規、橋口治、緒方啓司、木永博昭、台信雄一郎、石田耕一郎、井上徹、川口雄三、中村俊雄　**昭45** 田中良典、井川正明、高本省三、龍頭保夫、今村信道、星山相淳、森永久、佐藤和隆、野田和夫、佐伯公範、岡村龍生、片山公則、山田麻美子、小島肇、中島勝弘、松田講明、松本正俊、井上雅敬、木原和生、児玉睦雄、高木清一、武石富士雄、萩野規寛、平木実　**昭46** 津留伴一、松藤友三、橋本美幸、西府裕一、蜂谷南、松沢博、谷川龍男②、花田智、藤本弘視、馬原浩、嶋村速雄、田島朋直③、古島幹雄、内山貴典、鍬田和實②、三村利光、小室三男、坂田信介、赤星良一、西山庸二、布田悟、井上哲、中尾隆司、中川龍一郎、中原勝宣、宮原和男、加隈秀敏、小堀恭裕、三浦勝広　**昭47** 佐藤謙二、田中穂積②、西谷孝志、赤星一成、和泉伸郎、今池公一、久米廣幸、佐竹裕比古、瀬上格、久佐賀脩、久藤了、久保田眞理子、腰尾司、田中正彦、山口健一、斉藤寛、酒井英史②、辻裕二、中村洋一郎、桝永孝二、井川隆明、石田泰紀、加藤秀憲②、小島淳、高田隆夫、森正晴、小村和美、亀井英次、潮崎智子②、津地誠哉、堀俊博、堀江伸、松岡修司、荒武祐介②、太田惠一郎、林田悟、秋吉睦、安部賛、池田英満、有働淳一郎、大隈憲二郎、島田政博、筋浦立成、長野博章、松下俊一　**昭48** 興相聖二、前田祐一、中島智喜、三浦一水、野口孝子②、久木田憲司、田浦芳孝、水野豊、宮本哲也、毛利浩一、園田征次、米村宏之、増永玲子、熊川眞二、古閑啓弘、小堀郁江、加藤昌子、緒方和則、川﨑俊明、船越和美、松本有子、上野淳、木村和久、大久保多香、別当公一、曲梶信之、白石正治、松崎朗、松本一成②、三宅由紀夫、荒木朋洋、金子篤志、清原雅男、千馬利行、椎葉辰也、松田邦宏、山下一彦　**昭49** 田尻広和、俵宏一、丸山稔、田上賢祐、伊藤宗正、原賀雅子、丸本文紀、永野祐子、山田一義、錦戸正巳、増田龍司、坂口正純、戸上貴雄、松山泰典、荒瀬健夫、今井政文、岩永宣治、永田清一、西本善春、迎田恒成、厚賀啓助、大塚二郎、角岡秀昭、山村惠子、長谷川佳代子、宮竹克彰、山口重三、久木山清貴、戸澤栄二、中村悟、山本利徳、横尾雅良、坂田淳一、猿渡和雄、島田淳一、平木敏郎、相馬一憲、津留信彦、飽本一己、坂本省吾、篠原守継、橋本尚明、松田亨、松藤誠郎、鍋岡勇造、西野一郎、松永和典　**昭50** 一門準子、木原隆司、小西勝一、清水裕美、本永健次、石川穣、湯原賀都子、堀陽子、内村直子、田浦眞光、上村妙美、赤星洋一、芥川保志、緒方久喜、河野景治、村田康宏、浦上裕正、金竹俊夫、行徳了一②、中西信雄、野口和紀、松野成志、安岡幹雄、魚住幸司、緒方進一、金子賢治、田代正道、本田典利、永田邦規、最上剛、置田誠、権藤尚、本芳幸、横田博、杉野茂人、田嶋徹、野田研一、赤坂寿②、原田卓　**昭51** 積千代美、山﨑淳一郎、高濱左衛子、長尾信一、鈴木悦子、池田聡、倉澤隆子、塚本富男、六田幾子、松永宏二、柳田誠喜、合志京助、坂口朗、六田祐二②、内田大和、古閑信之、田代靖也、塚元秀樹、深川英治、堀川孝文、川口芳弘、中村智美、竹本ひとみ、森田悦雄、吉田啓一、上城弘幸、後藤孝美、野田裕三、松枝泰生、田中慎一郎、野澤宏文、吉岡健一、大田黒浩一、巻俊光　**昭52** 楠田節子、野田珠実、松本康二、平山惠子、坂口義彦、城間智子、村松弘美、今村安孝、籠田文彦、北原政典、木庭民夫、成尾雅貴、野口健一郎、福島隆章、三角浩一、井上由紀夫、坂口治史、三賀山賢正、水上雄二、山田晶一、藤吉道子、深谷薫、田中栄一、藤本正博、山口潔憲、吉岡正一、岡本一隆、中島章、有働芳弘、東博文、松本一哉、向田敬二、木村誠一、瀬上文隆、辻健二郎、中村五彦、西野慎一、荒尾淳、伊藤明彦、大川正晃　**昭53** 奥村惠一郎、北里利朗、渡辺美也、甲斐紳一郎、鳥生博、郷原友和、小松野洋司、野口伸三、松島猛、松村恭一、飯田裕、紫垣裕之、林田達②、合志和江、安永昌史、渡邊祥子、外海卓二、中島誠也、平井俊二、伊藤敦子、佐野俊郎　**昭54** 谷口育聖、上村達也、山内勝志、鮫島陽子、鳥井昭宏、山田耕司、長谷冨美、石垣利恵、甲斐田剛、岩間浩憲、衛藤政浩、松本洋志、山口明博、中川政嗣、秋岡陽一郎、荒川透子、内﨑祐一、木村茂、笹岡博文、松川浩一　**昭55** 津曲千鶴、緒方則嘉、上野賢三、北里真一、幸山英史、千原竹雄、右田貴士、森典子、川口理一郎、髙橋利郎、武石敏章、廣瀬修治、岩田智子、佛田洋、上原浩志、甲斐智子、鶴田広幸、永野睦弘、村上義幸、河野広光、鍬田浩二、宮田高、今村研詞、平山代助、山口賢太郎　**昭56** 前田茂雅②、吉川琢実、山下和弘、来海和彦、村上博一、坂田輝久　**昭57** 北野謙司、村上貴浩、岡知佐、川野章子、前原健②、本田英一郎、上原誠治、山之口宏、吉里公夫　**昭58** 福山龍太郎、中村伸、堀川貴史、石垣敏郎、倉岡征宏、隅田節子、永潟三貴生、栗林香織、西本寛、坂梨昭弘、岩永一宏、上瀧昇、堀田実、松本和也、松本俊、友田桂子、中津健之、藤田博、池澤滋、榎田雄二、畦地博子、西口賢太郎、田中美佐子、牧野敬史、竹内浩二　**昭59** 坂本英二、幸山政史、堤辰佳、宮田房之、宮原佳子、井上貴加志、中村友花理、河野光義、岩下順二郎、渡辺明子、片岡加陽子、金子礼子、末吉健一、中島典章、吹田道代②、峯苫貴明②、竹下由理子、高島英敏、藤本健弘、内間輝久江、緒方誠司　**昭60** 石村久恵、南真佐子、吉良扶佐子、坂井木綿子、工藤由美子、児玉智幸、米村誓子、光永真紀、北里佳寿子、木庭礼子、村上仁美②、赤池和洋、米田高章、相馬英智、賀来万由美、高須尚美、持永詠子　**昭61** 杉本保之、杉山修、古里禎章、浅井勇介、楠本士朗、和泉宏典、上野功一朗、牧野英典、八重尾徳保、甲木哲哉、原田栄作　**昭62** 河瀬徹、米満泰二、西口直子、尾田その子、田中孝和、濱田親弘、巖珠江、坂井裕美、田中紀世、続山拓也、甲木和世②、木場達美、東郷寿郎、堤祐子、羽隅薫、古荘義雄、岩崎圭祐、海津泰夫、野口邦広　**昭63** 井上友希子、藤本猪智郎、本田洋一、吉田一浩、吉村昌展、木原稔、神毛恵②、本田美加、眞谷和代、西英典、花倉伸治、春木秀紀、甲斐大童、村上邦博　**平元** 田島直美、井上和子、森田耕、吉田二浩、片山美和、栗原洋美、水野潔、阿向泰二郎②、石崎淳一、清田雅智、山木剛、浅香英夫、古市真木雄　**平2** 牛島将臣、平林武史、永村哲宏②、井上将、古谷悟千、小山佳宣　**平3** 髙比良光洋、堀人千賀、松本琢磨、執行恵子、古橋さをり、金光香陽子、米川健一、中嶋朱美子、荒井豊子、郡司祥、中村裕子、佐伯薫、森康成、吉田光一郎、吉田覚、上野薫、坂田富裕、早川浩史、井上清隆、園田隆弘、田中秀典、岡本定久、水村晶範、瑞穂賢治、森一博　**平4** 林智貴、中島史貴②、猿渡靖洋、吉原勇二、武本英博、村山鉄次、平野義登、西岡裕子、佐藤優子、坂井弓恵、椎良樹、吉田貴治　**平5** 田嶋知幸、福島一章、田端あい、遠山啓、金子昌稔、久保謙介、徳村文、福永千穂、古川真由美　**平6** 染森一樹、甲斐智和、上野尚文、池﨑晃、荒木康祐、濱田綾一郎、石橋治、盛田保文　**平7** 高橋葉子、隈部文麿②、東健一郎、内野裕子、中嶋倫子、平原信雄　**平8** 松村龍夫、角谷佳代、城下和彰、志賀弘剛、西博士、伊瀬知誠、大森恵太、児島協②、千葉恵子、佐藤絵梨　**平9** 惠口勝起、菅原幸、佐藤万由美、石井麻衣子、杉本枝宝理、林誠、芳田雅臣、村岡朋子、小野さくら、近藤俊輔、前田智徳　**平10** 斉藤信慶、河島康之、村山雅則、谷村恭一、米満文、田中雅子、澤田英祐、平野光祐、野口浩一、梅野智子、村上秀一郎、田中洋平、古川瑠実　**平11** 川上聖司、野尻紘聖、大嶋寛之、春岡辰典、渕上博貴、上野景太、中西香織、萩原英久　**平12** 残間麻衣子、西山大輔、益田幸　**平13** 古賀智典　**平14** 清水希美、勝目悠記子、坂本貴子、中野秀和　**平15** 森友紀、中島正善、荒木大、南部隼平、林田直樹　**平16** 山田真之、岩根賢幸、角岡佑紀、安武宗徳　**平17** 関豪介　**平18** 柳瀬美耶、田浦暁子、平野嘉隆、林浩平、緒方雄一朗　**平19** 石井彰、坂田光、野田ありさ、福岡敬洋、上村昂平　**平20** 行徳仁、竹下博貴、三浦慶士、村上英恵、松枝幹大、秋吉星吾、葉山恩　**平21** 福岡祐輝、緒方健太、石﨑香成　**平22** 池田大志、山口裕介、中村謙吾　**平23** 前田詩織、鬼塚悠、古庄祐太　**平24** 内尾裕介、山口桂子、政岡晴行、岡村弘樹、谷本進、井手博敏、田中みずほ　**平25** 桑鶴孝一郎、中村謙太、西口貴大、福岡弘記、伊藤流石、土山貴弘、井上準、兒島優里　**平26** 園田ひとみ、崎坂美月、本田久人、松田壱成、前田啓士郎、北川翔也、髙須百華、米井美咲、境友李、有働龍也　**平27** 松本倫旺、髙良葵、岩本怜士、上田理紗子、遠山未紗、二子石大智、古市聖、小塩浩人　**平28** 有馬稔拡、栗林翔太、野口花歩、前田莉穂、吉井陽哉、伊牟田彩日、土屋文乃、村上優衣、松本知也、岩尾百奈美、上野佐和子、孫田佳奈、小屋迫貴央　**平29** 井上鈴菜、隈部明日花、田上史弥、池邊大生、戸田彩香、林田志織、寺本ちおり、村上尊哉、竹内竜徳、中村美琴、浜﨑愛海、松本信一郎、馬場諒太、家入環、立山光夏、福島大志　**平30** 上村ゆい、前田彩貴、山下大地、横山倖大、世古雅琴、田中万葉、橋本周典、馬場海希、村上智哉、甲斐雄也、芹口祐輝、孫田紗希、近森美月、本田健祐、黒部真人、村田萌々子、小屋迫仁実、佐藤航、松田知也、河合駿介、髙須栄、田島陽、中村由莉音、木山誠啓　**平31** 山川愛貴、上田将弘、京蓮太朗、北岡優理、山口奈緒、中村嘉孝、西浦香澄、藤井利紗、境美伶奈、佐川竜都、島田若奈、髙須聡、二子石夢佳、辻凌介、

済々黌同窓会会報　第36号　令和2年8月1日発行　【発行】済々黌同窓会　〒860-0862 熊本市中央区黒髪2丁目21番50号　一般財団法人多士会館内　tel.096-345-3002 fax.096-346-3225